夕刊
滿洲日報
八月十五日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

滿鐵副總裁の後任は 外務畑から起用せん
仙石總裁けふ濱口首相訪問 人選について協議

【東京十五日發電】仙石新滿鐵總裁は十五日午後濱口首相を訪問して副總裁の人選につき協議するはずで、本問題については既に十四日首相より中島秘書官を介して人選を求めてゐるところであるが、從來候補者として擧げられてゐる青木鐵道次官、前滿鐵副社長大平駒槌氏等は結局人選に漏れる模樣である、而して濱口首相は仙石氏の意志を尊重するものと見られるが、元來鐵道經營については仙石氏は一應の經驗を有するから氏は滿鐵と支那との國際關係の重大なるに鑑み外務畑から人選するのではないかと見られてゐる、而して外務畑に於ては矢田前上海總領事、現西班牙駐箚公使太田爲吉氏が有望視され、矢田氏は最適任と見られてゐる、なほ政府の對貴族院關係から同院にも二、三の候補者が數へられてゐるが松岡均平男の呼聲が高い

頭には兒玉政務總監以下各局部長寺内獨立守備軍司令官、中村朝鮮軍參謀長、京畿、江原その他の道知事、朴泳孝侯らの官民約一千名の盛んなる見送りがあつた

新舊總裁事務引繼

【東京十五日發電】山本前滿鐵總裁は十四日午後四時新總裁仙石貢氏を訪問し挨拶を交換したが、兩氏は十五日午前十時麻布の滿鐵社宅に於て事務引繼を行なつた尚ほ仙石總裁は本日午後濱口首相を訪問し新任の挨拶を行ひたる上副總裁の人選につき協議する筈

松本博士を起用か
仙石總裁、青木次官と協議

【東京十五日發電】滿鐵副總裁の後任に就ては仙石總裁は青木鐵道次官と協議の結果、青木次官は松本烝治博士と會見する事となつたが、右は松本博士に對し滿鐵副總裁就任を慫慂するために非ずやと觀られてゐる

小林、笹原兩氏辭職す

滿鐵東京支社庶務課長參事職員小林綱治、山本前總裁秘書職員笹原の兩氏は十三日附を以て依願職員を免ぜられたが、東京支社庶務課長は入江支社長兼任となり何れも十六日の社報を以て發表の模樣である

滿鐵總裁の名 仙石氏に變る けふから實施

仙石貢氏の滿鐵總裁就任は既報の通りであるが、滿鐵本社には十四日午後六時東京支社より正式に仙石總裁の就任を通報し來た、而して十五日より滿鐵の書類は全部仙石總裁の名に變更された

山梨總督けさ東上
官民約一千名見送る

【京城特電十五日發】連日、離別の宴を張つて各方面の人士に惜別を告げた山梨朝鮮總督は十五日午前十時二十分京城發列車にていよく離鮮東上の途に就いた京城驛

何れかゞ讓歩せぬ限り 局面の展開は絶望
露支兩國代表引揚ぐ

【滿洲里十五日發電】ロシア代表メリニコフ氏は支那の態度に拘れを切らし本國政府の命に依り歸國の途に就き又朱紹陽氏一行も引揚げたので兩國何れかゞ讓歩せざる限り局面の展開は絶望となつた

支那代表引揚げ 國境の空氣緊張
滿洲里の人心動搖す

【滿洲里十四日發電】國民政府代表朱紹陽氏一行九名は南京及び奉天當局より引揚の訓令に接し十四日午後五時三十分滿洲里を引揚たが朱紹陽氏は交渉停頓の儘で取敢へずハルビンに引揚げ對策を講ずる、と語つたが、交渉決裂するものとして人心動搖してゐる、尚ほ國境エフスカヤ方面には目下設々として施設に備え國境の空氣緊張を示してゐる

蔡李兩氏無事

【滿洲里十四日發電】逮捕説を傳へられた支那側交渉員蔡運升氏及び東鐵理事李紹庚氏は無事である

哈市赤系分子の 暴動陰謀暴露す
哈市支那側の發表

【ハルビン十四日發特電】支那側の發表するところによると、當地赤系分子の一部は松花江鐵橋爆破ならびに造船所燒き打を計畫し松花江對岸鐵橋附近の避暑家屋を借入れ爆彈火藥などを準備し十八日の日曜の晩を期して暴擧を決行しハルビン、滿洲里間の交通を杜絶せしめ支那側の軍隊輸送を阻止せんとする陰謀あるを發見し危險を未然に防ぐことを得たと

蔡、李兩氏 今夕歸哈

【ハルビン十五日發電】一時監禁說を傳へられた蔡交渉員及び李紹庚東鐵理事は十四日滿洲里を引揚げ十五日十八時十五分着列車で歸哈の筈であるが、今尚監禁說を信ずる者は、右は單なる引揚でなく監禁狀態のまゝ護送されて來るのだらうといつてゐる

天津市黨部 山西派排斥
市民團體を教唆

【天津十五日發電】最に天津特別市執行委員が實權の壓迫に堪えざる理由で總辭職を中央に電請したが、爾來山西派に對する反感は漸次醸され最近に至り各區黨部員等は密かに各民衆團體の本部とも見る可き天津總工會の李毅山、婦女協會の王爾學生聯合會の王子起廢約促進會の刑毅生等と聯絡し市黨務整理委員に反對し側面より山西派の勢力を驅逐するため彼等一派の洋錢主義即ち守錢奴的事實を査し暴露戰術に據り市政府の腐敗を摘發し民心を失望せしめんと活動して居る爲めに毎日數十通の市民哀訴の書狀や詰問書が市政府に舞ひ込み内容は何れも市政の失態を極端に攻撃したもので山西派に對する反感を嵩めるに努めてゐる

清々工事中の朝鮮博の滿蒙館

第三回太平洋會議と滿洲問題【1】

前太平洋問題調査會幹事 マスター・オブ・アーツ　武田胤雄

◇

太平洋會議は第三回目の會議を今度は日本に開く事とした。會議地は京都、時は秋。十月廿八日から十一月九日まで二週間。二千年の歴史を有する山紫水明の古都で開く。鴨川の水は飽くまで淸く澄み、嵐山の紅葉漸く燃え出でんとする絶好の季節である。第一回會議も第二回會議もハワイホノルルで開いた。ハイビスカスの赤き花椰子の葉風もいゝにはいゝが二回以上は鼻につく。今度は目先きを變へて東洋の新興國美術の邦、日本、而も典雅優美なる京都で開催せらると聞いて、さなきだに出席者の認識に既に屬する各國當事者は押すなくの自薦他薦の申込みに代表者の選定が汗ダクものであつたと仄聞する。

◇

抑々太平洋會議とは何か？實は之は詳しく云へば太平洋問題調査會の大會を簡略に呼んだ名稱で太平洋に面し、又は太平洋上に重大なる利害關係を有する諸民族の非公式國際機關である。國際機關ではあるが、國際聯盟の樣な國家間の强制力を有する行政機關では無い、又汎太平洋倶樂部の如くお互に御馳走しあつて、御世辭の交歡をする社交團體とも譯が違ふ。闡明に云ふならば「本會は太平洋に臨む諸國間に橫たはる重大なる諸般の事實を蒐集、研究し、其知識の普及に依つて輿論の擴發を計り以て關係諸國の進歩に對し、建設的援助を與ふる事を期する」學者實際家の團體である。但し本會の所謂汎太平洋學術會議（一昨年日本に第三回會議を開き本年ジャバに第三回目を開いた團體）が自然科學の世界を管掌するに反し、本會は人文科學の方面を受け持ち、政治、經濟、教育、宗教、文學、美術等に精力を注ぐ事となつて居る

本會は其目的貫徹の方法として（一）太平洋の諸問題に關する調査研究、及其發表（二）常に研究會及講演會等を開き（三）二ケ年毎に大會を開く。本會の特徴は何等の決議をせず、眞理の究明と、正義夫れ自身の徳性に依る勝利つまり眞理に基く輿論の制裁に滿腔の期待と信頼とを懸くる點であらう。原則として本會の會員は國家や團體を代表せず、總て個人として本會の目的を賛するものとせられ、從つて何者の拘束をも受くる事なく、全く自由の立場に在つて研究と、討議とに從事し得る仕組になつてをる。日本、支那、米國、英國其他に「太平洋問題調査會」は設けられ、且つ太平洋上の中心點たる布哇に中央事務局が設けられ、數名の常任幹事を置いて常住其の任に當て居るのである。

◇

第一回太平洋會議は大正十四年七月一日より二週間に亙り布哇ホノルルに於て開催せられた。此會議に參加したのは九ケ國の國民團體で、出席者は百五十餘名、凡ゆる種類の人々が網羅せられた。九ケ國の代表團體とは、北米合衆國本土、加奈陀、朝鮮、支那、比律賓、濠洲、ニユージーランド、布哇及我が日本であつた。各國は夫々有數の人士を派遣したのであるが、別けて日米兩國は該會議の重要點として重要なる地位を占むるに鑑み、最も有力なる代表者を送つた、日本が前文部大官、京都帝大總長、帝國教育會長等の經歷と、教育界第一人者たる聲望を有せし故澤柳政太郎博士を團長として、學者、實業家、宗教家、政治家、社會運動家等十八名の代表者を派遣した事は世人の猶記憶せらるゝ所であらう。

◇

今試みに此會議上討議されたる諸問題を簡單に採錄すれば

（イ）政治に關する諸問題

太平洋諸國の政治組織、就中國際關係の取扱に當る機關、例へば我國の外務省、米國の國務省の如きものゝ研究。太平洋に於ける政治的諸問題、例へば支那に於ける治外法權、稅關管理、關稅改正及び外債、在住外人の待遇、居住權、歸化の問題、夫から轉じて太平洋に於ける列强の軍備の問題等が論究せられた。

（ロ）人種及人口に關する諸問題

先づ第一に人種的觀念の原因及び結果の研究移民問題、移民の權利不可侵論、延いては其人種的考察、法律的、政治的考察、夫から文化的、宗教的、經濟的考案、移民政策の基礎的理論、一國が其領土内に外國人を排斥する道德上及び法律上の權利、此等の問題では日本代表は正義の大ダンビラを振りかざして米國及び濠洲に切り込み誠々の武勳を擧ぐる所があつた

（ハ）商業及び經濟に關する諸問題

此部門では支那の天然富源の開發、產業の問題、國家經濟的通商政策の是非、太平洋諸國の生活標準等の論戰に花が咲いた。

（ニ）宗教、教育及び文化に關する諸問題

釋迦、孔子、キリストの教へは近代の人種闘、及び國際間の接觸より生ずる諸問題に如何に適用せられつゝあるか、宗教の道間に貢獻すべき點如何、外國傳道の政治的關係如何等が興味の中心をなした

東鐵問題は 帝國主義の挑戰
日本に野心があると誣う
【浦鹽職業組合の聲明書】

【ハルビン特電十五日發】浦鹽における太平洋職業組合大會事務局は八月十五日の大會開會日を前にして左の如きステートメントを發表した

太平洋沿岸は世界列强が有する各種の利害が相錯綜し幾多の企畫が意圖され且つ野心が抱藏されてゐる一大市場である、就中日本はこの市場に對して最も多くの獲物を得やうとしてゐるが兎も角それ等强盜にひとしい帝國主義國家は最後においては武力をもつてしてもその欲するものを强奪するであらう、從つて戰爭は近き將來必ずや勃發すべく我がプロレタリアは之に對し死力を盡して守らねばならぬ、東支鐵道問題は既に帝國主義國家のソウエートに對する挑戰である、又來るべき大會には凡ゆる世界の代表が召集され人種問題は一大重要議題として論議されるであらうが、尚ほその他大會の重要課題は次の如くである

一、被壓迫亞細亞大衆の闘爭手段を講ずること

一、總ての職業組合を合法的の機關となす準備を講ずること

蔣介石氏 芳澤公使招待

【南京十四日發電】國民政府首席蔣介石氏は十四日正午別邸に芳澤公使を招待し午餐會を開くはずであつたが、豪雨襲來のため場所を總司令部に變更し主客の外に譚延闓、王正廷、孔祥熙氏等陪席して之を開いた、蔣首席は芳澤公使の在支六ケ年間日支關係のために盡した功績を稱揚し公使の前途と健康のために乾盃した、之に對し芳澤公使は在任期間兩國のために何事もなし得なかつたことは慚愧に堪えずと挨拶し總會裡に午後二時散會した、公使は總領事館に歸り少憩の上午後五時ランチで南京を出發、降雨中日支官民多數の見送を受けて渡江し午後六時浦口發臨時別列車で北平へ向つた

賠償財政委員會 再び休會となる
各代表個々に交渉のため

【ヘーグ十四日發電】休會中であつた賠償會議財政委員會は十四日朝開會し、佛國代表ルーシュール氏は起つて過日英國代表グラハム氏の演說に對して長々と答辯したる後直に會議は再び土曜日（十七日）迄休會された、本日の會議時間は僅かに一時間半であつた、再休會の理由は各代表個々の間に於て交渉することを更に繼續させんが爲めである

佛國讓歩
賠償會議

【パリー十四日發電】休會中の賠償會議財政委員會は本日を以て再開されるが、フランス側に於ては英國代表スノーデン氏の要求に對して其三十パーセント位の讓歩をなさんとする準備が整つてゐるらしい、然し英國側が果して其程度の妥協に應ずるかは勿論疑問である

汎太平洋大會 けふ開會

【ホノルル十四日發電】汎太平洋大會は本日より十日間當地に於て開會される事となつた

警察部長會議 第一日

【東京十五日發電】道府縣警察部長會議第一日は十五日午前九時より内務省に開會、安達内相以下次官局長等出席内相の訓示あり直に指示事項の審議に入つた

西公園改良 決定事項

西公園改良委員會は十四日午後一時開會され左記事項を議決して三時散會した

一、春日池大連寺裏の整地の件（風致を害する虞れがあるので否決）

一、無線塔附近に休憩所設置に付き借地の件（必要あれば市自ら建設するとの理由で否決）

一、谷信近氏の壽碑建設の件（氏は支那人に對し功勞あるも直接市に功勞あるや考慮の餘地ありとし否決）

一、羽衣女學院、滿洲鄕土協會、春日小學校よりの園藝菜園實習地貸下の件（羽衣女學院のみ試驗的に一年間貸與を可決し他は資力あり公園内借地を許す要なしとの理由で否決）

朝鮮博の事務所

開期切迫と共に朝博特設館の事務所が京城府内に開設されはじめた十三日までに事務を開始したのは左記三ケ所である

△滿蒙館事務所義州通二丁目十三番地

△成北協贊會事務所永樂町二丁目六十番地

△臺灣館事務所並木町二百四十七番地

山東の邦人工場 愈よ閉鎖を斷行
職工家族六萬人に退去命令

【天津特電十五日發】濟南よりの天津着電に山東接收以來共產黨や市黨部の使嗾により日本人經營の工場は間斷無く怠業罷業を繼續し來た爲め邦人經營の工場は八月四日より作業を中止、工場を閉鎖したるため一萬六千餘の職工は益々不穩の度を增し淄川炭礦にも波及し形勢は刻々險惡となりつゝあるが、邦人工場經營者も姑息なる手段は益々彼等に乘ぜらるゝ虞あるため此際斷乎たる處置に出づるに決し近く工場内宿舍より職工一萬六千及家族四萬に對し退去を命ずる筈

長山警視赴任

新遼陽警察署長となつて赴任する長山警視は十五日九時九分沙河口驛より官民約百名の盛大な見送りを受けて出發した

青島工場罷業の 善後交渉遂に決裂
工政會は職工の歸農を勸め 工場側も態度强硬

【青島十四日發電】紡織罷業善後策を講ずるため中央の命に依り來青した崔士傑氏は工場側と折衝したが、工場側は工政會を中心とする煽動搖亂の不安が除かれぬ限り復業せずと頑張つてゐる、之がため崔氏は最近工場側に對し强硬な態度を執り此際復業せねば職工全部を歸農せしめ更に將來の職工募集を嚴禁すると威嚇策を行つてゐるため善後交渉は遂に決裂するに至つた、形勢次第では職工の歸農も實現するらしく支那側としては出來るだけ外交問題化するやう畫策し、解決はズルズルく引張つて工場側を屈苦垂れさせる作戰らしい、之に對し工場側も決意は相當强硬なるものあり目下のところ解決の見込は立たず事態は漸く複雜重大化して來た

電園附近の 遊園地計畫不要
滿鐵當局は反對意見

滿鐵所管の電氣遊園地を柴田一郎、田中宇一郎、小川鹽次郎、竹中照磯、今井行平氏等四十三名が發起人となつて無料貸下を受け資本金二百圓を以て民衆慰安の一大遊園地たらしむべく計畫されてゐる模樣だが、之に對し滿鐵當局では電園に對する「そんな計畫などは全然耳にしない」と冒頭して語る「民衆慰安の計畫、電氣遊園でなく電園下の廣場と間違つて傳へられてゐるのではなからうか

電氣遊園 の貸下げは無料有料にした所到底困難であつて、電園は將來大大連の中樞地であつて、今後益々高尙に淨化すべきもので之が所謂思想善導には最も有意義であらうと思ふ、假りに日本人支那人に對する施設計畫を樹てゝも俗惡なものは寧ろ日本人に迷惑で結局中流以下下層支那人に占有される位なものである、大連居住支那人の大部分は有產階級の資本家でなく日支人に使用される店員乃至使用で萬全の施設として見たところが落ち金は至極少く結局

苦力階級 の集合所となつて公衆衛生上から寧ろ憂慮すべき問題を招致する位に過ぎまい、斯る計畫は市街發展からいつても現在邊鄙な土地を物色して純支那人向きの慰安施設を作つた方が餘程有意義で日支人向き施設を同一場所に合同して來るなどは全然問題にならぬ。ない、殊に電園に對して該計畫をなすなどは決して日本人のためでなく滿鐵の反對よりも先づ在連日本人の大部分が大反對であらうと思ふ

米國へ輸出の 日本生糸
八割五分を占む

【ワシントン十三日發電】本日發表された貿易統計によればアメリカに輸入せらるゝ織物及び織物染料中生糸が價格に於て其の首位を占め其の八割五分は日本生糸なること明かとなつた、支那は一割四分で之についでゐる生糸上半期輸入高は一億九千八百七十五萬弗である

大觀小觀

支那側は滿洲里の朱代表ち一行を引揚げしめた。

◇

强腰でか、弱腰でか、支那側の肚裡、決意如何。露支交渉はともかく停頓から停頓へ、容易に打開の望みもなさ相だ。

◇

これで奉天と、南京とが褌を締め直して出やうといふのか。

◇

いづれにしても、權力不統一の現實を、勞農側の面前に暴露するやうでは、對露交渉の打開、解決望無なしと知るべし。

◇

暴露戰術は南京政府のお手のもの、だがそれにかけては勞農側は先生株。

◇

その戰術の材料を、支那側から提供したのでは、さすがの南京政府、手も足も出ぬといふものか。

◇

水も入らず先づ引分けの村角力

天氣豫報

十六日　晴れ一時曇り北西の風
日出　五時七分　日沒六時四十九分
滿潮　前八時三十分　後八時二十分
干潮　前零時三十分　後二時三十分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七、二	二六、九
旅順	二七、九	二六、五
營口	二七、三	二七、三
奉天	二七、九	二九、二
長春	二六、三	二七、四

新聞の不配達其他の故障は電話四七六七番へ

愈よけふツエ伯號 世界一周の壯途へ

午後零時卅五分ドイツを船出 一路東京へ向ふ

【フリードリツヒスハーフエン十四日發電】ツエツペリン伯號は世界一周の途に十五日午前四時卅五分(日本時間十五日午後零時卅五分)當地出發一路東京に向つた

東京着は二十日正午過ぎ

エツケナー總司令 航程、コースを發表

【フリードリツヒスハーフエン特電十四日發】ツエ伯號乘組幹部會議の結果十四日午後九時總司令エツケナー博士は嚴然な態度を以て左の如く發表した

我等は 愈々十五日午前四時半を以てフリードリヒスハーフエンを出發する、コースは今のところ先づベルリンの上空を、北方に殆ど眞直に翔ぶが、ベルリンの上空には五時間乃至五時間半にして到着、其後航路を東にダンチヒ及びケーニヒスベルヒに執るべくケーニヒスベルに着くまでには更に五時間半を要する積りである、それよりロシアのミンスクを目標に進み、而して若し天候が許せば同地より **船首を** 轉じてモスコーに向ふ筈である、モスコー通過後は航路を北東に執りウラル山脈の中央地點を超ゆる積りである、初め同山脈の北端を迂廻しいはゆる大圏コースを執らんと希望してゐたが、目下白海には低氣壓が蟠ふてゐるので斯く北方に據ることは出來ないのである、而して白海方面の低氣壓の範圍如何によつてウラル山脈のいづれの地點を越えるかゞ決定されるであらう、目下余の希望としてはオムスクの北方約六百キロの地點を飛行しこゝでその後の **コース** を決定する積りであるが、最も確實性ある航路はヤクーツクに出でそれより南下してオホーツク海に出てサガレン等を越へ更に南下、東京に達することゝならう、東京までの所要日數としては最も早くて四日、遲くて五日の豫定である、しかしそれには最も誂へ向きの天候を條件とする確實なところは百二十時間といふところであらう、若し百二十時間を要するとせば東京着は二十日正午過ぎの豫定である

なほエツケナー博士の説明によればツエ伯號はモーター全部を動かすとすれば **今回の** 積載燃料その他をもつてすればその航走時間は百十五時間乃至百二十時間であるが、今度のコースにおいては四個のモーターより動かさぬ筈であるから百五十時間は航續することが出來ると

理想的な天候振り

【フリードリヒスハーフエン十四日發電】ツエツペリン伯號總指揮者エツケナー博士は愈々明十五日午前四時半(日本時間午後一時半)出發の積りであると述べた、本日の氣象報告に依れば北方コース全體に亘つて殆ど理想的な天候振りで、スユーデン地方に低氣壓あり東北に向つて進行中なれど右は寧ろツエツペリン伯號の進路と反對の方に向ひつゝあるもので心配なし、また中部ヨーロッパには厚氣壓の地域があるが、これとて邪魔になりさうでない

Z伯號積荷

故エルド男の胸像と郵便物五萬通

【フリードリツヒスハーフエン十四日發電】東京行ツエッペリン伯號の積荷としては曩に日本に飛來し歸國後逝去したフューネフエルド男の胸像が唯一のものであるが郵便物は米國より持つて來たもの三萬通歐洲より托されたもの約二萬通で總計五萬通に達してゐる

Z伯號への電信取扱ひ

一般希望者の

ツエツペリン伯號には強力な無線電信装置があるので遞信省では本邦陸上無線局と同船との間に航空の安全に關する電報を無料で交換せしむるほか一般公衆局でも同船宛電報の發信を希望する向に對しては管内各外國電信取扱局に於て受付けることになつたが、着信局名には無線電信の呼出符號DENNEを使用せしめ一語の料金は七十錢とし發着電報は特に迅速に取扱はしめると

◇―けふドイツ出發のＺ伯號

コレラ船大連丸

けふ乘組員の健康診斷 異狀なき場合は解放する

コレラ患者の發生せる大汽上海、青島定期船大連丸はその後寺兒溝檢疫所前の沖合に五日間の停船を命ぜられてゐたが、漸く十五日一應海務局の手によつて乘組員一同の健康診斷が行はれ異狀なき場合は解放される事となつた

南部大連斷水

大連民政署では櫻花臺、向陽臺以南靜ケ浦に至る一圓にわたり水道鐵管連路工事のため十七日午後八時から翌朝七時まで斷水すると

支那書畫展

市内奧町横街中華基督教青年會では十四日から三日間にわたり第一回書畫展覽會を開催中だが出品者は書家を以て聞える陳冑勤氏のほか山水畫家の厄雲旌氏、玉秋泉氏、孫畊二氏を初め王石泉の書畫冊、蘭亭房の百壽圖をも出品され一般の來觀を歡迎してゐる

市長水害狀況視察

石本大連市長は十四日午後榮町方面の水害狀況を視察したが、市としてはこの際特に衞生方面に留意し極力傳染病豫防につとむべく、尚該方面が非常に低地なるため今後もかゝる災害を受ける虞あるを以てこれが對策を講ずる必要があらうと

相澤(帝大)四百米へ 滿洲は短距離で

南部、今井兩選手活躍 決定の京滿對抗陸上競技組合

來る十七、八の兩日擧行される京大對全滿陸上競技對抗のメンバーは左の如く決定した、特別眼に立つものは帝大の相澤が四百米突へ出場し滿洲が京大の豫想を裏切り短距離の仲田を退け南部、今井を起用してゐる點で尚競技開始は十七日午後三時半、十八日は午後二時からである。

八百米 京大(鈴木清、高柳、補缺栗山、鈴木茂)滿洲(濱田、堀、補缺木田、永谷)
砲丸投 京大(福島、桐田、補缺龜山、西村)滿洲(上倉、白石、補缺三好、横井)
百米 京大(相澤、李、補缺鍋島、長島)滿洲(南部、岡、補缺今井、仲田)
棒高跳 京大(渡部、本莊、補缺桐田、鈴木武)滿洲(伊藤、淺坂、補缺田島)
走幅跳 京大(長島、桐田、補缺高柳、野間)滿洲(南部、柴田、補缺田中)
高障碍 京大(上田、藤井、補缺長島、桐田)滿洲(鶴岡、田島、補缺柏木)
三千二百米リレー 京大(鈴木清、高柳、栗山、杉野、補缺鈴木茂、鍋島、本莊)滿洲(濱田、堀、木田、永谷、補缺金光)
四百米 京大(鍋島、鈴木清、補缺相澤、松野)滿洲(濱田、柏木、補缺岡、堀)
走高跳 京大(長島、上田、補缺藤井、桐田)滿洲(南部、鶴岡、補缺柴田)
圓盤投 京大(横山、龜山、補缺桐田、福島)滿洲(白石、三好、補缺上倉、横井)
千五百米 京大(鈴木茂、本莊、補缺栗山、松野)滿洲(永谷、山下、補缺濱田、堀)
四百米障碍 京大(高柳、鈴木武、補缺吉田、中村)滿洲(鶴岡、柏木、補缺浦野)
三段跳 京大(長島、高柳、補缺桐田、福島)滿洲(南部、柴田、補缺田中)
二百米 京大(相澤、李、補缺鍋島、野間)滿洲(岡、今井、補缺南部、仲田)
槍投 京大(西村、横山、補缺本莊、福島)滿洲(伊藤、小林、補缺岡田、峰尾)
五千米 京大(鈴木茂、武島、補缺松野、栗山)滿洲(山下、仲本、補缺永谷、八重樫)
千米メドレー 京大(相澤、李、長島、鍋島、鈴木清、

金州街道に三人組强盜

農夫の御難

十五日午前八時三十分ごろ金州南山拉樹房農業劉洪福(四二)は所用のため夏家河子に赴くべく途中南關嶺附近に差し蒐つた時商人風體の三人組の支那人强盜に襲はれ逮捕の上小洋五元と印鑑一個を强奪された、屆け出により目下大連署では星司法主任以下現場に急行し各方面へ手配の上犯人捜査中

コレラに祟られ木材水下し中止

また埠頭は材木山を築かう けさ七時から出門券發行

大連埠頭における北洋木材の滯貨緩和の策として水下し法によつてロシア町海岸の特定區域に引揚げる方法をとつた事は既報の如くであるが、折柄コレラの侵入で大連港の海水使用を禁止された爲め右水下し策も自然沙汰止みとなり、從つて埠頭野積場は木材の山を築き十四番區繫留の八御影丸、十八區繫留八乾坤丸、三十番區繫留神光丸の如き揚荷場所に不便を感じてゐる、なほ北海道、樺太方面よりは菊花丸、遼海丸、大越丸等が多量の米材を積み込んで來る豫定であるから更に埠頭は太丸木材の輻輳を極めるであらうと云はれてゐるが、右に就き埠頭側でも善後策を講ずる事となり差し當り從來市内引取貨物に對して午前八時より出門券を發給して居たのを木材滯貨の引取を便利ならしむるため十五日より當分午前七時より出門券を發行する事となつた

夕涼み 探偵綺譚【九】

毒刃に仆れた邦人夫婦に 三の數字が附纏ふ 滿鐵本社裏の兇行

支那人の毒手に慘殺されたものに當時滿鐵本社裏手にあつた雜貨商西口酒保の主人西口喜一郎(三七)夫婦の遭難がある。四十三年十二月十三日の宵、主人は内儀の妻小野タケヲ(三〇)と晩食の最中突然入口の戸を押し開けて侵入した三名の支那人兇漢が、手にした肉切庖丁や手斧を振つてゆきなり西口夫婦に斬り付けた。

◇

氣丈のタケヲは頭部數個所の重傷に全身鮮血を浴びながら、それでも夫の身の上を氣遣ふの餘り兇漢の振り下す兇刃の下をかい潜つて戸外へ脱出し、一丁程距つた滿鐵附主任漆川雅光方に駈付け、夫の危急を訴へて救助を乞ふと同時に其場に打倒れ人事不省となつた

◇

漆川氏が獵銃に裝彈して西口方へ駈着けた時は既に遲く賊は金品を掠奪して逃亡した後で、西口は全身に無數の重傷を負ひ、戸外の畑中に血潮に浮いて既に全く絶命してゐた。タケヲは直に近藤病院に擔ぎ込まれ、辛くも一命丈けは取留めた。加害者等は稍時を經て大連と復州で三名共逮捕された

◇

この事件には不思議な因緣ばなしが附纏してゐた。夫婦が遭難の二日前、西口は過つて飯碗を三個まで取落して割り、亦妻のタケヲは同じ夜同じく茶碗三個を割つたといふ妙な夢を見た。而も其翌夜は店の品物價格四十餘圓を何者かに竊取された。

◇

だが、夫婦は未だ恐るべき死神のかぐろき手が已れらの頭上に低く垂れてゐるとは氣付かず、夢にも事實にも「三の數字」が附纏ふから、今度の彩票は三か六かの番號を買つて見たいなど他に話してゐたさうであるが、同じ數字の「十三日」の夜右の兇變に遭つた。因緣事の前兆だつたのだらう、と當時の大連市人に囁き交はされたものであつた。

獵天狗連の活舞臺ひらく

けふから禁獵解かる 緣起の初獵は州内のシギ

滿洲の獵界は愈々今十五日から解禁された、大連、小崗子、沙河口の各警察には一週間ほど前から狩獵免狀下附願者が殺到してゐたが免狀も一齊十五日午前中に下附された

◇

獵天狗の緣起ともいふかこの初獵には大部分が自慢の銃を擔いで獵場へ出懸けるこのごろの獲物は殆んど田鴫に限られてゐるが、獵天狗の話では州外が大洪水であつた關係上田鴫もそのつき場を失ひ州内の方へ休養地を求め殊に三十里堡、愛川村、大房身、金州、小鹽島、南關嶺、周水子、營城子、三澗堡といつた州内著名な獵場に翼を休め初めたとのこと

◇

これで州内に於ける初獵の獲物は鴫に鷸だらうとあるから十八日の日曜日には手ぐすね引いて待ちあぐんでゐた大小天狗連の出獵で各獵場は賑はは

水害に襲はれ妻子は赤痢に

『身の置きどころもない』と 沙河口署へ保護願

十四日の水害のため家を奪はれ身の置き處にも窮して居る沙河口元町百九十七番地十一戸のうちにこれはまた憐れな話がある、福田彌吉は九歳、六歳、四歳と三人の子供を抱へて居るが本月八日に妻チヨ(四四)は赤痢に罹つて目下慈惠病院に入院中であり、自分は毎日濱物行商をして歩いて細々と暮しを立てゝゐた折りもをり水害に遭ひ剩さへ十四日四歳になる末子ミヨもまた赤痢に罹りその爲め傳染病の家として避難先でも嫌がられ十四日夜は慈惠病院に於て一夜を明かしたほどで身の置きどころもないから世話してくれと十五日沙河口署に泣きついて來た

女給にお灸

主人も側杖

カフエーの風紀問題八釜しくなり大連署の取締嚴重なるにも拘らず信濃町九五カフエーギンネコの女給君子こと野崎ミサ子(一九)は十一日午前二時四十五分ごろ開放せる二階で他客の迷惑は勿論、公衆の安眠妨害をも顧みず高聲で淫猥な歌を唄つてゐるを警戒中の巡査に發見され告發されて十五日ミサ子は科料二圓カフエー主驚海は同三圓に處せられた

丸髷の女が拳銃密輸

荷受けに來て水上署で御用

去る十一日入港のはるびん丸乘客の手荷物中モーゼル一號拳銃入挺入りの怪しい柳行李が二個あるのを發見、水上署司法係りで看視中のところ、元看護婦と稱する丸髷の四十女が受取りに來たので有無を云はさず引捕へ嚴重取調べの結果、同人は宮崎縣生れ市内霧島町六十四番地清キク(四二)といひ全く同人の仕業であることを白狀したので取敢ず十五日檢察局に送つたなほ連累者ある見込で捜査中

演藝館の樂士一齊に退館す

裏面的原因はトーキー出現で 對館主との感情爆發

映畫映畫及びエレクトラ伴奏の流行と共に陰慘な樂士の失業問題は東京邦樂座を第一に全日本より朝鮮にまでも及ぶ有樣であつたが、突如大連にも其の火の手をあげ、高等演藝館樂士のストライキ的行爲を見るに至つた。表面的原因は去る七日松岡滿鐵副總裁の離連に際して **音樂入りて** 氏を送つたとから演藝館の開館が約一時半遲れる爲め館が非常な損害を被つたとて小田秀澄支配人は樂長中村玉次郎を呼寄せその責任をせめたところ、中村は一言の詫をも云はず傭ふ人間と傭はれる人間は相對づくだと、部下の樂士六名をさそつて即日退館してしまつた、當時演藝館はマキノのトーキー上映中であり又他の館員中にも樂器を奏で得るものがあるので二名の臨時傭を入れて興行を續けたのであつた

しかし其の **裏面的原因** はエレクトラ及びトーキーの出現により樂士對館主の間に面白からぬ感情のあつた事によるのは否めない、この一演藝館の紛糾は大連全映畫館に及び倘引續きゴタついてゐる、コヽに滑稽なのは中村と共に退館した六名の樂士が次々に館主に泣を入れて演藝館に歸つてしまつたことである

旅順戰跡憑弔會

團體募集

若草山西本願寺では恒例により旅順戰跡憑弔會を來る十八日旅順に於て擧行するが、參加希望者は左記事項により至急西本願寺宛申込まれたいと

▲時日八月十八日(日曜日)午前七時半集合▲集合場所大連驛▲會費四圓(バス持參のものは二圓五十錢)▲中食持參の事

第三富久丸進水

大連甘井子間に就航する連灣輪船公司の第三富久丸は此程竣工したので十八日朝九時北大山通突堤海岸にて進水式を行ふと

困つた寺守

檀家が旅費を添へ說諭願ひ

市外馬欄河口大德寺附屬觀音寺々守山本戸市(五二)は以前漁師であつた當時結氷期に到つて衣食に窮して居た處を大德寺住職高比良光信師に扶けられ觀音寺の寺守となつたのであるが、同人は元來酒癖悪く曾て旅芝居の群に居た事あり、性來粗暴なため信者連からも嫌はれ一ケ月前同寺を出てくれと言はれて日本刀を振り廻す等手もつけられぬ有樣に此程檀家連相談して本人が郷里宮崎縣へ歸る樣說諭してくれと旅費を添へて十五日沙河口署へ願出た

一〇A―一で海草中學大捷

對慶應商工戰

【大阪十五日發電】慶應商工對海草中學野球試合は慶應先攻にて十五日午前九時開戰十A對一にて海草中學の大勝に歸した、閉戰十一時七分、バツテリー慶應商工新妻、黑崎、海草中學西山、山脇

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
慶應	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
海草	3	2	0	1	4	0	0	0	A	10A

平壤中學敗る

三A對零で平安中學に

【大阪十五日發電】平壤中學對平安中學野球試合は平壤先攻にて正午より開始され三A對零にて平安中學の勝利に歸した閉戰二時十五分バツテリー平壤内田兒鮫島平安伊藤兒中川

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
平壤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平安	0	0	2	1	0	0	0	0	A	3A

◇…新義州附近の部落で仲の惡い鮮人夫婦が友人の法要に行き飲酒して喧嘩を始め家に歸つて棍棒で妻を毆り殺したまゝ姿を晦ました【安東】

◇……東北大學工廠裡の御花園といふ支那部落に最近頭が眞四角で長さ八尺餘の大蛇が現はれたといふので、同村の支那人一同は何かの瑞祥であると三拜九拜大蛇が現はれたのは事實かどうか判らぬがその噂でも三拜九拜の禮を行ふのは迷信の強い支那人にありそうなこと【奉天發】

不當貸付暴露して 滿銀行員七名解雇さる

更に某不祥事件近く暴露せん 成行きを重大視さる

五品錢鈔合併問題の餘波として最近滿洲銀行々員の不當貸付事件が暴露し數名の馘首者を出した、事件の内容を探聞するに株式仲買人高山某は五品錢鈔合併問題を材料に五品株を買占めたが、今後合併不成立と共に相場は暴落し少なからぬ損害を蒙つたが、某株店では損害の補塡をなすべく、滿銀整理係湯川某、預金係山下、押原某等を待合その他に招じて饗應なしこれを買收したもの〻如く、その爲め預金帳尻にカブリがあるに拘らず、他人の口座を巧に利用して約一萬圓近くの不當貸付を行つたことが最近に至つて發覺、直に前記湯川、山下、押原外二名の行員は馘首されるに至つたものである、なほ右事件と相前後し、宗吉商店に絡まる數萬圓の不當貸付事件も發覺し須藤、濱田兩整理係も馘首された事實あり、この外故兵頭支配人時代に起つた某重大事件に絡んで大株主中にはこれを表面化さんとして意氣捲いてゐるものもあり、某事件が世上に暴露せば當然某氏の身邊にも及ぶ模樣で成行きは非常に重大視されてゐる

行員の馘首は事實である

銀行の損害は三千圓程度 高橋滿銀常務語る

某株式店に對する行員の不當貸付事件に就き滿銀高橋常務は語る

目下整理中のものであるから事件の内容は御話出來ないがこの事件に關して行員を馘首したことは事實だ、何分只今先方と交渉中にて當行としては出來得る限り損害を輕からしめるやう努めてゐるから實損は三千圓程度で濟むであらう、なほ先方に誠意がなければ相當問題にする考へである

不況を脫せぬ滿洲經濟界

十五日の鮮銀總會 加藤總裁の演說

【東京特電十五日發】朝鮮銀行定時株主總會は十五日午後一時から東京本部で開會し今期配當四分据置きを承認、同一時二十分無事終了した、その席上に於ける加藤鮮銀總裁の演說中支那滿洲、露領關係の分は左の如し

滿洲に於ける特產界は昨年の豐作を受けしに拘らず東三省官銀號筋の買占めの影響を蒙り一般に高値を呼び殊に大連に於ける

油房界は 之が爲めに絕えず原料高に惱まされ極度の不振を告げ從つて當季中大連港に於ける特產物の輸出高は百九十三萬噸となり前年同季に比し十萬噸以上の減退を示すに至れり。次に輸入方面に於ては本年初新關稅實施見越しにて取引稍活潑の狀を呈したるも見越輸入一段落と共に閑散に赴き殊に奉票の大暴落、輸出入稅の增徵等により邦商對華商の取引不圓滑なりしに加へ、一般の購買力自然減退せしより輸入品市場は概して不振なるを免れざりしが如くなるも

北滿地方 に於ける支那移民の激增により綿糸布、雜貨、農具、金物類等の實需相當の額に上れり。斯くて大連港に於ける本年一月より五月迄の主要貿易品は輸出一億一千六百十六萬兩輸入五千三百八十五萬兩に達し之を前年同期間に比すれば輸出に於て六分、輸入に於て五割四分各增加を示し居れり。されど滿洲の一般財界は相變らず沈滯不振の裡に終始し、事業界の如きは當季中の新設增資會社五十三、此の資本一千九百七萬圓を計上し稍好轉の兆を示すが如くなるも右の內特別の使命を以て設立せられたる大連農事株式會社外二三を除けば他は何れも合資合名組織による小會社のみにて殆ど擧示するに足らず。斯くて

一般金融 は引續き緩慢の狀勢を辿り二月中內地各銀行の預金利下に順應して邦人側主要銀行は夫々利下を決行せしも其後依然として預金增の傾向を持續し當季を經過せり、要するに滿洲の經濟界は今尙ほ不況の域を脫せざるのみならず邦人側の委靡沈滯甚だしきものあるは遺憾に堪へざる所なり。而も滿洲は支那南方政府と諸外國との關係倍々複雜となり殊に最近北滿に於ける支那側の積極的行動により遂に露支國交斷絕の狀態に陷り其の推移如何は最も注意を要する次第となれるが此際我國としては愼重の態度を採ると共に倍々經濟的の勢力を扶植し以て彼我の向上發展に資すべきものと考ふ。支那に於ては國民政府の基礎漸く鞏固となり日支交涉上の難關たる濟南事件も解決せらる〻に至りしかと各地に不當課稅問題あり

排日貨は 尙終熄せざりし爲め引續き輸出入貿易を阻害し爲替金融市場亦此等の影響を蒙り甚だ不振の狀を呈したり。次に露領方面の狀況を觀るに漁業にありては漁區の競賣上に面白からざる問題を生じ又森林伐採事業は利權契約に不備の點あり一時停頓の狀にあるも北樺太に於ける石油及石炭兩會社の事業は益々良好の業績を收め他面日露貿易は近年著るしく進展しつ〻あると共に浦鹽港に於ける北滿雜穀の通過貿易は相變らず旺にして本年一月より五月迄の輸出高は七十三萬五千噸を算しつ〻あり。朝鮮滿洲其他に於ける經濟界の近狀は前述の如し。此間當行は內外の大勢に順應して業務の發展を企圖し一面極力

行內經費 の節約を圖ると共に着々整理の實を擧げたる結果所期の成績を收め得たるは幸慶とする所なり。仍つて當行は引續き業務の整理改善に努め尙鮮滿等の財界に處して適切なる施設を試み以て其の任務を完ふせんことを期すべし各位幸ひに之を諒せられんことを望む

產地相場爆發に 麻袋は强調

ジュート工場罷業こ 旗賣り筋の煎上げ

大連麻袋市場は今春產地相場が兎角軟弱にてともすれば落調を辿る傾向あり、更に產地黃麻の作柄も案外良好に推移せるため不冴への商狀にあつたが最近に至りカルカッタ地方即ちベンゴール州におけるジュート工場の從業員同盟罷業が惡化したため產地相場の昻騰をみつ〻あつたが、突如十四日產地情報はカルカッタ直積鐵筋麻袋四十一留比四分の一と一躍一留比半方の暴騰を報じ十五日朝更に青筋直積四十七留比八分の三鐵筋直積四十三留比四分の一と各二留比高と續騰を入れたので當市も現物氣配三十九錢十二月限三十五錢と强調を示した、今回の產地相場爆發は例のジュート工場職工の罷業にもよるが、その後特に大なる變化を來した模樣なく現在操業休止にあるものは約二百七千錘に過ぎず

這般の爆發相場は寧ろカルカッタ方面の東洋向旗賣筋が昨今の情勢非なりとみて俄かに煎れ出したので市況が頓に硬化し遂に斯る高値を現出したもので旗埋め一巡後は相場も再び平調に復すべしとみられ

殊に當市は買滿腹の折柄華商筋に買氣無く一方輸入筋にありては高値には尙賣あびせんとする向ありて、產地相場に追隨し得ず僅に多期共二三厘方の漸騰步調に止まり割合に落着を示してゐる

回收不能に陷た 遼陽輸組の貸付

一萬數千圓に及ぶ 各地輸組にも發生

滿洲各地に輸入組合が設立されてから一ケ年半を經過し、各地組合では相當貸出に手を擴げてゐるが最近遼陽輸入組合における一萬數千圓の回收不能が現れ、過日來紳成聯合會理事長は滿鐵と善後策を打合中のところ十四日急遽赴遼し目下整理中である、元來遼陽及び鞍山輸入組合は地方の經濟勢力、人口等に比例して出資積立金に對する貸付高が多く七月末現在では

	積立金	貸付高
遼陽	一三八、〇一圓	一三一、〇三五
鞍山	一二六、六〇二	一〇三、八〇二

と約倍額を貸付けてゐる狀態にて今回の回收不能の主因もこれに基くもので、この外組合員の信用調査不備等が原因してゐる模樣である、尙は此外安東、撫順、營口等にも斯る事實があり各地輸入組合とも對策に腐心して居る

逆送貨物 初めて到着

十四日廿八車

東支東部線の停滯貨物は千八百車に及び之が逆送に關しては既報の如く我特產商側と東支鐵道當局との折衝の結果漸く解決しその逆送特產物二十八車が十四日初めて大連埠頭へ到着した、今後續々到着の筈である、尙十日以降十四日までの東支連絡南行貨物數量は左の如くである

△十日二〇〇車△十一日一九九車△十二日二三〇車△十三日一五八車△十四日一七四車

天津大沽間 艀船會社

着々準備進む

大連汽船會社長安田柾及大連駿河町昭和盛保科義平兩氏外六氏の發起にかゝる天津、大沽間の艀船株式會社設立計畫は着々進捗しつゝあるが既に使用現船二隻、艀船四隻を山口縣吉浦港より大連に回航せしめたので濱町海岸に於て之が準備を急ぎ近く天津に廻航し天津大沽間の貨物運搬に着手すべく種々下準備の爲め保科氏は過般天津に出張、十三日歸連したが全部の準備を終了したので十四日夕刻日本人十五名、支那人八十三名を各分乘せしめ天津に向け出帆せしめた

滿洲銀行總會

滿洲銀行定時株主總會は十五日午後一時から同行樓上に於て開會し今期純益金十一萬九千百七十八圓前期繰越金三十一萬六千三百八十四圓合計四十三萬五千五百六十二圓を後期に繰越し今期無配を承認、さらに村井會頭以下重役任期滿了につき改選の結果、何れも重任を見た

安田銀行總會

森副頭取流言を否認す

【東京十五日發電】安田銀行は十五日株主總會を開き當期利益金處分案は年九分を可決し重役の改選を行ひたる後森副頭取は同行に對し盛に行はれたる流言蜚語は全く爲めにするもの〻流言にして何等根據なきものなりと言明した

錢鈔重役會

支配人設置否決

大連錢鈔信託會社では十三日午後三時から重役會を開き五品の合併訴訟問題に關し辯護料として齋藤高橋兩辯護士各一千圓宛成功の場合は更に一千圓宛の支出方を承認し尙支配人設置に關する動議があつたがこれは否決され當分支配人は置かないことになつたと

手形交換高(十五日)

	枚數	金額
金	七〇四枚	四、二三三、七九〇圓
銀	三六八枚	三、八六九、九〇〇圓

黄塵

◇…資本金二百萬圓の大遊園地會社計畫「成程面白い!」と云つたら計畫者は喜ぶだらうが然うは行かぬ。

◇…時節柄と云ひ、餘り虫のよい計畫と云ひ、實は計畫者の常識を疑ふものだ。

◇…滿銀の行員不正問題、何時になつたら此の種蛆蟲共の一掃が出來るか。

◇…コレラぢやないが他に傳染しては困まる、充分消毒劑を撒布して置くべし。

◇…然し乍ら經濟問題では小さなことだ、それが爲め銀行が何うなると云ふ問題ではない。

◇…世には狼狽者も多いから敢て滿銀のため辯じて置かう。

◇…南滿は水害、南鮮は旱害、ホンに浮世は儘ならぬ。

團體めぐり

獨逸から生れた金融組合の發達

朝鮮を規範として設立した

◇……大連會屯金融組合(上)

ドイツのライン河に沿つたノイビードと云ふ所から、徒步で一時間程登ると、ウエスタンワルドの高原がある、その高原の上にアウバウゼンといふ小さい村がある、今から五六十年位前までは此の村の百姓は新しい農具の一つも、家畜の一匹も持たずして之等のものは皆高利貸の擔保となつて居た、元來が貧農ばかりの村であるから十英町位の土地を持つて居るのが大農の方で、他の百姓は極めて少しばかりの土地を持つて居るに過ぎなかつた、そして村民は自墮落になつて酒と賭博とに耽つて亂暴となり、毎日喧嘩ばかりして暮し、將來に對して何等の希望も光明も無く暮して居つた。

◇

所がその村が今日では田地は充分に耕され、百姓は皆富者となつて、納屋や倉には一杯の食料が貯藏せられて、村には立派な教會堂や會館が立ち、公園が出來、學校が出來、病院も出來、村民の住宅も驚く程美しくなつた、そして村民の暮しは樂になつて耕作には最新式の農具やい〻肥料が使はれるやうになつて來たのである、それで村民の人情は純朴となり、禮儀正しくなつて、愉快と平和の裡に暮してゐる。

◇

これは實に一八六二年ライファイゼン氏がこの村に金融組合を作つたからである、又これより少し前やはりドイツのハレル市近くの町にシュルツェ氏が一つの金融組合を創めたのであるが、この二の小さい金融組合が今日世界の隅々に迄行き渡つて居る金融組合の起源であつて、日本の產業組合法も此のシ式及びラ式の二つの金融組合の制度を其儘とつたものであつて、現在朝鮮に普及してゐる金融組合も亦、日本の此の法制を母體として出來たものであり、更に昨年來關東州內で設定せられて居る金融組合の如きも皆之に準據したものである。

◇

ところが關東州では昨年關東州金融組合令が施行せられる以前に地方農村の金融機關として各「會屯金融組合」なるものが立派に存立してゐた、即ち大正十三年に出來た大連、旅順、金州の三組合、翌十四年普蘭店、十五年に出來た貔子窩の五組合がそれである、これは朝鮮において異常な發達を示してゐる金融組合を手本として設立せられたのであるが、朝鮮の金融組合はその歷史も可なり古く、明治三十九年韓國政府時代に創始され明治四十三年日韓併合以來一段の進境を示し、現在では全鮮に亘り組合數五百十一に上り全鮮各種銀行本支店數の約三倍强に當り組合員數四十萬戶、出資金九百萬圓に上るといふ盛況で、朝鮮における金融組合の發達は日本の治績中特筆すべきもの〻一つであると言はれてゐる位だ、これに目をつけたのが朝鮮の行政官として經驗のある當時の關東長官兒玉氏で、關東州における地方農村の振興策として且つは日支親善の一助として朝鮮の金融組合の組織そのまゝを移植して大連を初め各會屯金融組合が創立せられたのである、各會屯金融組合の代表として先づ大連會屯組合の內容を說明してみよう。

(寫眞兒玉秀雄伯)

市況

特產 買氣一服に 三品軟調

頃日來鞘り商狀に推移せる氣先今朝銀の弱保合を眺めたが響かず三品共に買氣一服に軟弱商狀を呈した、高粱は浮足商狀を辿りて强弱區々現物大豆は油坊十車、豆粕建成のみで一萬枚の手合はせ、今日の油坊生產高は一萬四千枚、操業工場は九軒

◇定期前場(銀建)

▲大豆(軟調)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	—	—	—	—
九月末	六九一〇	六九一〇	六九〇〇	六九〇〇
十月末	六九二〇	六九三〇	六九二〇	六九三〇
十一月末	六九三〇	六九三〇	六九〇〇	六九一〇
十二月末	六八六〇	六八六〇	六八五〇	六八六〇
出來高	三百五十七車			

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(弱保合)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
九月限	三二六〇	三二六〇	三二六〇	三二六〇
十月限	三二四五	三二四五	三二四五	三二四五
十一月限	三二四〇	三二四〇	三二四〇	三二四〇
十二月限	三二一〇	三二一〇	三二一〇	三二一〇
一月限	三二〇〇	三二〇〇	三二〇〇	三二〇〇
出來高	一萬七千枚			

▲豆油(軟調)(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
九月限	一八四五	一八四五	一八四〇	一八四〇
十月限	一八三〇	一八三〇	一八三〇	一八三〇
十一月限	一八四〇	一八四〇	一八四〇	一八四〇
出來高	三千五百箱			

▲高粱(强弱區々)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
八月末	四九五〇	四九五〇	四九五〇	四九五〇
九月末	四九五〇	四九六〇	四九五〇	四九六〇
十月末	四八〇〇	四八〇〇	四八〇〇	四八〇〇
十一月末	四二九〇	四二九〇	四二九〇	四二九〇
十二月末	四二三〇	四二三〇	四二三〇	四二三〇
出來高	五百十車			

▲包米(出來不申)

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)	六八四〇	六八二〇
大豆(裸物) 出來高	十車	
普通大豆(袋物)(裸物)	出來不申	
豆粕	二二六五	二二六六
出來高	一萬枚	
豆油	出來不申	
高粱	四八〇〇	四八〇〇
出來高	十車	
包米	出來不申	

定期喰合高(十四日帳入)(前日對比較△印減)

	喰合高	前日對比
大豆	三一〇四車	九二車
高粱	二〇二五車	二五車
豆粕	一六六六千枚	七六(四千枚)
豆油	一五五五百箱	△三五百箱

錢鈔 銀弱保合 材料區々に

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は廿四片四分の一と(十六分の一安)先物は廿四片八分の三と(十六分の一安)紐育は五十二仙八分の五と(同事)孟買銀塊は五十五留比八分の五と(八分の一高)烟は七十一兩二七五邁申は七十二兩四五大洋は九十七圓七十五錢日米は四十六弗八分の五と(八分の一安)米日は四十六弗十六分の十一と(八分の一安)英米クロスは八十四仙八分の七と(八分の一高)米支は五十七弗八分の七と(同事)上海標金は三百九十五兩四と寄り三百九十六兩一と止め當市の銀價は弱保合を呈した

◇定期取引(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	八九五	八九〇	八九三	八九五

◇現物取引(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	八九〇	三三五	一三六〇
十時	八九五	三三〇	一三五〇
十一時	八九五	三三〇	一三五五
十二時	八九〇	三三〇	一三六五
出來高 銀對金	十三萬九千圓		
出來高 銀對洋	一萬圓		

期近 出來高 三百二十四萬圓

商品 前場

麻袋(續騰) 產地情報によれば靑二留比十六分の三鐵二留比高と續騰を報じたるも當市は華商筋の買氣皆無のため產地材料に追隨し得ず一方輸入筋にありては高値には尙賣あびせんとす向もありてさしたる昻騰をみせず僅かに二、三厘方の續騰に止まつた引際氣配は現三十九錢八月三十六錢七厘九月三十五錢二厘先物三十五錢見當であつた

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	延十二月末	三五〇	二〇

出來高 三萬枚

綿糸(保合) 米棉四、五十錢方反落に大阪三品期近は三圓五十錢先物は約一圓方の續落と益々軟調を入れたるも當市は銀塊十六分の一高銀票保合に氣配變らず保合閑散裡に散會した氣配は局面現二百十四圓八月二百十七圓先物二百十八圓見當

◇定期

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十一月限	二一八二	八〇
同	十二月限	二一五三	七〇

出來高 百五十梱

麥粉(出來不申)

株式 買氣擡頭し 五品昂騰 直は即時計算

今朝北濱市場は創立記念日にて臨時休業東京短期の新東は保合を入れたが當市の五品は昨後場に引續き買物出現に場面俄かに緊張し定期直キ共二三十錢高に寄りアト强調を辿り定期は五六十錢高直キ八十錢高に引け十三圓五十錢で即時計算となつた新豆錢鈔は變らず內地諸株も保合出來高定期五百四十枚現物九百六十枚

前場 ◇定期 ◇現物(甲部) ◇現物(乙部) 後場(續騰) ◇定期 ◇現物(甲部) ◇爲替及受渡日步 [illegible]

株式出來高(十五日)

定期	一、三九〇枚
現物	一、六二〇枚
合計	三、〇一〇枚

株

蒸し暑さで息苦しい程の夏空も劇しい雷雨を名殘りに今朝はさわやかに晴れ渡つたが市場の空氣もどうやら變りかけたやうだ▲五品は昨後場珍らしく反撥を示し今朝又內地保合を入れたが引續き氣配硬化し直定期共六八十錢高に引移り直キは即時計算となるなど珍らしい現象だ▲市場では有力仕手の出現を傳へられてゐるが今朝直キでは小林の手から一千枚鎌野と山田から各〻百枚宛二千五十枚の正株を引いて五錢の逆日步をつけた仕手も相當資力がある事が窺はれる▲地場銀行も愈々五品に相當額の貸出を行ふやうに話がついたらしい、これで東京の五品がつれて來れば可なり相場は面白くなりさうだ▲天高く馬肥ゆる候は株高く人肥ゆるの候にならんことを祈つて置く

豆

銀市の弱保合商狀も響かず三品共に軟弱商狀を呈して了つた▲頃日來續騰を辿つた高粱は浮足商狀を辿つて强弱區々▲高粱の期近物は三日で六十錢位の續騰を呈したので一車買つてもタンマリ儲かつた譯だ▲近來あまり儲かるので耕作段別で昨年よりも約三分の一增加してゐるとか▲大豆でシコタマ儲かつた某華商の高粱の思惑相場に手を出しすぎてスッテンテンになつたそうだ▲あまり思惑にばかり手を出し過ぎないことが肝腎々々▲問題の防穀令もあまり度々なので藥が利かないらしい▲大豆は今朝弱相場を呈してゐたが作柄が氣づかはれてゐる時とて又盛り返す相場であらう▲豆粕の新甫は二圓十錢で上場頃合の相場であらう

銀

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は十六分の一安、紐育は同事、孟買は八分の一高と區々を入れ▲爲替は日米米日共に八分の一安であつたが▲上海標金は同事に三百九十五兩四と寄り後下押商狀を呈し九十四兩迄行つたが利喰ありて反撥し九十六兩一と止め▲地場鈔票は十五錢高の八十九圓五十五錢と寄り高値八十錢まで上つたが標金の上伸に添ひ五錢安の九圓三十五錢と止めた▲當地の鈔票も爲替安で目先鞘り商狀を呈し九十圓臺まで上伸するであらうと見られてゐる▲信託では今夕取引人等を招待し何か打合せ會をやるさうだ▲大いに儲けさせて貰つたお禮でもするのだらう

奥地市況(十五日前場)

特產 ▲大豆

開原	寄付	大引
八月限	—	—
九月限	三一〇〇	三一四〇
十月限	—	—

▲高粱 ▲小麥 (長春、哈爾賓、公主嶺、開原 各限月) [illegible]

錢鈔 奉天(奉票)現物・先限 開原(奉票)現物・先限 同(鈔票)現物・先限 安東 鎮平銀 期近・遠期 哈爾賓(大洋)現物 [illegible]

市場電報(十五日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	廿四片四分一
同 先物	廿四片八分三
紐育銀塊	五二仙八分五
孟買銀塊	五五留比八分五
英米爲替	四弗八六仙八分七
米日爲替	四六弗十六分十一
米支爲替	五七弗八分七

棉花

●米棉(換算四五錢安)

現物	一八仙三五
十月	一八仙二七
十二月	一八仙四三
一月	一八仙五〇
三月	一八仙七二
五月	一八仙七〇

●印棉

ベンゴール	二〇九留比
ヴローチ	三三二留比
オムラ	二〇四留比

東京株式 / 大阪株式 / 大阪期米 / 東京期米 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 神戶豆粕 / 橫濱生糸 / 印度麻袋

印度麻袋: 鐵筋直積 四三留比四分一 / 青筋直積 四七留比八分三 / 爲替相場 一三〇留比四分三

[illegible]

上海爲替情報

【上海十五日發電】銀塊安なるも米日安を入れて一般買人氣大連筋突込めしも安値正金銀行團よく買ひ志豐永、大德成利喰買物と引前福昌の賣りと神戶日米安を入れて日米高を入れて高引せるも市況戾賣人氣

上海標金

寄付	三九五兩四
高値	三九六兩四
安値	三九三兩九
引値	三九六兩四

爲替相場(十五日正午)

正金(銀勘定) 日本向參着賣(銀買) / 同十五日買(同) / 上海向參着賣(銀買) / 倫敦向電信賣(銀) / 同二ケ月買(同)

正金(金勘定) 倫敦向電信賣(圓) / 信用付二月買(同) / 米國向電信賣(百圓) / 同九十日拂買(同)

鮮銀(金勘定) 倫敦向電信賣 / 同二ケ月買 / 紐育向電信賣(金買) / 上海向電信賣(金買) / 日本向電信賣(銀買) / 同十五日拂買(同)

[illegible]

平安異香 (81)

葉多獸太郎作
中一彌畫

獄中記(四)

鷲の嘴で土を掘るといふのは手で掘るよりましだといふばかりで、容易に捗どりさうにもないのは當然だつた。

一日かゝつて漸く一寸ばかり深くなつたと思ふくらゐの日があると、次には石につきあたつて、それを剝りとるのに三四日もかゝることがある。さうかと思ふと、ふとやはらかな礫砂になつて、二尺三尺と面白いやうに掘拔ける日も稀にはあつた。そんな時の春光の歡喜は譬ふべくもない。はらはらと目に溢れて落つる涙を拭ひ拭ひ狂人のやうに掘續けるのだつた。

かうして掘とつた土砂は、一まづ寢臺の下に掻き出しておいて、夜になると穴牢の奥の方へ蹴のやうに塗り固めた。

この清盛の土牢といはれた牢獄は、鉢を並べたやうな屛風岩に圍まれた鉢の底のやうな幽谷で、一日の中わづか半時ばかりの間、一筋の陽光が火柱のやうに立つのがこゝに住むものゝ見られる光の全てで、常に陰暗寂寞、地の底のやうな世界だつた。そして牢といふのが、奥深く横にのびた洞窟だから、番人が格子にしがみついて覗いても、一間ばかり奥の寢臺の藁が闇中の影のやうに薄白く見えるくらゐのもので、それより奥へは目が屆かない。

で、穴牢の奥の一間か一間半ばかりを掘盡すだけの土は掘出せるわけだが、それではなほ外部へ通ずることが出來ず、天來の救ひもないとすれば、春光の血の滲を泌すやうな努力も、遂には水泡になるわけだ。

だが、やつてみる他はない。

春光は掘續けた。一日二度の飯時に寢床にかへつて、藁人形と入れかはつて牢番を待つほかは一日中穴にもぐつて土竜のやうな勞役を續けた。穴は既に二間ばかりになつてゐる――。

それは穴を掘り始めてたしか十四日目の日だつた。

その日春光は一つの石に行きついた。

が、前例もあるので、刳り出すつもりで大きさを調べにかゝつたのだが、その石は今までのやうなものでなく、屛風のやうに行手を塞いだ大岩らしいのだつた。

春光は失望した。岩をも融す氣力はあるが、悲しいかな唯一つの頼みの得物は鐵ではない。

闇の中で、春光は磨り減らされて譲り少くなつた鷲の嘴を撫で悄然とした。そして、既に掘拔いた二間の穴を振返つた。

無駄な努力の跡を顧みるのは悲しいに違ひない。だが少時の時には、再び春光は勞役を始めてゐた。

岩の右の方を掘つてみた。上の方、下の方――何處かに活路を見つけやうと一心不亂になつてゐた。

口は絶えず、佛者の名號を唱へるやうに、

「幸のために、幸のために――我が愛のために、愛のために」

と掘き續けてゐるのだつた。

悩ましいといふよりもむしろ怖ろしい苦役だ。怖ろしい人間の一心だ――力だ――

と、不意に、狂人のやうになつてゐた春光が、ハッとなつたやうに手を止めた。

「をかしい……」

鷲の嘴を帶に挾んで、手に屛風のやうな岩の面を撫でてみる。

「いや、そんな筈があるものか、この岩が動くなどと。だが、そんな氣がした――氣の迷ひといふものだらう――」

こゝろみに、平手で岩の面を打つてみると、その響きに何か洞窟な音がある。

「をかしい……」

春光はまた考へこんだ。

この岩の向ふが天然の洞窟にでもなつてゐるのかも知れない――

それだと油斷は出來ない。崩れ落ちでもすると生埋だ。

で、春光、足を蹈んだ所へ膝けて、いざとなれば體を喰ひ止めるだけの用意をしながら、ウムと力を籠めて押した。

と、グラッと搖るいだ大岩石――

同時に、長くなつてゐた春光がダッと土砂をかぶつてしまつた。

演藝茶話 俳優の墓

「世界の戀人」ルドルフ、ヴァレンチノ逝いて三年生前全世界の子女を惱殺しその死は幾萬の美女の紅涙を絞らしめた彼も今はホリーウッドの墓地に冷たく永遠に眠つてゐる。彼の遺骨は他のものと同じやうに何の變哲もない地下の納骨所に納められてあつてたゞ「ルドルフ、ガグリエリミ、ヴァレンチノ一八九五―一九二六」の文字も悲しく刻まれた眞鍮の板のみが彼の在りし日を忍ぶよすがゝとなるだけである。ところがこの何の奇もない納骨所を訪れるものは今日に至るも跡を絶たない。無論彼の崇拜者だけでなく大部分は好奇心からの參拜者であらうが、兎に角今日迄既に二十萬人からの人が此の納骨所を訪れてゐる。

此の墓の管理者ジエー、エフ、フイリップス氏の談によると此の同じ納骨堂には有名な女優バーバラ、ラ、マール孃の納骨所もあつてヴアレンチノの墓に劣らず多數の人が毎日訪れて來るさうである。因に此の同じ墓地には現存してゐる米國映畫界の明星マリオン、デヴイス孃の素晴らしい白大理石の納骨堂は經費十六萬圓を要し此の納骨堂も既に竣工されてゐる。十二の納骨所が設けられてあつてその重い眞鍮の扉にはデヴイス孃の本名ダウラスの文字が手際よく刻まれてゐるさうだ。

映畫と演藝

國民の大讀本 國聖大日蓮 明日より上映

明十六日より三日間、大連劇場に於て報國會主催、大連日蓮宗各派後援の下に報國會作品の映畫「國聖大日蓮」が上映されるが、此の映畫には報國の一念に燃ゆる京都常寂光院住職僧正長尾榮進師が特に大聖日蓮となつて出演し、監督は映畫界の巨頭古海卓二氏が當つて居る承文の下題上をプロローグして軍馬の嘶き鯨波の際き、殺

河部五郎が又 映畫に出演

日活を退社して木内興行部專屬となつた河部は、目下横濱喜樂座で開演中で、この暑熱にも拘らず連日大入の好成績を擧げてゐるが、來る廿日を以て打上げ愈々映畫製作に着手する事になつたが相手女優には既に某スターとの間に契約成立し、目下シナリオの整理中だが第一回作品は新進大衆作家金子洋文氏の作品から選び第二回作品は俠客物を撮影する事になつてゐるといふ

牧水全集

わが日本のみが生み得る、眞に日本的な文學の精華として先づ第一に擧ぐべきは牧水の作品だ。その自然を歌ふや全くこれと融合して自然そのものゝ聲となり、人事を歌へば人間性その儘の流露となる。常に自由にして清新、萬人に愛誦されつゝある。まことに氏の短歌こそは人麿、西行、芭蕉等の作と共にわが純粋の民族詩の最高峰として讃仰さるべきだ。[illegible] 集を送り得ることは本社の欣快とするところだ。

第一回配本（第三卷） 歌集（三） 堂々六百八拾頁 目下配本中

牧水全集をすゝむ 島崎藤村

最早詩歌の世界に於ける堅い障壁がとりのぞかれてもいゝ頃ではなからうか。近代に於ける日本詩歌の精神がいかに樹立されたかといふ見地からは、歌人としての若山牧水が遺した仕事も、新しい詩人としての正岡子規が遺した仕事も、藤原有明君等の今日までの仕事も、同じ高さの標準のもとに探求されてもいゝ頃ではなからうか。その意味から言つて、私は牧水全集十二卷の出版を祝し、この全集が吾國の文學史上にかなり重要な位置を占めることを言つて置きたい。

編輯顧問 北原白秋 平賀春郊 福永挽歌 佐藤緑葉 土岐善麿
編輯校訂 若山喜志子 大悟法利雄

全十二卷
1 歌集（一）二〇二六首
2 歌集（二）二二九首
3 歌集（三）二七三九首
4 紀行文
5 紀行文・小說
6 隨筆・小品
7 隨筆・長詩・童謠
8 歌論・歌話
9 雜篇
10 書簡（夫人喜志子宛）
11 書簡
12 書簡・日記・年譜

一冊壹圓五拾錢 內容見本進呈 締切八月三十一日 四六判 背金 文字六度刷

新選名作集（好評嘖々） 各冊定價壹圓 送料各二十錢

新選 里見弴集

友達の見舞、河岸のかへり、勝負、箱根行、題のない小說、女按摩、嫉を買ふ經驗、失はれた原稿、三人の弟子、恐ろしき結婚、ひえもんとり、或る年の初夏に、不良少年、幸福人、不幸な偶然、朴の歌留多札、大火、叱る、一日怨、刑事の家、病床記、子ころし、最後の一つ手前のもの、けむり、蝕、雪の夜話、彼と小娘、海鞘、夜櫻、颱風、甘酒、尾行、紙刀、蜆、暗い夜空、ムス武道聞、機り澄潭、百年の戀、雨に咲く花、大臣の夜飯、不貞、夢みたいな話、雜談集、蚊やり、小暴君、川はまり。（七二〇頁）

新選島崎藤村集 五二二頁
新選西條八十集 五三四頁

新選室生犀星集 新選前田河廣一郎集 新選谷崎潤一郎集 新選小山內薰集 新選葉山嘉樹集
新選久米正雄集 新選前田河廣一郎集（續篇） 新選永井荷風集 新選久保田万太郎集 新選森鷗外集
新選吉田絃二郎集 新選山本有三集 新選藤森成吉集 新選宇野浩二集 新選夏目漱石集
新選北原白秋集（詩歌篇） 新選橫光利一集 新選長田幹彥集 新選近松秋江集 新選與謝野晶子集
新選北原白秋集（散文篇） 新選菊池寬集 新選武者小路實篤集 新選岡本綺堂集 新選相馬泰三集

奇談全集

田中貢太郎著 現代篇 歷史篇（各冊定價壹圓五十錢 送料廿錢）

發行所 東京芝區愛宕下町 振替東京八四〇二 電話芝（43）二三 改造社

內科 小兒科 桐原医院

入院應需 大連市吉野町三越横 電話四二一九一

株式會社 大連商業銀行

一、資本金 二百萬圓（拂込濟） 大連市西通 電話（三三四 三〇二 四八五）

一般銀行業務確實に御取扱可申候

唐詩選詳解講義

池田蘆洲講述（第七版） 三五判洋布裝 紙數八七〇頁 ●正價貳圓五拾錢 ●送料十八錢

綠陰に甘泉を汲むが如き境地に融解し得るのは唐詩に親む者の悅びである。初學者にもこの詩境を玩味し字義典故にも通曉し得らるゝやう懇切に講述し猶々嶄新なる評釋を加へ列傳體作家索引を附せる等述者の翼審を窺ふべきもの多く、また唐代地圖を添へて參照に便してゐる。

菜根譚詳解講義

文學博士 久保天隨講述（第九版） 三五判洋布裝 紙數五六〇頁 ●正價壹圓八拾錢 ●送料十八錢

菜根譚は幾度讀んでも倦む所を知らない。諷誦すべき簡潔なる文章を以て辛辣に諷刺する所あり懇切に警醒する所あつて處世の妙諦を說き宇宙の玄理を述べてゐる。この原文を文義、字解、和譯、餘論の各項に分けて平易に解釋したるものなれば何人にも興味深く味ふことが出來る。

東京神田小川町 金刺芳流堂 振替東京二四八

少女畫報 一流画家作家競作号 9月号

素晴らしいオフセット色刷り！一流画家作家競作の大饗宴！

少女詩畫集○○○○○ ○おとる小鳩……○流るゝ月影…… 明月畫譜・高畠華宵 ○母によりて……○修院の月……

水の女王 秀子さん物語 見よ日本の生んだ世界的女流水泳選手、前畑秀子さんの生ひ立ち物語 驚歎すべき天才少女！今やハワイにおける彼女の活躍は世界注視の的

六大連載長篇 畫 人氣白熱！一粒選りの名雋力作揃ひ！
五大特別讀物 報 興味津々！新秋の大特集讀物揃ひ！

トテモ美しい華宵先生の口繪、鮮明無比のグラビア版十數頁、その他繪卷多數 嚢に充實無比。

定價五十錢・送料二錢 全國各地の書店にあり 東京社 東京麴町區 振替東京四九〇〇

大谷光瑞著 帝國之前途 實價六十三錢送料四錢
東條省一著 文檢物理化學研究の爲めに 實價二圓六十二錢送料十二錢
今成覺禪著 神の宣言 實價一圓二十六錢送料八錢
原田三夫著 子供科學 文庫 太陽 月 地球 實價一圓九錢送料八錢

柴田甚五郎著 國民道德眞義 實價二圓四十二錢送料八錢
佐々木荒熊著 玉突百にまでなる 實價一圓二十六錢送料四錢
橘山正雄著 ジャンクリストフ物語 實價一圓五十七錢送料六錢
松山敏著 自然と人生の曲 實價一圓五錢送料四錢

最新刊

笠井盛藏著 花療寶典 實價三十六錢送料四錢
曲亭馬琴作 和田萬吉校訂 胡蝶物語 實價四十二錢送料四錢
ハウプトマン作 城田皓一譯 希臘の春 實價二十一錢送料四錢
エンゲルス マルクス著 佐野文夫譯 マオイエルバッハ論 實價二十一錢送料四錢
アルツイバーシェフ作 中村白葉譯 サーニン 上卷 實價六十三錢送料四錢
スチルネル著 草間平作譯 唯一者とその所有 實價四十二錢送料四錢
望井さく子著 母性愛日記 實價一圓六十九錢送料十錢
產業勞働調查所著 支那に於ける最近の農民運動と農業問題 實價八十四錢送料六錢
金教煥著 朝鮮民謠集 實價二圓六十二錢送料十錢
濱田廣介著 ひろすけ童話讀本 實價二圓八十九錢送料十錢
吉本俊二著 法制要論 實價五圓四錢送料二十錢
笹原正志著 銀行通釋 實價四圓五十一錢送料十八錢
東佐與子著 家庭入叢書 料理篇 實價一圓五十七錢送料十錢
牛山充譯 ピアノ演奏法 實價三圓十五錢送料十二錢

最新刊

上田恭輔著 支那陶磁の時代的研究 實價三圓六十七錢送料十二錢
水木梢著 日本數學史 實價五圓四錢送料二十錢
早大出版 稻田教授講演集 實價四圓七十二錢送料十四錢
山名寧雄著 有機化學概論 實價三圓九十四錢送料十四錢
久保虎賀壽著 判斷論 實價二圓七十三錢送料十四錢
岡本環二著 明治大正思想史 實價二圓九十四錢送料十八錢
水野正治著 栽培花卉と葉花 實價四圓七十二錢送料二十錢
谷野久吉著 分析化學表彙 實價三圓五十七錢送料十四錢
佐藤利恭著 無軌道式電車 實價三圓九十九錢送料十二錢
支那學社著 支那學 第四卷 實價三圓七十七錢送料二十錢
山田正二著 民事訴訟法 第三卷五冊 實價一圓五十七錢送料十錢
永井潜著 性の生理 實價一圓五十七錢送料八錢
伊藤政治著 高等數學入門 實價三圓三十六錢送料十錢
村島歸之著 善き隣人 實價一圓五十七錢送料十錢
佐々木美津三著 右門捕物帖 實價一圓八十九錢送料十錢

奉天及び南京政府と打合せの上再び交涉

哈爾賓に着いた朱代表一行　尙ほ繼續中と語る

【哈爾賓特電十五日發】朱紹陽、蔡交涉員及び李紹庚東鐵理事等は既電の如く十五日午後六時三十分着列車で歸哈したが、一行の語るところによれば滿洲里に於ける露支交涉はなほ繼續の狀態にあり當地に於て奉天及び南京政府と交涉上の難關につき打合せを了した上再び滿洲里に向ふべしといつてゐる

國民政府を忌避して今後奉露間で折衝

朱代表は兩三日中歸寧

【奉天特電十五日發】朱、蔡兩代表對立の露支交涉は遂に物別れの形となり、兩氏ともハルビンに引揚げたが、勞農側は其後奉天派の溫情的解決を希望し國民政府代表の朱紹陽氏との會見を避けてゐた模樣で、今次の引揚の如きもロシア側が南京政府との交涉に應じ難しとの意を漏らしたことに原因するものゝ如く而して朱氏は兩三日中奉天經由歸寧する筈であるといふが、或は今後の折衝は露奉間において爲されるものと觀られる

和戰兩樣二段構へ

南京政府斷じて讓らず

【南京十五日發電】昨日總司令部で蔣介石主席以下南京政府最高幹部會議を開き對露問題を商議した結果、ロシアの要求する東鐵の原狀回復及び東鐵正副管理局長復活については飽くまで讓歩せず支那は既定方針に從つて外交部をして和平交涉せしむると共に軍備に遺憾なきを期し和戰兩樣二段構へで進むに決定した

松花江鐵橋爆破の赤色テロの陰謀暴露す

支那探偵局員露人に狙擊さる　支那側の警戒嚴重

【哈爾賓十五日發電】松花江の大鐵橋を爆破せんとした赤色テロリストの陰謀暴露した、又支那探偵局員は露國人のため狙擊されたので支那官憲は警戒を嚴重にして犯人嚴探中である

寛城子驛で又も列車妨害

連結機を破壞せんとする共産黨員を發見逃亡

【長春特電十五日發】東鐵沿線居住のロシア共産黨員等は凡ゆる手段を以て列車妨害を企てゝゐるが又々寛城子驛に於て三名の共産黨員が十四日夜驛構內に潜入し貨物列車の連絡器を破壞せんとして驛員に發見されたので逃亡した

松、黑合流地點で勞農軍砲擊

支那側敵せず傍觀

【吉林十四日發電】十三日朝多數の勞農軍は軍艦掩護のもとに黑龍江省中興鎭、光興鎭、三間房（共に松、黑合流點附近）を砲擊之を占領して民家の掠奪をなし同日夕刻引揚げた、支那側は守備兵少く彼等のなすが儘に委したらしい

露支兩軍交戰說

滿洲里で

【長春十五日發電】當地着情報によれば滿洲里に於て露支兩軍衝突して目下交戰中であると

南京の對露方針建直し

【南京十五日發電】十三日以來南京に謠言多く朱紹陽氏が監禁されたなど傳へられてゐるが、南京政府は過日の重要會議に於て今後の對露方針を建直すべく決心したるものゝ如く蔣介石氏は愈々近く北平に赴き閻錫山、張學良等と會議

三巨頭の對露問題協議

【北平十五日發電】支那側消息に依れば蔣介石氏は露支問題紛糾し和平解決困難となれるため之が對策を協議すべく閻錫山、張學良氏に電報して共に北平に會し露支問題を商議したしと提議した

哈齊兩市に臨時收容

辭職した露國鐵道從業員

【哈爾賓十五日發電】鐵道の運行妨害の目的で辭職した露國從業員は滿洲里より西伯利に追放されたが、露國側より引き取り列車を派遣しないので支那側は之れが處置に窮し已むなく哈爾賓チチハル兩所に臨時收容所を設け嚴重監視の下に收容する事となつた

外人關係事件を支人同等に處理

南京行政院の命令

【南京十四日發電】國民政府は今回午後行政院に對し突如左の如き命令を發した

一、各地方外交事件は政府で處理す、地方政府直接の對外機關を設けるを禁ず

二、外人に對する事件は法令の制限あるものを除き支那人民と同等に處理すること

三、通商、貿易、土地契約、住居保護等外交に關せぬ外人事務は各地方政府に於て處理せしむ

輸出稅引上げの實施說傳へらる

十五日關東廳外事課は大連特産商より電話を以て支那政府が最近再び輸出附加稅引き上げの實施決定たる旨情報に接したので三浦課長は直に北代稅關長に右の由を問ひ合はすところがあつたが右問題に就いては今春の問題後何等兩國間に交涉進轉を見てゐないので假令支那側に於て再び之が實行をなさんとしても出來ないことであるし若強て支那側が實施せんとするならば前回通り實力を以つて之を阻止するまでゞあるとの意向らしい

情報がない

北代稅關長談

右に就いて北代稅關長は語るけふ旅順の三浦外事課長から電話があつたがサツパリ分らない私の方には何等の情報が入つてゐない、虛傳であるか否かの見當もつかぬ始末である

社員が協力せねば何事も出來ない

今は總裁專制時代ではない　仙石滿鐵新總裁訓示

【東京十五日發電】仙石總裁は事務引繼終了後社員一同に對し左の如く訓示をなした

私は曾て三十年間鐵道事務に關係したのであるが、元來自分の性質は何事に對しても之を離したる後、なほそれに氣を取られるのはせいぜい一週間位のもので二週間もたつとさらりと忘れる性分なので今は鐵道の事も殆んど忘れてしまつた、昔は總裁專制が何處でも行はれたものであるが、今はコーポレーションの時代で社……

政府と協議し副總裁決定

候補者も何もない　仙石總裁談

【東京十五日發電】今日迄副總裁の事に就いては何處からも何とも云つて來ないでどうする譯……

各方面へ就任挨拶

【東京十五日發電】仙石總裁は十五日午後二時拓務省に小阪小村兩次官を訪問し就任の挨拶をなし更に午後二時四十分首相官邸に濱口首相を訪問同樣の挨拶をなし次で幣原外相を訪ひ同樣挨拶をなすところあつた

梅野實氏急遽入京

總裁と會見

【東京十五日發電】先般來郷里久留米に靜養中の梅野實氏は突如或る方面の召電に接し十五日入京直ちに仙石總裁と會見したが副總裁の有力なる候補者と見られてゐる

大藏公望男なら異論はあるまい

【滿鐵副總裁の後任銓衡】青木鐵道次官曰く

【東京十五日發電】青木鐵道次官は語る

松本烝治博士の副總裁は結構であるが、氏は收入の點から云ふも又民事訴訟法改正委員たる點より云ふも滿鐵に迎へる事は少し無理であらうと思はれる、松本氏の外に適任者はあるが一寸それは云へない、大藏公望男あたりなら誰も非難はすまい

滿鐵々道部貨物會議

十六七兩日

滿鐵々道部第四回貨物主任者打合會議は來る十六、七の兩日午前九時より本社會議室に於て開催の筈であるが出席者は本社營業、涉外、庶務各課長△貨物、配車、涉外第一、二、事故、審調、調度各主任及課△並に各驛貨物主任△大連、旅順、范家屯貨物助役△吾妻、小崗子……本溪湖、沙河鎭、大官屯各驛長△哈爾賓事務所運輸課員△各鐵道事務所營業長、係員△埠頭長副長、各埠頭主任、輸出入主任計畫主任

尙ほ今回は前例を破つて四洮、吉長兩鐵路からも營業課員が出席し總人員四十七名である、各關係方面の提出議題は三十項に亘つて居る、對外的關係ある事項を擧ぐれば左の如くである

一、一車扱混載貨物の制限を廢止されたし（長春驛提出）

一、貨車の雨漏れ防止方法の徹底を期せられ度し（四平街驛提出）

一、特種貨物運送の申込を受け特種の貨車を準備したるに運送受託前託送の取消しありたる場合運送準備に要したる費用を徵收することゝし其の料金を定められ度し（開原驛提出）

一、連絡貨物規定第一六條中に運賃拂を發拂に變更の指圖（く吻とも社線內に貨物が實在し居る場合）を認められたし（遼陽驛提出）

一、南滿東支貨物連絡運送手續第四四條の附添人は必ず社寬城子取扱所に出頭せしむるやう貨物受理の際附添人に充分注意せられたし（長春驛提出）

一、東支連絡の過徵金の拂戾を今少し早められたし（遼陽驛提出）

朝鮮總督の後任に山本男起用を期待

閣僚より首相に建言

【東京十五日發電】朝鮮總督の後任は現政府設立以來伊澤多喜男氏の就任が傳へられてゐたが最近は漸次其影薄き感あり閣內の有力分子は山本達雄男の出馬を期待し濱口首相に建言し居り山本男亦必ずしもその意なきにあらずとされ男の進退は頗る注目されてゐる

佛國はラインの即時撤兵に反對

ア代表委員會で質問せん

【パリー十四日發電】賠償會議佛國代表ブリアン氏はライン撤兵に關する計畫案を十六日の專門委員會にて質問する目的を以て目下案を練りつゝあるが其の內容を仄聞するにブリアン氏はコブレンツ地域に關しては直に撤兵に同意すべきもマイエンツ地域に對しては來春早々まで撤兵を差し控へる事を要求するらしい之に對しドイツ代表は來る十月を以て撤兵を開始し來年一月を以て之を完了すべき事を主張する模樣である

佛國東洋艦隊十九日大連入港

當地海務局への通報によれば佛國東洋艦隊砲艦ヤアーン號は十九日午前塘沽より重油積載のため來連すると、なほ繫留地は寺兒溝棧橋になるらしい

長春商埠地通過のわが兵を阻止せんとす

公安局前に多數巡警を繰出し　談判の末無事通過

【長春特電十五日發】十五日午前九時半頃第卅八聯隊の兵十名と下士一名は古川中尉に引率され吉長線長春驛附近で演習の爲め附屬地境界五條橋を渡つて商埠地を通過せんとしたが支那警官は屢々軍隊の附屬地通過阻止事件がある爲めその腹いせにか日本軍隊の商埠地通過を阻止せんとして公安局前にて多數巡警を繰出して食ひ止めたと云ふ急報に接し大場警部補は領事館警察署員多數と共に現場に急行し談判の結果巡警長附添無事通過することとなつた

飛機殉職者進級敍勳

【東京十五日發電】十四日飛行機墜落慘死した小川少將以下に對し十四日附を以て十五日午前左の如く進級敍位の御沙汰を賜つた

陸軍少將正五位勳三等功五級　小川恒三郎

任陸軍中將、敍從四位　陸軍步兵大佐正五位勳三等　藤岡萬藏

任陸軍少將、敍從四位　陸軍航空兵少佐正六位勳四等　阿部菊一

任航空兵中佐、敍從五位　陸軍航空兵中尉正七位　山本雄

同　長喜穗

任航空兵大尉、敍從六位（各通）　陸軍航空兵軍曹　青木達次

任航空兵曹長　陸軍技手　齋藤伊次

賜三級俸

尙は十五日附を以て左の如く御沙汰があつた

任陸軍砲兵中佐、敍正六位　陸軍砲兵少佐從六位勳六等　深山龜三郎

山本、松岡正副總裁在任中の業績

南鮮地方の水稻旱害甚し

今年度の鮮米は相當の減收

【京城十四日發電】約四旬に亘る旱天のため朝鮮全土に亘り水稻の旱害を訴へつゝあるが、殊に米作の心臟部と稱せられる南鮮方面の旱害は近來稀有の激甚さで、全羅南道、慶尚道……

訪日佛機奉天へ

けふ北平出發

土匪天津入り

洪水に追はれて

上半期中麻袋輸入

前年より減少

勞農機の不時着陸

搭乘者は無事

滿洲日報

南京政權は手を引け
朱の召還以上に

朱紹陽は蔡運升、李紹庚らどいよいよ滿洲里を引揚げたといふ。露支の直接交渉、このまゝでは打開の方途がつかぬのか。さすがの支那も、ロシア側の鼻息に當られたといふものか、とにかく慘々の有樣である。その上、蔡や李がロシア側と特殊の關係があつたとか、なかつたとかの噂を生み、支那側の步調は全く支離滅裂。この情勢を以てしては、駈引の上手なロシアに對し、支那側に勝算のないことは瞭然たるものである。

◇

支那側は、何といふても二重外交である。王外交部長が、國民政府の全權代表として朱紹陽を派遣したところで、蔡運升その他が、一心同體となつて働くか否かは疑問である。よし蔡は朱と共に支那のため働くにしても、結局は、勞して効なきことを察してゐる。殊に張學良や張作相が、血を吸はれ骨を削られるものなることを、先刻承知してゐる。すなはち、南北統一、中央集權といふものゝ、それは理窟である。現實は如何。奉天は奉天、南京は南京ではないか。奉天が遼寧と改名されたからとて何程のことがあらんである。張作相や張學良は、依然として東北四省の頭目で威張つてゐたいに相違ない。それに對し、外交權を奪ひその上に、權力の内容を充實する收入の財源たる交通權までをも捲き上げんとするのであるから、奉天側としては今のところ力およばず、已むを得ずして南京側に屈服するもの〻、それは面從腹背といふものだ。

◇

このいきさつの下に、蔡運升、李紹庚、呂榮寰、張景惠（張はクーデターの下手人だけに發言の權利はないが）らが右顧左眄の板ばさみとなつてゐるのである。そこで、いろいろの噂も生まれるが、蔡や李、さては呂などにしてももともとロシア側と特別の關係にあつたことは想像に難くなく、今さら逮捕說などを流布するは、何らかの宣傳作用であらんが、とにかく支那側の脚なみの揃はぬのは想像以上である。ロシア側はその弱點を睨んでゐるから、いよいよ鼻息が荒くなる。されば、よし蔣介石が再び北上し、また張繼が日本を訪問したところで、南京と奉天との調子を合せぬ限り、對露外交の局面を光明に打開することは、まづ不可能ではあるまいか。恐らく、記者が前に論評した如く、東支鐵道をクーデターの原狀に還元し、同時に對露外交が南京政權の手を引くことが、最も肝要ではあるまいか。否、何よりも先決問題として、最も緊急を要するところのことは、南京政權が、朱紹陽の如きものを直ちに召還し、對露外交の一切を、ともかくも奉天政權に一任し、奉天側の自由裁量によつて、原狀還元を行はしむることである。この拔本的な覺悟がなければ、この外交案件は容易に解決せらるべくもないのである。結局するところ、國際外交の歸着は實力にある。朱紹陽が國民政府を代表したといふだけにては、何らの實力をも伴はざることは明白ではないか。

◇

かくの如き難局を惹起した原因は、もともと奉天政權の一方的直接行動にあつたものであるが、その失敗の上塗りをしたのが南京政權の野心と橫恣。而して遂に局面を動きの取れぬものとなしたのである。一方的の直接行動、南京政權など今なほ治外法權問題に對し、これを應用せんとするものあるらしい。その危險なること實に恐るべきものが存する。殷鑑遠からず北滿にありか。それは兎もかく、岩壁に乘り當てた露支交渉を、何とか打開せんとするならば、方向轉換より外に途なく、奉天政權の東支鐵道回收野望は雲散霧消したものともいひ得べく、クーデター以前の原狀に還元するとに異議はなかるべく、今日の問題は、ただ南京政權が、その野心、支那の實情に相應せぬ中央集權の野心を、今しばらくの間、これを引き込め、奉天政權をして對露外交の自由裁量を行はしむること存する。蔣介石や王正廷、孫科などには統一的近代國家の觀念が明確に意識せられてゐるかも知れぬが、張學良や張作相の頭には、いはゆる天下的國家の意識ぐらゐしかないかも知れぬ。五千年來の歷史的意識は一朝一夕にして掃拭し得るものでない。孫科は孫文の子であるに相違ないが、張學良は張作霖の子であるのだ。

◇

然るを一片の理窟で押し通さんとする。國内問題の場合は、ある程度まで押し切ることが出來やうが、國際外交になると、一方的の直接行動のみにては相濟まぬ。相手方があることだから、弱いと睨つたロシアが、案外に強くあつたり、治外法權撤廢に賛成して呉れると思つた米國が、どうやら樣子が變であつたりするのは、ある場合、當然に起り得ることだ。實情に立脚せねば、折角の平等も不平等に陷り、ただ形式に滿足せねばならぬことになる。形式は内容の充實によつて、初めて意義あり、價値を生ずる。何は兎もあれ露支の直接交渉を光明に打開せんとならば、朱紹陽を南京に召還するばかりではなく、北滿に對する南京政權の野望を撤回し、こゝ暫く、奉天政權をして獨自の立場に立たしめ、その自由裁量を揮はしむることが肝要緊切である。若し然らずんば直接交渉の解決は不可能、列國の居中調停、否、干渉といふことを誘起せずと限らぬ。

懸賞論文

滿蒙の地より母國の友へ送るの書
（十四）　當選作　金丸精哉

第三信（四）

近頃こと新しく論議されてゐる日本の滿蒙に於ける特殊利益なるものは、條約上の規定ではなく既定の事實に基くものである。

つまり、日本が國力を擧げて滿蒙を保全したといふことは、日本にとつて、絕體絕命の要求であつて、支那主權の爲に戰つたのでないことは勿論である、而も支那は當時既に滿蒙を拋棄して顧みなかつたことは日露戰爭中彼等がとつた冷淡な態度から見ても首肯されるところで、今日彼等が滿蒙に於て領主權を行ふことが出來るのは一に日本の庇護によるものであつて、日本の特殊利益なるものは當然彼等の主權の上になければならないのである。

◇

ところが事實はこれと反對で、日本の特殊利益は支那主權の風下に立ち、枝葉末節に過ぎない商租權や鐵道利權まで拘泥しなくてはならない狀態である。

關東州の租借權も、滿鐵の經營權も、今後七十年内外で條約上の權利は消滅するものであり、今日明確な條約さへ支那の不信行爲によつて廢棄される折柄、滿蒙の將來に一體どんな權益が殘るであらうか。

◇

こゝに於てか、僕達は滿蒙の特殊利益の眞實性と絕對性を痛感せざるを得ないのであつて、これが徹底なくしては滿蒙に於て日本は永久に支那の後塵を拜するほかなく、かくては日本の將來を破滅に導くものであり、眞の國防國家總動員はこの特殊利益强調に向つて集中されるべきものであらねばならない。

◇

過去二十年に於て、日本の滿蒙經營がほゞ成功してゐるに反し、移住地としての滿蒙は失敗であつた。そしてその原因について、日本當局は支那の背信を鳴らし、國民は政府の軟弱外交を責め、在滿邦人は内地人の無氣力に憤慨した。然し、過去の失敗は、日本民族共同の責任であつて、何等詮索する必要はないのである。

◇

現下の日本人にとつて緊急な問題は過去二十年の民族的試練によつて得た貴重な失敗を土臺として今後如何なる進路を選ぶべきかと云ふことであらう。

◇

滿蒙の二十年は、日本にとつて決して短いものではなかつた。その間、日本民族の缺陷も、對手の弱點も如實に見せつけられたのだつた。

この點、支那は確に偉かつた。彼等は早くも對日交渉の呼吸を飲み込んで、日本側の嚴重なる抗議も、斷乎たる處置も一片の外交辭令として單に遺憾の意を以て葬ることを知つてゐた。

而るに日本は今日に於てすら未だに對滿蒙策について無定見であるがあり來りの菩提心を捨てゝ一擊の下に政敵を斃す支那人の氣心も知つていゝ頃だと僕は思つてゐる。

◇

話は亂暴になつたが、兎に角三千年の間、醇和な東海の一孤島に育て上げられた日本人は、外交的にも植民的にも漢人の敵でなかつた。漢人が獨力で民族的地位を築いて行くに反し、日本人は何時も國家の背景に縋り、國家の助力なくしては何事もなし得ない悲むべき弱點をまざまざと知ることが出來た。

然し、僕達はこれを以て日本民族の滿蒙に於ける將來を律しやうとは思はない。

◇

僕達は日本が持つ、輝かしい傳統と、偉大な反撥力とを固く信ずる。そして必ずや近き將來に於て八千萬同胞の總てが滿蒙の上に情熱を喚起し、百二十萬の在滿同胞は第一線にある便衣隊の衿持を以て活躍する日があるに相違ない。

◇

僕は君に、滿蒙で死ぬことを再び公言してこの筆を擱くことにしやう、サヨナラ（完）

次回豫告　當選作第一席金丸精哉氏の應募に係るものは本日をもつて完結したるを以て明日の紙上より同じく第二席高野運太郎氏の當選作「滿洲初等教育の現在と將來」を連載す

過激露人の抑留所新設
嫌疑濃厚なものは交渉の解決迄收容

【哈爾賓】ソウエート聯東支從業員で罷業の目的で辭職し或は最近各所で起つた鐵道破壞並に東支鐵道建物に放火した嫌疑で拘禁中のもの多數あるため當地支那當局では今回これ等を收容するため、當地香坊にある砲兵營舍附近に蘇聯赤化臨時拘留所を新設し嫌疑濃厚なものは露支交渉解決まで抑留して置くことにしたと

東支退職社員の拂戻金請求殺到
會計課で大に弱る

【哈爾賓】時局のため辭職した東支ソウエート聯從業員に支拂つた社員積立金、退職手當及びその他各種の支拂は今日まで約四十萬金留に達し今尙ほ退職者は毎日陸續とあり辭表を提出して拂戻し金を請求してゐる有樣であるが、東支會計課ではこれ等一時に殺到する書類の調査及び整理に窮したので、呂督辦の許可を得て右請求書の受附を一時中止した

不穩分子の首魁十二名
罷免して抑留

【哈爾賓】當地赤系分子の恐怖手段に煽動されて東支鐵道印刷局並に中央圖書館などの露國側從業員は宣傳ビラを秘密に出版配布し且つ機械を故意に破壞し怠業を企てるなど不穩の風潮があるので、支那警察當局は十二日右不穩分子の首魁と目指されるもの十二名を罷免し赤化臨時抑留所へ收容した

淸津無電
十六日から事務を開始

【京城】先般來準備中であつた淸津無線電信局はいよいよ十六日から事務を開始する、同局は朝鮮東海岸に於ける唯一の無線局で日本海方面航行中の船舶及び京城無線局と交信するもので、呼出符號はJBT、通信距離五百キロメートル、空中線電力二キロワットである

二百名
投げ込まる

【哈爾賓】十二日午後五時四十分着列車で東支東部沿線各地で辭職したソウエート聯東支從業員が三等車四輛で約二百名が送られて來たが直に赤化抑留所へ收容された

松岡副總裁の吉敦線視察（十）
終端港を得て始めて生きる
將來有望な吉敦線
◇…南里特派員

雜草の茂つてゐる夏時に於ても勿論危險を冒して通行する者は稀であらうが、强いて通行しようといふ者は草株から草株へ一步々々と踏み占めねばならず、若その一步を踏み過まれば沼の泥土中へ全身を沒して再び娑婆へ出られぬといふ所謂底なし沼といつた形のもので土民も非常に之を怖れてゐるといふ話だ、然るに移住鮮人は勇敢にもこの魔のやうなハダンを水田化しようと現在既に敦化寄りの秋梨子附近から漸次開墾して相當廣漠な面積の水田を經營してゐる、大平嶺の高地は一面松武嶺及嶺嶺からなつて小さな野生杏樹が點在し恰も蒙古興安嶺を思はせられるが吉敦沿線中では農耕地として最も不適當なところであらう

◇

この大平嶺から敦化へは下り坂で車窓からは牡丹江平野を通し遠く哈爾巴嶺も煙霞の裡に一望される風光實に壯大で敦化に着した喜びと共に快哉を叫ばずにはゐられぬ、一行の列車は驛前に停車せしめて寢臺車内に於ける敦化の一夜を明かさねばならぬこと、なつたが、記者は一行と別れ河野公所長の好意で栗野吉林公所長と共にぬかるみの夜道を荷馬車に乘つて一里餘を惡戰苦鬪しながら城内の滿鐵公所へと急いだ

◇

翌二十九日は栗野吉林、河野敦化兩公所長と記者の三名は乘馬でぬかるみの敦化城内を牡丹江岸へと急ぎ午前六時江岸着、松岡副總裁一行が江岸引込線の列車を利用して到着するのを待つた、雨期で増水した牡丹江の流れは渦を卷いて物凄く、餘興の鮒釣も副總裁がハヤ二尾、穗積參事が二尾、記者が三尾釣つたゞけで興が乘らず副總裁一行十餘名は乘馬、藤根理事一行數名は徒步で敦化城内視察に向つた、記者は兩三名と共に引込線路を徒步で驛に歸つたが、江岸に積まれた夥だしい材木は何れも威虎嶺以東の牡丹嶺、長廣才嶺本支脈から伐採し筏として流し鄂多里城下流で陸揚げされたもので、これから貨車積とし吉長、滿鐵沿線へ輸送されること、なつてゐる、吉會線の延長豫定地はこの江岸で東方遙かに望む哈爾巴嶺を超えて會寧か淸津の終端港に達するのも決して遠い將來ではあるまい、而してこの延長完成によつて初めて吉敦線も經濟的に最も有意義な鐵道とならう

◇

午前十一時吉敦全線に亘る十二分の視察を終へ在留敦化日本人の熱誠な見送りで歸途についたが、同列車で敦化第七團長陸軍少將王樹棠氏も吉林へ向つた、松岡副總裁は吉敦線が自分で作つた鐵道だけにこの旅行が頗る愉快であつたと見え

こんな大森林が滿洲にあることを知らない者が大部分であらうが是非日本人、鮮人、漢人の三民族によつて開發したいものだ、これにはどうしても鐵道終端に一つの港を持たねばならぬ、それには敦化から會寧なり淸津なりに延長すればいゝのだ、無論支那人に異論のあらう筈はない

と語り續けながら再び雨の威虎嶺を超えて一路吉林に向つた、因に團體としての觀光には九月下旬全山の紅葉時が最もよからうと思はれた（寫眞は牡丹江の筏流し）（終）

八相

投書歡迎　新聞行數五十行以内のこと　中傷を目的とするのは採らず

大連商人のサービス
竹樂山

十三日の貴紙に「即賣會に現はれた商品界の種々相」と題した面白い記事を拜見しました、就中大連の商人はサービスが極めて拙劣であると云ふ事は誰でもが云はんと欲する處だらうと思ひます、自分は近頃内地から移住して來たものですが先づどんな安いものでも電話一つで直ぐ配達して呉れるのは誠に便利だと感じました、にも拘らず三越などの大商店が店員の訓練が足りないせいか數が足りないせいか買物をしやうと思ひ店員を呼んでも急速には取り合つて呉れず、出て來ても不頂面で口をきいては損をすると云ふ風なのが多いにはアキれた、電話で物を注文してもいゝ加減な返事許りして餘り配達が遲いから度々催促すると品切れだなんて云ふ事も珍らしくない、茲に於てか僅かなものでも配達するのは店員が勉强するのではなく支那人の給料が安いからだと云ふ事を知りました、之に反して洪來盛と云ふ支那店へ行き買物をして屆けて貰ひましたところ二度目に行つたらチャンと住所と、電話番號が帳面に控へてあつて此方から再び名乘る必要がなかつた何も煙草を出したりお茶を出したりする物質的の接待に感心するのではなく其心持ちに於てお客を如何に大事にするかが現はれてゐるではありませんか。

次には物をこそ賣らないがサービスの最も大切な商賣であるべき大和ホテルに電話で物を尋ねて見ると取次ぎにしろ問合せにしろ快く要領を得たためしがありません、先づ女が出るのは電話の交換孃であらう、料理の事だのルーフガーデンの事だのだと御存知ないからであらうが默つて事務の人？に切替へるらしい、するとイキナリ男の聲でどんな御用ですかと來る、馬鹿々々しいが質問を繰返すと自分の云ふ事だけ一と通り云つてしまふとスッと切つてしまふ、それでお客が要領を得やうが得まいが構つたものでない、更に棚卸の材料は其洗濯部にもある、此間麻のワイシャツを洗濯にやつたらインキのシミを拔くのにアナをあけてしまつたとて「アナをあけましたが屆けしませうか」と問合せがあつた、之にはあきれた、こんな事はどうか新參者の全く御挨拶のしやうもありません、偶々經驗したに過ぎぬレーアチャンスであつて、大連はこれからは到る處快いサービスを受けられる文化都市であらん事を祈つて居ります

滿日地方版

奉天

阪本の縊死は神經衰弱の爲か 今春も自殺を企てた

[illegible]

……野球戰を行ふ豫定であるが……大野球團の來奉も大連滿倶戰が……日から開始されるので終了後……奉天に乘り込むことゝなつて……丁度松山高商と同日なるや……あるが期日をさし繰つて一戰……る筈である、猶今後の遠征軍……戶高商、大連電氣、大連實業……大連滿倶も朝鮮遠征の途上奉天に立寄ることゝなつてゐる、或は大連の實滿戰が當地に於て開始さるゝやも知れずと一般ファンを……させてゐる

無罪の判決

……屯驛における列車衝突事件に業務上汽車過失破壞罪を以てされてゐた當時の機關士土田(四〇)の判決言渡しは十四日午……時半總領事館法廷に於てあつ……證據不充分の理由の下に無罪言渡された

支那仲買は泣寢入り 糶市場問題

[illegible]

町の便り

◇……英一郞氏は今回青銅製の神馬……天神社に獻納したが、愈十五……工したので奉告祭を行ひそれ……ヤマトホテルで知人を招宴す
◇……中佐、田中大尉の兩氏は來る……日九時發の安奉線列車で赴任……に着く由
◇……經警法指導者美川多三郞氏は……六の兩日店員講習會を開催……等であつたが都合により十五……とした
◇……日午後九時半頃大西關朝鮮料……東興館に二名の支那人來り暴……働いて行方を晦した事件あり……派出所から直に現場に出張し……べをなさんとしたが犯人は既……ち去つてゐたと
◇……省生れ滿鐵衞生係苦力王成福(三五)が十四日午前十時二十分頃……驛構內を糞便を擔いで通行中……行第百六號列車が驀進し來り……やと見る間に王を轢き倒し兩……切斷され間もなく絕命した
◇……日午後一時四十分頃奉天驛一……等待合室に於て待合客の……長吳松山(四八)から兩かつぱ……取せんとして果さず、更に待……

聯合會の銀券發行 商議から建議

[illegible]

松山高商來奉 滿倶と野球戰

[illegible]

馬賊の巣窟に文化の曙光 （四） 貔子窩を訪ねて

一記者

……職者を出した事もある。昨年……日に二十五圓に相當する反物……長江一圓のために管內十二、……所に脅迫狀を送られ今年は二……被害があつたのみ昨今は比……平穩であるが、管外莊河縣大……十四日に塔寺屯で安住大連地方……院長の遭難事件あつた他五月二……には四十名の馬賊團が現はれ……の人質を拉去され、復縣盃平でも奪還はしたものゝ矢張り人質を拉去された事件があつた由である。

◇

惩うした狀態で州境の警備は管內發展史上の一大癌であつたが、茲に滿鐵では見る處あり、目下支那側で計畫されつゝある貔子窩市街に接續せる市街地實現せばわが警備上更らに一段の困難を來たす將來を顧慮し、支那領との中間空地一萬坪を買收し之れを緩衝地帶とする一方關東廳では現在の市街に續く碧流河岸一萬坪を埋立て此處に船付場をも完成し現に設置されてゐる驛を中心として茲に市の繁榮を移さんと計畫を進めてゐる。

而して農事會社は碧流河の中洲二百八十町歩を買收し周圍に一丈餘の堤防を築き干潮時を利用して電氣モーターにより灌漑水を揚水し大農式の水田經營を行ふ可く工事を行つてゐるが、之れに依りて警備力は一層充實し、不安の貔子窩も一變して平和鄕となり更らに發展を招來助長して軈ては土民も文化の惠澤に陶醉するであらう。

◇

一行は米村警部補の案內により自動車で市中を一巡「こゝから支那領の復縣です」と云ふ境界まで行き支那の市街計畫地を望見、更に現在の市街と市街計畫地の中間にある丘陵に登り、碧流河を隔てゝ相對峙せる莊河復縣の茫漠たる沃野、並に農事會の經營にかゝる中洲の水田工事を俯瞰、遠く指手の間に見える塔寺廟の杜に感慨を新たにし丘を下りて派出所に引き返したが、當地の產物は鰯、海產物、大豆、雜穀、米、山繭、家畜、家禽、豚、花崗石、薪炭等で就中家畜市場は州內一と稱せられ月に四日宛二回開設され一日多い時は大連まで畜牛百二十頭から送り出されると云ふ、一行は視察目的の大部分を占めてゐた貔子窩に名殘を惜んで今度は東老灘に向ふ。

……合客の靖元興(四六)の懷中から財布を掏り取らんとして逮捕された彼は住所不定無職王永周(一八)と稱し驛待合室專門の掏摸常習犯で引續き餘罪取調中

瀋陽漫談

去る八月一日奉天驛前瀋陽旅館分號から共產黨の宣傳ビラを撒布した犯人劉子善は十三日午後支那側に引渡された▲彼が大膽にも旅館の三階から不穩ビラを撒布するまでには共產黨に大々的計畫があり、多數連累者がありはしないかと奉天署でも附屬地の怪しい個所をしらみつぶしに大搜査をやつてゐたが▲案外獲物がなかつたので一同ガタリとした、そして容疑者として檢擧した七名もこれと全く關係がないことが判り全部釋放した▲一方ビラ犯人の劉について嚴重取調べをなしたが彼は肺結核を病み壽命も永くないものと覺悟してゐる故か共產黨の外のことについては一言も云はぬと死を賭して頑張つてゐた▲道の係官もこの取調べには頭を痛めてゐた模樣であるが、これで一段落

人事

▲清水滿鐵工務課長 十四日來奉
▲矢野博士 十四日來奉同日撫順へ
▲赤塚、鶴原兩代議士 十三日夜赴連
▲東郷參事官(駐露大使館附) 十三日長春より過奉大連へ
▲庵谷忱氏 十三日夜赴連
▲大場關東廳高等課長 十四日朝長春へ
▲中川哈爾賓領事 十四日朝大連より過奉長春へ
▲德野卅八聯隊長 十四日過奉長春へ
▲森岡新任奉天領事 十四日各方面歷訪し挨拶を述べた
▲日本大學々生一行十二名 十四日朝首山へ

安東

法權撤廢反對の請願書提出 商議から公使團に

天津日本人商工會議所では治外法權撤廢問題に關し汎く在支各國人署名の請願書を北平外交團主席公使に提出せしが八日附を以て安東商議に之が斡旋を求めて來たので安東商議に於ても此趣旨に贊同し在安邦人多數の署名を了し天津商議經由送附することゝなり十三日より八方に人を派して之が署名方に奔走してゐる、因に天津商工會議所よりの通牒を要約すれば

支那側は強いて即時且つ無條件の治外法權撤廢を宣傳する必要上反對は少數の在支外國人頑固者流に過ぎず揚稱するのみならず治外法權撤廢は唯少數の往生際の惡き外國人により反對せらるゝに過ぎずとの暴言をさへも致居る實情にて即ち天津商工會議所は北平、天津タイムス社と呼應し上海、漢口、青島、濟南北平、奉天、營口、安東、ハルビンの各地商議の斡旋により可及的多數の署名を得て反對の實證を明かにせんとするものである

宇佐美領事の披露宴

新任安東領事宇佐美珍彥氏は十五日午後六時より在安新聞記者をスミレに招待したが同十七日は午後六時より安議兩地の官民有志を官邸に招待し新任披露宴を催す筈

遣外艦隊來航期

第二遣外艦隊附二等巡洋艦木曾及二等驅逐艦隊は來る二十日海洋島を出發し廿一日巡洋艦木曾は鴨綠江口へ驅逐艦隊は同日正午新義州に入港する筈で、同艦には巡洋艦乘込みの第二遣外艦隊司令官伊知地少將、第九驅逐隊司令中佐横山德次郎氏、木曾艦長大佐大野功氏驅逐艦長少佐篠田太郎八氏が乘艦の筈、而して驅逐艦の出發は廿四日の滿潮時で江口にて巡洋艦木曾と合し貔子窩へ向ふ豫定である

松山高商軍けふ滿倶と試合 滿鮮遠征の途立寄り

大阪朝日主催の專門學校優勝野球西部豫選の準優勝戰に長崎高商の爲め四對三にて惜敗した松山高商野球團一行は鮮滿遠征を試み朝鮮各地に於て連勝の意氣にて十五日夜來安十六日當地滿倶野球團と一戰を交へる事となつた、因に同軍のメンバーは次の通り

田川田正原味島本幸武井
本　本
門安織松莊古中阪松光村
1 2 3 4 5 6 7 8 9

庭球大會カップ

安東時事新報主催秋季庭球トーナメント大會に對する岡田總領事寄贈の優勝カップは豫て內地へ注文中であつたが數日前到着したので十三日午後一時商工會議所に於て授與式を行つた 優勝組たる安東檣倶樂部では滿鐵庭球大會の優勝とスポンヂ大會の奮闘とを合せて大々的に祝勝會並に慰勞會を催すべく計畫中であると

ポプラ勝つ

十二日午後四時よりポプラ對郵便局の庭球戰が行はれたが十四對十一でポプラの勝利に歸した

花卉盆栽拂下

滿鐵公園事務所では第二回溫室花卉盆栽拂下を十八日午前九時から正午迄山下町安東倶樂部階下ホールに於て行ふ事となつた、種類は約十七種二百鉢で價格は一鉢單位二三十錢から四五十錢で毎回各方面から歡迎されてゐる

圖書館 學生で盛況

安東圖書館の昨今の情況を觀るに暑中休暇中の事とて學生連が多く酷暑の折なるに拘らず相當の讀書子が出入してゐるが關谷主事の話を聞くに

流石に暑い際ですから傾向から觀ると大衆文藝物とか隨筆紀行文等の書物が多いようです勿論入館者は學生等若い人達に多いようで割合に盛況を呈してゐます、安東圖書館創立の趣旨は矢張り滿鐵社員をして利用せしむることにあつたと思ひます、然しながら社員の數の割合から見ましても利用者が尠いのは甚だ遺憾だと思ひます、私共の立場としてはかゝる口吻は遠慮しなければならぬことですが事實だからやむを得ません、新義州側からも可成りの利用者があるようですから新義州まで手を延ばしたいと思つてゐますが未だそれまでに至つて居りません

支人群衆鮮人を袋叩き

新義州府老松町六ノ一居住の鮮人張贊福(三〇)は友人二名と連立つて十二日午後十時半頃大和橋通九丁目の支那街を見物同附近の同昌樓近所に差掛りたる際支那料理店より四五名の支那人醉ひどれが現はれ彼等三名の顏を覗き込みたる爲め二三口論の末喧嘩となり附近に居合はせた支那人群衆は彼等三名を包圍したので事急と見た張は早速に現場より逃れ大和橋派出所に友人が支那人群衆の爲め半殺しになつて居ると報じたので派出所では電話を以て本署に應援を依賴し世良警部補は三名の巡査と共に馳せつけ張を案內にて現場に急行したが其時は群衆散じて喧嘩をした事は事實らしいが友人が半殺しに會つたとか拉去されたとかの形跡はないので一先づ張を新義州に歸へらしめた處右の二名は命からぐ新義州に逃れ歸つて居たと通知して來た

鮮支人の喧嘩

十二日午後十一時五十分頃市內三番通六丁目南地陸海樓前に於て些細な事から鮮支人數名が口論をなして居たが其內双方共數百の彌次馬が加はり今にも血の雨を降らさんとする形勢を示したので陸海樓主人及び鮮人朴文昌が三番通り派出所に此事を告げたので派出所では急を本署に報じ本署より酒井、木原兩警部現場に急行之を取鎭め主謀者と見られる鮮人現在四番通八丁目二番地崔善永(三〇)外二名支那人五番通六丁目三番地張魁明(二〇)の四名を引致嚴重取調べをなして居るが取調べ續行につれ關係者が現はれるらしい

無緣佛の供養

無緣佛の施餓鬼供養は地方事務所主催にて十三日午前八時より七道溝鎭江山北山供養塔前に於て供養された出席者は安東各宗僧侶八名井上地方事務所長、中川議氏、福本顧三郎氏外區長關係者約五十名同八時半終了

女給の駈落

原籍島根縣那賀郡井下春子(二三)は先月末頃迄五番通日之丸食堂に女給として働いて居たが面白くない處から本月初頃大和橋通七丁目カフェースターに寄寓し店の手傳へをなしてゐる內同カフェーに繁々と通ふ新義州王子製紙の某と懇ろになり夫と一子ある分別盛りにありながら性來の多情の爲め夫を捨て四歲になる一子を連れ情夫と共に十二日夜京城方面へ逃亡した

國境一閃

子供の喧嘩に親が出るのはみつともない▲だが民族が異る場合は單にみつともないではすませない▲十二日夜の支那人と朝鮮人との亂鬪がそれだ▲事の起りは子供の相撲に始まり遂に數百名の者が入り亂れてあはや大波瀾を生ぜんかに見えたもの▲而も其處には久しきに亙る鬱積したる感情の纏れありたるは疑ふの餘地なし▲首謀者を引致して處分したゞけでは解決は出來ぬ▲徹底的の解決を、相互の融和を關係當局の努力に期待する▲夏枯に入りて所謂新聞の三面を賑はす社會記事が尠くなつた▲刑事部屋等でも犯罪がなくなつたと腕を撫して長嘆息の樣子らしいが▲泥棒を捕へることだけが當局の任務ではない未然に防ぐことが先決問題である▲吾等は平和を喜ばなければならぬ▲そして更に一般の緊張を必要とする

長春

商工會議所の役員を選擧 十三日の議員會にて

改造後の長春商工會議所第一回議員會は既報の通り十三日午後一時から地事會議室で開催、出席者左の通り

栗原、五十嵐、吉田、出島、寺內、上野、前田、吉田、今井、猪野、島名、丸山、大浦、近江日高、安岡、四戶、平塚、玉柏山中、岡田

四戶友太郎氏年長の故を以つて議長席につき會頭、副會頭、常議員監事の選擧を爲し

▲會頭當選 山中繁雄 十五票 次點 彼末德雄 三票
▲副會頭當選 彼末德雄 十五票 岡田小太郎 十一票 次點 大浦力 四票
▲常議員當選 釘宮、古田、大浦、片山、四戶栗原
▲監事(常議員互選) 片山、釘宮

三時半散會した

馬賊二名捕はる 支那料理屋の主人を人質にとる計畫中に

馬賊の一味黑龍江省泰里縣生れ劉臣(二五)及び同省鐵縣生れ魏子銀(二〇)は、城內に潛伏し附屬地大和通り二二料理店寶盛主人劉金波及び吉野町四丁目二〇料理店、聚香班主人梁成和を人質に拉去せんと企てゝゐることを長春警察署の探知する所となり、十三日午後六時頃馬場刑事は岳巡捕外二名を引率して東三條通りと富士町四丁目角にて兩名の來るを待ち受け、矢庭に飛かゝつて大格鬪の末捕縛したと

北關夜話

十三日の議員會で會頭に當選した山中專信專務▲會社の都合で辭任すると申出た▲議員連やつきとなつてまアくと押しつけたが結局考慮することゝなつた▲自分の都合を言へばきりがないまア一任期はやつて貰ふことさ▲會頭副會頭が當選すると自腹で披露宴をやることゝなつてゐる▲前會頭の時丈はそれが無かつた▲議員會が又もめるやうなことが有つてはいかぬから今度は是非……とダメを押した議員がある▲さてこそ紛擾問題の眞因が讀めたわい

天然痘 市內に發生

市內室町二丁目十九番地田春千長男小丑(二歲)は一兩日前發病し症狀天然痘に類似してゐるので、三笠町五丁目十八百川醫院謝文山の診察を受けた所天然痘と診斷し滿鐵醫院に再診を受け愈々確定したので大消毒をしたが、同人は十三日午後十時半死亡した

撫順

荒稼業に逆戻りした二人 惡運盡きて捕へらる

十三日午後十時大官屯と研究所中間路上を千金寨支那町方面より新市街方面に向ふ怪漢二名あるので武谷、光井刑事が誰何すると矢庭に懷中より拳銃を取り出し發砲するので、大格鬪の上漸く逮捕したが、右はかつて安東縣大孤山附近を根城として猛威を振ひし馬賊の大頭目通稱通天好こと孫永山の部下たりし鳳凰縣沙里寨生れ現住所不定曹化民(三〇)及同馬雲祥(三〇)と言ふ馬賊と判明した

馬雲祥の父は安東に於て相當の雜貨商を營み何んら不自由なく暮してゐたが大正十四年の九月三日夜一團の馬賊襲來の爲家財悉くを掠奪され父親をも拉去されて了つた、當時十九歲の馬雲祥は父親を搜すべく單身大孤山の山塞に踏入りしも搜す親の姿はなく遂に馬賊仲間にひき入れられ爾來五ヶ年馬賊修業をつんだものである、曹は安東縣の

馬賊專門

の宿屋の息子であつたが昭和二年八月頃當時同地方でかくれなき大頭目通天好の部下となつた、その後兩名は馬賊稼業がいやになり、頭目に話し正業につくべく馬は六月金票六百圓、曹は八月頃金票百圓とモーゼル一號拳銃一挺とを貰ひ馬賊の足を洗つたが、馬雲祥はその後も行先不明の父の行先を探すべく貰つた金を旅費として北滿の奧から蒙古地まで石童丸のそれの如く父を搜ねてさまよひしも搜ぬる父の影だになく失意の胸を抱いて最近安東の地に舞戾り、同地の支那人宿に浮世のあじけなきを喞つてゐる折柄

偶然にも

曹化民と邂逅し色々話の末又もとの馬賊に逆戾り一旗あげようと相談一決、撫順へ行く旅費を働くべく四年七月二十九日午後五時安東縣七道溝第一區の阿片販賣や密淫賣窟たる韓國專方に押込み金品を強奪

その足で撫順千金寨支那町焦玉臣方に落付き逮捕された當夜は撫順市內西三地町三五の有名なる兩替屋厚記棧に侵入、曹化民は金交換に來たる如く裝ひ仕事をする計畫で前記場所に差かゝりたる際運盡きて捕へられたものである

奇蹟的に助つた華工四名の生命 必死の努力が酬ゐらる

既電東鄉南坑に八日間生埋になり奇蹟的に生命が助つた華工四名は山東省生れ王永寶、長福堂、張文鳳、楊山であるが彼等は直に撫順醫院中央分館に收容手厚い看護を受けてゐる、ベツドの上で王永寶は語る

七日の午前三時頃から凄まじい濁水侵入と共に坑內の土砂が崩れ、忽ち安全燈は消へる自分等四人は生埋めにされた、それからは晝か夜か何日であるかも知らず食物はなし四名は穴の內で舌を嚙んで死なうと決心したが死ぬ位の努力をすれば何んとかなるだらうと各交替で運び出る穴を掘りかけたが、初めは方角を違へて反對の方向を掘つてゐた、何日目か知らぬが坑口の方向を探り得て苦闘を續けた、皆で約半月もかゝつたやうな氣がして今朝五時私が一番さきに天道樣をおがめた時は全く夢のやうで、同六時三十分長福堂が這ひ出して來て相抱いて嬉泣きに知らずくく淚が出た

因に張文鳳、楊山の兩名は非常に衰弱して生命危篤である

噂の噂

堂々たる門戶を張り乍らも家の內は火の車であつたものか永安大街と東四條通とに親子して大きな暖簾を掲げてゐた某商店が最近遂に破產した、同店は撫順では廿三年來の老舖で數年前までは極めて順調に數萬の富を築いたさへ傳へられ堅實なる商店であつたが▲新市街移轉後は事悉くいすかの嘴と喰ひ違ひ現在の負債約七萬圓と稱せられ不動產組合でもものになればどうとか息もつげるであらうと樂觀して居た矢先▲債權者としては比較的小口である古城子採炭所勤務の某三千圓の債務不履行をかどに突如差押へを斷行した爲整理の道つかず破產して了つたもの如くである▲その他債權者の主なるものは東五條通の近江亭西田某が現金一萬圓、保證二萬圓、秋野洋行が一萬圓、大阪の仕入先が八千圓、滿銀が約一萬圓等等▲破綻の原因は色々あらうが、探聞する處に依ると、老店主はなかくのしまりやであるに反し、若主人は妻子あるにも拘らず數年前市內西六條通旭館にあた藝妓玉太郎(現在開原三好樓に一若と名乘り嬌名を謳はれてゐる)に現を拔かし三年越に與知れぬ穴に注ぎ込んだ金も少くなく、これが大原因と傳へられてゐる

敗退將棋 滿洲日日名家

（五五）

【飯塚氏三回四勝四回目】

香平交香落 七段 △宮松關三郎
六段 ▲飯塚勘一郎

持駒 飯塚氏 ナシ

	九	八	七	六	五	四	三	二	一	
	香					金	角	桂	香	一
	[illegible]									二
	[illegible]									三
	[illegible]									四
	[illegible]									五
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	六
								歩		七
	飛				金		銀	玉		八
		桂			角	金		桂	香	九

【圖は八七銀迄の局面】

持駒 宮松氏 銀歩歩

【盤局以下指方】△六八飛▲八六角△六七飛▲五九角成△同金引▲七六銀成△三七飛▲六六成銀

【對局者の感想】宮松七段曰く六七飛は手拍子で指したがよろしくなかつた直ちに六五歩と桂を取つて置く方が遙かに優つて居た。飯塚六段曰く敵の六七飛は意外でした。五九角成と交換して銀桂の捌きが充分つく樣になつては面白い順が生じると思ひました。

【大崎八段講評】上手敵が八六角と捌きて飛に當てるを六七飛と避けしは手遲れとなりて敵の銀桂を充分に捌かして惡手なり。強く六五歩と桂を取り六八角成四角七八銀成なれば五七角と避ける方遙かに面白し。

京城

朝博の工藝館に繪畫彫刻を出品
文部省が參考品に

朝博の美術工藝館に文部省から參考品として左記繪畫彫刻十三點を出品することゝなつた

種別	命題	作者
西洋畫	南風	和田三造
同	おもひで	中津弘光
同	曲浦	山本森之助
同	おうな	和田英作
東洋畫	供燈	菊池契月
同	雪松	山本春擧
同	溪四題	寺崎廣業
同	隅田川の舟遊	鏑木清方
同	島の女	土田麥僊
彫刻	タカオカミ	山崎朝雲
同	仙丹	米原雲海
同	潭	藤井浩祐
同	神社詣	池田勇八

ドンタク團人氣を呼ぶ
來月下旬到着

朝鮮博覽會視察の福岡ドンタク團一行は九月廿一日博多出發、廿二日夜京城驛着、廿三日は名物のドンタクに朝博の人氣を引ツ浚つて廿五日退城の豫定である、このドンタク團一行は福岡市の生産業者を中心に商工業者二百四十名を包擁するもので一行得意の松囃子といふのは等身大の博多人形を載せた曳臺に肥後囃子を乘込ませて一頭の牛を曳き先頭には惠比須大黒を配した傘鉾三本、これに廿人一團が得意の松囃子華やかに京城市街を縱横に賑々しく練り廻つた後朝博に乘込んで演藝場で博多獨特の演藝を公開するといふ趣向である

金融組合全鮮大會
十月中旬開催

第一回全鮮金融組合大會は來る十月十四日から三日間龍山偕行社に於て開催に決定した、尚三日目の十六日は午前十時からパコダ公園に於て故目賀田男爵の銅像除幕式を行ふ豫定である

朝鮮博覽會の歌近く脱稿の豫定
總督府の學務課で

朝博の人氣を全鮮學童の可愛い口から煽らうといふ「朝鮮博覽會の歌」は目下學務局で考作されつゝあるが、今後二週間以内には脱稿の豫定で歌詞の校閲は城大高木教授近藤時司、普成高普教師礒部百藏、南山小學校教師丹羽登喜、朝鮮教育會上原千馬太、東京葛原滋氏等が當り作曲は第一高女教諭大場勇三氏に依囑する、曲は最近流行の行進曲で、完成の上は軍隊で市内行進曲に用ゐるほかに、全鮮六十一萬人の小普學校生徒に高唱させて博覽會氣分を彌が上にも昂揚しようといふ趣向である

白米値上げ

産地の實物出盡しと問屋筋の品薄のため白米値上げ方を京城府と折衝中だつた京城精米組合では協議纏まりいよ〳〵十三日から各等一キロに付五厘の値上げを決定發表した

土地會社落成

朝鮮土地經營會社では今回京城府長谷川町の新社屋落成を機として十五日午後五時より同所に於て創立三十周年記念を兼ね盛大なる落成式を擧行した

總督の送別宴

總督府局部長は十三日午後七時山梨總督を料亭京喜久に招待して送別宴を張つた

民家燒拂事件眞相發表

咸鏡南道甲山郡普惠面大坪里瀧々谷に於ける火田民家屋燒拂事件に關しては總督府でも事態容易ならずとして所轄營林署長、觀滿指揮の森林主事より事實を聽取する一方山林部より關口事務官一行警務局より新宅島山兩屬一行を派遣し實地調査の結果、全然捏造なることと判明七十二日調査結果を發表した

それによると、昨年九月頃より惠山鎭營林署管内の國有林に潜入する者増加し本年四月の調査に際し戸數千十戸に達しいづれも國有林野の立木を盜伐して家屋を建築するのみならず縱に林野に放火して火田耕作をなしつゝあるので甲山郡普惠家新興里保興里、住林里、儀化里の舊面積約千六百町歩と指定住屋及び耕作として許可し同時に最大限の特惠條件の下に移轉を命じたのであるが遲々として進捗しない爲め五月廿四日移轉督勵に着手したが二十日間を經過するも移轉しないので六月十四日森林主事二名、警部補以下警察官十一名巡視人夫四名合計十七名の一行が瀧々谷に赴き十六日殘留家屋で燒却乃至破壞は本人の意志を尊重して協議の結果十三棟を殘して他の家屋を森林主事以下立會の上夫々本人の手で燒却したといふのがその眞相であり斯の如く紛糾するに到つたのは全く二三の爲にするものゝ策謀に基づいたものである

哈爾賓

裸體ダンスは罷りならぬ
八釜しい取締規則發布
淋れる夜の歡樂境

哈爾賓名物の一つである數多いダンス場は夜の歡樂境として露支關係がどんなにならうがそんな風はどこに吹くかと許り毎晩ジャズやワルツに浮氣な男女を集めてゐるが、今回時別警察管理處ではダンス場取締規則及びダンス練習所取締規則各十一條を設け風紀紊亂を取締ることになつたが、右によるとダンス場では裸體になつたりダンサーが客席に來たりするとは禁じられ時間は午後の九時から十二時までに限られ、それ以上は許可を要することになつてゐる外ダンスの種類又は演技種目は一々當局に屆出でをなし許可を得るなど種々むつかしい制限があるため、夜を通して朝の二時三時までも踊り拔いたり或は裸體の曲線美を誇示し得たハルビン名物も全く寂寥なものになるだらうと惜まれてゐる

窮境に陷つた支那經濟界
總商會で救濟策協議

當地方支那側經濟界も時局の影響を受け貨物は停滯する金融は梗塞するやうで非常な沈滯狀況にあるに加へて、各銀行はこの先きの時局惡化を恐れ急に一般商民への貸付けを回收し出したので、さらぬだに疲弊してゐる各商店は全くその日の商賣も出來ぬ窮境に陷り生活の脅威を受け中には破産の止むなき向も多數ある有樣であるのに鑑み、當地支那總商會は十三日午後三時全體會議を開きこれが救濟策を講究するところあつた

簡閲點呼執行官

十四日午前八時から日本小學校で擧行される當地在鄕軍人簡閲點呼のため公主嶺から三浦嘉門中佐が執行官として十三日朝來哈した

長途電話不通
赤系の惡戲か

哈爾賓、浦鹽間の長途電話は去る八日九時半浦鹽と通話中突然不通となつたので原因取調べ中であつたが、その結果國境附近線路障碍あることを發見し修理を加へたゝめ十二日午前から開通するに至つたが、右障碍の原因は赤系分子の惡戲だと見られてゐる

酌婦絞殺犯人

本籍全羅北道長水郡長水面水園生れ李在福(二七)は去る六月二十二日大阪市西區新町南通一丁目六九貸座敷業菊水樓抱娼妓下村はるえ(二一)を絞殺逃走中であるが朝鮮に渡り京城に入つた形跡あり大阪府警察部からの依頼により道警察部では府内各署に手配をなし嚴探中である

營口

橫竹商務官

上海駐在の橫竹商務官は當地方商況視察の爲十四日午後二時三十五分着にて來營即日離營北行した

關本氏出張

關本新任地方事務所長は事務打合せの爲約一週間の豫定を以て十三日二十三時五分發にて本社に出張した

開原

父子射殺され人質まで取らる
昌圖に現はれた馬賊

十日午後九時頃馬仲河附屬地を距る西北方約四十支里の地點昌圖縣八各溝と稱する部落に系統不明なる五十餘名の匪賊團(全部拳銃所持)現はれ、同部落富豪關某(四〇)方に闖入を計りたるに同家にては豫て警戒用として機關銃を備へ付け又他の銃器をも多數備へ付け居たるを以て、直ちに賊團と交戰し賊一名を射殺し一名に負傷せしめたるも同家に於ても主人關某及其子(八つ)を射殺され、遂に賊團の闖入する所となり主人の弟某を人質として拉去し賊は死體一個を放棄せる儘西方に向け逃走せりと云ふ

チブス豫防
檢便開始
十三日から

滿鐵衛生係と警察署とは協力してチブス流行期前に於て之れが豫防を最も有效ならしめんと、開原附屬地内居住日支人接客業者及び飲食物取扱業者並に昨年度のチブス患者に對し十三日より檢便を開始しチブス菌の有無を檢診し、菌保有者を隔離しチブスの發生を絶滅すべく積極的方法を講じつゝあり、而して前記檢便人員は約二千五百名の豫定にて着手されたるも或は三千名以上に達するやの模樣なりと

金融組合登記
十六日に總會

開原金融組合にては既報の通り去る十日發起人の持分に對する全部の拂込を終り十三日鐵嶺領事館にて登記を終つて茲に正式に設立したので、十六日午後三時より公會堂に於て臨時總會を開催し評議員を定めて愈々業務を開始の段取となつた

佐竹氏歸開

佐竹令信氏は出連中の處十四日十七時三十二分急行列車にて歸開

遼陽

簡閲點呼執行

遼陽に於ける本年度の簡閲點呼は十七日午前八時から小學校々庭に於て執行の筈點呼は大石橋守備第三大隊長高木中佐である因に受檢者は約百名である

青訓講習會へ

旅順に於て開催の全滿青年訓練講習會に遼陽訓練所から西在鄕軍人分會長と警察署の諏訪主計の兩氏が十三日夜出旅した

神成氏歡迎會

滿洲輸入組合聯合會理事長神成季吉氏が十四日來遼したので遼陽輸組の役員有志は同夜同氏を正滔家に招待歡迎晩餐會を開催した、因に同組合田村某の事件も神成理事長來遼役員と懇談の結果一先づ落着することになつたと

コドモページ

くもの話(2)
水の中に巣を作る 面白い水ぐも

父。くもの仲間にはずゐぶんおもしろい生活をしてゐるのがたくさんあるが、その中でもおもしろいのは水の中にあみをつくる水ぐもだ。

一郎。え?水の中にもくもが居るのですか。

父。お父さんは見たことはないが朝鮮に居るさうだ。

一郎。水の中にあみをはつて、それでおさかなでもとるのですか

父。いや、そのあみはえものをとるためのものではなくて、じぶんの住家にするのだ。

一郎。ふしぎなくもですねえ。

父。實に妙なくもだ。陸の上にりつぱに住家をつくることができるのにもかゝはらず、なぜ水の中にわざわざ住家をつくるかについては、まだしらべた人がないやうだ。しかし、おそらくそれは、陸上では虫仲間の競爭がはげしいので水の中に住家をつくるやうになつたのだらう。

一郎。水ぐもはやつぱり陸のくもと同じやうなあみを張るのですか。

父。さうだ。陸のくもと同じやうに水草に糸をわたしてあみをはるのだ。しかし、そのあみは目のあるあみでなくてふくろのやうなもので、その中に空氣をいれると空氣まくらのやうに大きくふくれる。このふくろができると水ぐもはそれを住家としてその中にひそんでゐるのだが、このふくろの中に空氣をいれるのが中々おもしろい、まづふくろができあがると、水ぐもは水の表面にうかびあがる。そして後脚に生えてゐるこまかい毛の間に空氣をふくめて再び水の中にもぐりこみふくろの下に行つて空氣のふくんだ後脚でそのふくろをけり上げると、毛の間の空氣はぶくぶくと小さなあわになつてそのふくろの中に入る。そんなことを何回もくりかへしてゐるうちに空氣がだんだんふくろの中にたまりしまひにそのふくろが空氣でまんまるくふくれる。

一郎。それからどうするのですか

父。それで先づ自分の住家が出來たわけだ、それからあとは、じつとそのふくろの中にかくれてゐて時々水面に出て來ては小さな虫をつかまへ、それを水の中の自分の住家に運んで、ゆつくりとごちさうになる。そして夏の終りになると、そのふくろの中に卵をうみつけて、その中で子供をそだてる。

一郎。子供がだんだん大きくなつたらどうするのでせう。

父。又親と同じやうに水の中に巣をこしらへて生活をするのさ、實に面白いぢやないか(寫眞は水ぐもの生活)

短歌
大連第一中學校五年 佐々木順

潮干きしあとの水たまりに はぜの子二三泳ぎおるかな

×

あさりほる子等のさゞめきに驚くの小がにはすがたを見せず

×

驚つたふわが足音におどろきてかくるゝ小がに二つ三つ四つ

夏の夜の物語
きみのわるい家(下)
武藤一枝

お父さんはきめうにあわてゝ、一時はかほいろさへ變つたのです、だがすぐに

「馬鹿だなあ。そんなものがでるものか、ゆめを見てたんだらう」

と笑ふのです、私は、そうだつたかしらと考へなほしても、たしかにあつた事ですから今度はお母さんに言ふと、

「此の子は、ものをこわがるといふことがないのですから、ほんとに、見たのではないでせうか?」

としんぱいさうに言ひましたが、お父さんはお母さんに「ねぼけん坊の仲間に入るのかい」と笑つて相手にしません。私はそのばんは頭から、ふとんをかぶつてねました。風はまだはげしく吹いて居ります。

そんなことがあつてから半月ほど後の日曜日の午後、その日はくもり日で大そう家の中がくらかつたときです。私がふと、べんじよの前を通つてゐると、又、いやな氣がして、天井から誰かぶら下つてゐるやうな氣がするのです。何も見たのではありませんが、たゞそんな氣がしたゞけですが、へんにこわくなつたので、又お父さんにいふと、こんどはいやな顔をして私をしかりました。

それから一ケ月ほど後、町の方に好い家が有るといふので、そこへこすことになりました。しばらくして或日、お父さんか私たちにこんな事をいひました。

「前に住んでゐたあの家はね。むかし、四十位の男の人が住んでゐたが、何故か、首をくゝつて死んだのださうだ。場所はべんじよの前だといふ。お父さんは、そのことを、ひつこしてから三日目に人からきいたが、他に家もないので、がまんしてゐたのだ、しかしお前たちに言ふとこわがつてべうきにでもなるとわるいから、だまつてかくしてたのだ。今はもう何もかくさずいふが、じつはお父さんも夜おそくかへる時なんか、あのべんじよの前を通る時、いやな氣がして、しやうがなかつたんだよ。それに、一枝ちやんが、あんな物を見たと言ふもんだから、さすがのお父さんもヒヤツとしたよ」

お父さんは話し終ると肩のおもにを下したやうに笑ふのでした。(をはり)

二ドメノ 大チヤンノタンケン(87)
ハルミチ作 ジラウ畫

コヤノ ソトニハ 三ニンノ ヒトクヒドジンガ テニテニ ヤリヲ モツテ タツテヰマシタ。大チヤンハ ギヨツトシマシタガ イマトナツテハ ドウスルコトモデキマセン。

「トニカク ニゲラレルダケ ニゲテミヤウ」大チヤンハ サウオモツタノデ クロンボノ スキヲミテ コヤノ ウラカラ ソツト ニゲダシマシタ。ブルモ ニゲマシタ

ドジンノヒトリガ コヤヲ ノゾイテミルト ソコハ モヌケノカラデス。ニゲラレタコトヲ シツタ ドジンドモハ クチグチニ ナニカサケビナガラ 大チヤンノ アトヲ オヒマシタ

世界一周の大飛行船 十九日に日本に着く

大飛行船にのつてまんまるい地球をグルリとひとまわりする、何とすばらしい企てゞはありませんか聞いただけでもからだぞくぞくします。しかも、その

飛行船 は長さが七百七十五尺、高さが百尺以上もあらうといふ恐ろしく大きなもの、名前はグラフ、ゼツペリン、これはドイツの飛行船です。此の大飛行船が八月四日ニユーヨークから四十五哩ばかり南の方にあるレークハーストといふところを出發して世界一周の旅に上りました。航路はレークハーストから大西洋を横ぎつてヨーロツパ大陸に出で、ドイツのフリードリツヒスハーフエンに一先づ到着、こゝで新たにお客さんをのせて

今度は シベリアの北の方を通つてカラフトの空を大きくまわり、日本の霞ケ浦に着くのは十九日の夜明けごろです。それから今度は太平洋の空を一時間八十哩といふすばらしい速さで横切り、今月の終りごろにもとの出發點のレークハーストにかへる豫定ださうです【寫眞はグラフゼツペリンの勇ましい姿】

共同炊事の御料理に舌つゞみをうつ
周水小學校の林間生活だより

原始の生活 天然の生活にあこがれてゐる私たちは、めぐまれてゐる環境を利用して、この夏はたのしい林間生活をいたしました。場所は學校の地つゞきのアカシヤ林です。灼けつくやうな眞ひるでも、青葉のしげつた林の中だけは涼しい風がふき通してゐます。この天然の家の林の中で私たちは清らかな空氣を吸つて體操をしたり

ござの上に 書物やノートをひろげて學習をしたり、お手のものゝセメントをこねて細工ものをこしらへたりして樂しく一日を送ります。おひるのごはんは共同で炊事をした天下一品のお料理こしらへかたはまづくとも、いゝかげん空いたおなかには、ほつぺたがちぎれるやうなおいしさです(寫眞=上は共同炊事下は林間、の讀書)

小住宅拂底して 大連『家無き』苦しみ

空けばすぐ塞がる市中の貸家

この罪はドコが負ふ

大連市內の小住宅拂底！十圓から三十圓にかけての小住宅を求めて「家無き」苦みを嘗めてゐる人が非常な數である、市營住宅への申込み數だけでも三百を越えてゐる、しかし四百十八軒の市營住宅は[illegible]、三百餘の人々は住むに家無しの狀態、一方市內各方面の貸家[illegible]と云つた調子而も「お子供さんのある方は貸ません」と云ふたやうな[illegible]家なら所々にあるが小住宅は殆ど絶無に近い、それに[illegible]いので、いとゞ少い市中の貸家は手一杯となつてしまつた、[illegible]まづこの問題こそ現在大連市がもつ社會問題の第一の事柄である、これに對し[illegible]市中の意見を聞こう

娘ひとりに 婿さんドッサリ

借家人の詮衡に手をやく 大家主の市營住宅

[illegible]もてる人とか相當信用狀[illegible]も考慮せねばならぬので[illegible]選擇が困難でいちく[illegible]に伺ひを立てるやうな次第[illegible]市の方でもまだ起工はしませんが

沙河口に 新規貸家四十八軒を建設する計畫があり、早晚實現されますので追々と借家難も緩和されるでせう、まづ今が拂底期でせう、滿鐵の住宅會社もありますが多分それは現在の家屋の管理をするだけで增設は殆ど全部勤人の方達で十五圓乃至三十圓程度の需要が最も多く高級家屋使用の向きは少いやうです

借家人のお人柄ですか、そのやうなことは聞及んでゐませんが[illegible]滯納者は殆どなく市營住宅は豫期通りの好成績を擧げてゐるやうです

滿鐵社員の散宿 住宅難に無影響

十月末頃には緩和されやう 滿鐵社宅係の言分

滿鐵社會課社宅管理係主任大澤愼一氏は最近の大連市內に於ける滿鐵社宅の配給狀況に就き次の如く語る

滿鐵では目下約三千戸の社宅の中約二百戸程の下級住宅（殆んど丁種住宅）を修繕中で、これは特殊のものを除きほゞ十月中には大部分修繕を終り順次現在散宿狀況の著しく不良なもの若くは

未處理の 申込者を收容し得る見込である、收容順序は家族の數、給額其他各種の條件を適宜に斟酌して採點し合計點の高く急を要するものから收容するのだから申込者の何れの部分から收容するかは其の時になつて見なければ判らぬが、大體現在の如き住宅難は十月末頃には市內の各新築工事や市營住宅も竣成し修繕中の社宅も完成するから著しく緩和されると思ふ滿鐵としては大連だけで約四千五百の社員（職、傭員共）が居りそのうち約二千が社宅に收容され殘餘の千四、五百から多い時は千七百內外の家族持社員が

散宿料を 貰つて常に市內各所に散宿してゐるのが常態で、近來特に滿鐵社員の散宿が增加した爲め大連の住宅難を激成してゐるとは思へない、尚ほ目下修繕中の丁種住宅二百戸のうち約半數は九月中に工事を終り收容し得る見込であるが申込現在數は約二百許りである

町の家主連 大喜び

貸家人殺到で

一方市中の家主連は大喜びである、最近市營住宅が滿員札止めであり、滿鐵の社宅が修繕中のものが多いのでみんな市中の方へ流れてくる、そこで市中の家主は信用の出來る「滿鐵社員」に第一に貸す、その他小さな會社の社員には仲々貸さぬと云つた有樣、而も子供があるなら貸さぬとか家族の數が多いから貸さぬと云つた調子、その他各方面で小住宅を建てゝゐると出來ない前から申込みが殺到しこゝもと市中の家主は大喜びの態である

明大對全滿水泳競技會入場式

東へ東へと進む 空の怪物ツエ伯號

我航空局指定のコースを執り 霞ケ浦へ到着せん

【東京特電十五日發】ツエ伯號エッケナー博士の發表せる我國へのコースについてわが航空局の觀測するところは左の如くである

一、沿海州に沿て間宮海峽に出で北海道奧尻島より佐渡郡山、宇都宮、霞ケ浦を通過するコース

一、北サガレンよりエトロフ東端に出で大湊を通り霞ケ浦に至る

コース

このうちの一つを執るものなるべく航空船の指定せるコースは右の第一のであるからエッケナー博士もこの第一コースを執るものではないかといはれてゐる、なほ航空局は宗谷、津輕兩海峽、エトロフ西端を航行禁止區域としてゐる

關を含む第二航程に上つたエッケナー博士は勿論其の安全に就いては確乎たる信念を以つてゐるが、萬一の場合に備ふる諸般の準備は恰も

極地探險 にも比すべきものがあつた、即ち萬一途中不時着陸をなす場合の準備の中には散彈銃三挺、猛獸射擊銃三挺、彈丸一千發に普通の食糧品七日分の外に非常用として二週間分の食糧が用意され之れ等は出來る限り乘客の荷物を犧牲にして積込まれたもので非常用食糧としては罐詰、ミルク、固パン等である又飲料水も相當積まれてゐるが場合に依つてはバラストの水を呑む樣になつてゐる、第三船長シーレル氏は萬一不時着陸する事あるも數週間は罐詰に迫られず生活する事が出來る

と語つた、尚ほソウエート政府は

不時着陸 する場合は無電あり次第立ち所に救援隊を急派する準備を整べて居り若し無人の地に着陸した場合は人里に着く方法につき詳細な智識を供給した

定期航路設定

【伯林十五日發電】エッケナー博士は世界一週後レークハーストに滯在しツエッペリン飛行船に依る定期航空路設定につき確定的取り極めをなす筈になつてゐる

我海軍省で 警戒手配

各艦隊に命じ

【東京十五日發電】海軍省にてはツエッペリン伯號飛來に際し救難を要すべき萬一の場合を考慮し自發的に其の準備を進め同船の着發前後に亘り横須賀、舞鶴、大湊の艦隊に命じ警戒艦をツエッペリン伯號の要求あり次第日本海、西太平洋に出動し得る手配をなした

格納庫の周圍 大群衆で埋まる

一時間に亘り最後の船內檢査

【フリードリッヒスハーフエン十五日發電】當地の天候は夜半來殆ど申分なく午前四時三十五分ツエ伯號がいよいよ出發の時は理想的の飛行日和であつた、夜來數千の群衆は寢もやらず同號の出發を待ち格納庫の周圍は一面の群衆を以て埋められた、乘客の荷物は昨夜午後八時を以て積込まれ午後十時船員一同は約一時間にわたり最後の船內檢査をなし乘客は今朝二時半を以て全部同號に乘込んだ

萬全を期した 諸般の準備

不時着陸と勞農政府

【フリードリッヒスハーフエン十五日發電】ツエッペリン伯號は本日午前四時三十五分愈々荒寥たる曠野の北西伯利を通過し幾多の難

全競技種目に 滿洲新記錄

滿洲軍の追擊力乏しく 明大遠征軍大勝

明大對全滿洲對抗水上競技會は十五日午後四時より兩軍の入場式を行ひ會長小日山氏の開會の辭で開始された、滿洲軍の追擊力乏しく期待した日本記錄は遂に生れなかつたが、見事滿洲記錄を全部破つた、結果は五八對二〇で滿洲の慘敗となつたが、宮畑氏の奮戰は實に目覺ましいものがあつた、午後六時三十分小日山會長の閉會の辭あり終つて模範飛込競技が番外として行はれた、當日のレコード左の如し

二百米リレー

▲一着 明大兒玉、浦木、村松佐田（一分五三秒八）▲二着 滿洲柳井、井上、大山、宮畑▲得點 明四滿一

四百米自由型

▲一着 武村（明）五分二四秒▲二着安田（明）▲三着 浦木（明）▲四着 黑木（滿）▲得點 明九滿一

二百米平泳

▲一着 鶴田（明）二十秒遲れスタート二分五七秒八▲二着 磯野（明）▲三着 早川（滿）▲四着 栗田（明）▲得點 明八滿二

百米自由型

▲一着 佐田（明）五秒遲れてスタート一分二秒六▲二着 兒玉（明）▲三着 井上（滿）▲四着 栗田（明）▲得點 明八滿二

百米背泳

▲一着 伊澤（明）一分二一秒▲二着 牧田（明）▲三着 荻（滿）▲四着 西垣（滿）▲得點 明七滿三

五十米自由型

▲一着 宮畑（滿）二八秒二▲二着 村松（明）▲三着 柳井（滿）▲四着 兒玉（明）▲得點 明四滿六

宮畑良く頑張り村松を一米殘して勝つて依然たる强味を見せ滿洲のため萬丈の氣を吐く

二百米突自由型

▲一着 佐田（明）二分一九秒六▲二着 浦木（明）▲三着 栗田（明）▲四着 黑木（滿）▲得點 明九滿一

千五百米自由型

▲一着 武村（明）二一分三九秒八▲二着 安田（明）▲三着 史（滿）▲四着 尾田（滿）▲得點 明七滿三

三百米メドレーリレー

▲一着 明大（伊藤、鶴田、佐田）三分四五秒六▲二着 滿洲（荻、早川、宮畑）▲得點 明四滿一

將來を期待

明大主將談

試合終了後村松明大主將は語る

滿洲が豫想外に强いのに驚きました、私達室內プールを多數に持つ東京の連中は殆んど一年中水に親しんでゐますがそれに對し僅か三ケ月の短期間しか水に入れない滿洲の人があれだけに戰えたのは全く粒の良さを物語るものであつて、もし滿洲に室內プールが出來一年中水に親しめる樣になつたならば現在の滿洲の野球、陸上の樣に日本で一番恐ろしいチームとして滿洲軍が皆から注視されると思ひます何とかして此の好い素質を充分に伸ばして下さる事を切望します

馴染女を呼出し 下郡の行動聽取

きのふ大連警察署で 小河內助教授夫人殺し事件

朝鮮平壤署で勾引取調中の詐欺竊盜犯人下郡春次郎（四七）は昭和二年十月大連初音町に於ける小河內工專助教授夫人の絞殺凌辱犯人なる事自白したが、當時の被害品たる製銀ストップウオッチに關しては言を左右に託して語らぬのでまだ幾分證據薄弱の點あつたが

嚴重なる 追及に包み難く遂に自己に於て所有しゐる旨自白したので家宅搜査の上發見押收した、當人は前記兇行當時大連西通り一二〇西村蒲鉾店に店員として傭はれてゐた者で現在逢坂町貸座敷音羽樓抱え酌婦叢こと宗像カズミ（二七）が小樽子得勝街料理店金水にゐた當時、馴染を重ね登樓に際し、時偶右ストップウオッチをカズエに見せた事があると云ふ聞込みあるので、大連署では平壤署よ

生弓會 敗る

對滿鐵戰

東京生弓會對滿鐵弓道部軍の弓道試合は十五日午後一時より滿鐵弓場に於て行はれた勝頭兩軍の禮射に始まり後半滿鐵軍振ひ九十點對八十點にて滿鐵軍の勝利に期し最後に本田利時師及び大連側より石原氏の禮射あつて五時二十分終つた、尚十六日午後一時より同滿鐵弓場に於て對全大連弓道試合が擧行される

密輸副領事夫妻米國を出發

【サンフランシスコ特電十四日發】夫人の阿片密輸嫌疑で遂に休職となつた上、追放されることに決した前當地駐在黃支那副領事並にその夫人書記生一名は本日當地出帆の日本汽船春洋丸で歸國の途についたが、右三名は歸國後支那官憲の審問をうけ處罰される筈である

家賃猫ババ

大連管內周水子會周家屯森初太郎かた農桑小林秋太郎（三）は去る二月ごろ大連霧島町福田顯四郎氏より家賃取立て方依託されたるを奇禍とし、中百七十圓は信濃町の寫眞屋杉浦春之輔に貸與し殘金二十圓は自己に於て勝手に費消し委を晦ましたが十五日朝九時ごろ福田かた使用人廣田賢助に發見されその筋へ突き出された

諦閑法師講經

現代支那佛敎界の名僧諦閑法師は每年各地の懇請に從ひ巡講しつゝあるが本年も哈爾賓に於ける受戒者八百餘名の放戒講經を終り

盛京時報大連支社

盛京時報社では大連支社を本社直轄に改めると共に同支社を市內山縣通りより榮町十三番地に移したが社員本社より出張して廣告その他事務一切を處理すると

黃白嘴燈臺消燈

一昨日の豪雨によつて消燈したので關島事務所の手により目下修理中

鹿兒島商業 北海に大捷

【大阪十四日發電】北海中學對鹿兒島商業戰は北海先攻にて開始左の如く九A對二にて鹿兒島商業の大勝に歸した

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
北海	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
鹿兒島	0	0	2	0	0	0	1	6	0A	9A

諏訪對高松戰 降雨で延期

【大阪十五日發電】諏訪蠶絲對高松商業の野球戰は降雨のため延期となり明朝九時より擧行さるることゝなり、從つて以下番組も繰下げられることゝなつた

全國中等學校野球大會

自白もし

證據も上つたとり本人が自白もしたと云ふ快報に接し十五日午後カズミを呼び出し兇行前後に於ける下郡の行動について訊問し聽取書を作製して送附する處あつた

三越の大供會

趣味の蒐集家は從來大連にも少なくない、元の滿鐵地質研究所長木戶忠太郎氏の達磨、竹內坦道氏の木魚、商議書記長篠崎嘉郎氏の面などは夙に聞えたものであるが十四日より十八日まで五日間三越で開會中の「大供會」には大連の代表的蒐集家たる

石本貫一郎氏の「各國郵便切手」保々隆矣氏の「面」友木饒氏の「蒔繪小道具」中村峰昇氏の「髑髏」村上夫人の「人形及米國手旗」浦田繁松氏の「古錢」丘襄二氏の「硯」小林胖生氏の「鏑矢と喇嘛神器」高山卓士氏の「犬」ビューローの「各國レベル」等何れも珍奇にして各蒐集家の根氣と努力を思はせるもの無慮數千點が陳列され同好者には勿論一般觀覽者にも非常の興味を以て鑑賞されてゐる

中日文化協會

この程來連したので、中日文化協會では十六日から五日間每日午後三時より二時間宛同協會講堂に於て「妙法蓮華經普門品」の講義を行ふことゝなつた、なほ第一日午後三時から一時間は特に同法師歡迎茶話會として引續講授に移る筈で參聽者には數本「普門品」一册宛贈呈すると會費等一切無用廣く日支識者の來聽を歡迎

早大對滿俱戰變更

十七日　第一回戰　早大對滿俱
十八日　第二回戰　早大對滿俱
十九日　決勝戰　早大對滿俱

スポンヂ野球

二勝者戰第三日

	一	二	三	四	五	六	七	對
先攻 滿電試驗所	3	2	0	0	5			10
モンキー俱樂部	0	0	0	0	0			0
先攻 朝鮮銀行	3	4	0	3	2			12
鐵道部審査係	0	1	0	1	0			2
先攻 天ノ川發電所	3	2	4	1	1			11
埠頭輸出係	1	0	0	0	0			1
先攻 瓦斯會社	2	0	2	3	4	2	1	14
檢車區	3	0	1	0	0	0	0	4
先攻 用度課	0	1	0	0	0	2	1	4
消費組合B組	0	0	2	0	0	0	0	2
先攻 機關區	0	5	0	0	1	0	1	7
沙河口工場	1	0	0	0	0	0	0	1

けふのラヂオ

昭和四年八月十六日（金曜日）

自午前十一時 相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）

自午後零時三十分 相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース

自午後三時三十分 相場（錢鈔、株式、各地相場）ニュース

自午後七時三十分

一、ニュース

二、兒童科學講座（金魚の話）大連第二中學校泊倘義

三、ピアノ獨彈（ノクターン、ライバッヨ作）大連高等音樂院津田和子

四、雜曲（數種）唄、三味線上田ヘル子

五、新內（蘭蝶）彈語り田中しげ

六、支那劇（烏龍院）連東俱樂部員

七、料理獻立

八、天氣豫報

夕刊
滿洲日報
八月十五日
發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社

滿鐵副總裁の後任は外務畑から起用せん
仙石總裁けふ濱口首相訪問人選について協議

【東京十五日發電】仙石新滿鐵總裁は十五日午後濱口首相を訪問して副總裁の人選につき協議するはずで、本問題については既に十四日首相より中島秘書官を介して人選を求めてゐるところであるが、從來候補者として擧げられてゐる青木鐵道次官、前滿鐵副社長大平駒槌氏等は結局人選に漏れる模樣である、而して濱口首相は仙石氏の意志を尊重するものと見られるが、元來鐵道經營については仙石氏は一應の經驗を有するから氏は滿鐵と支那との國際關係の重大なるに鑑み外務畑から人選するのではないかと見られてゐる、而して外務畑に於ては矢田前上海總領事、現西班牙駐箚公使太田爲吉氏が有望視され、矢田氏は最適任と見られてゐる、なほ政府の對貴族院關係から同院にも二、三の候補者が數へられてゐるが松岡均平男の呼聲が高い

新舊總裁事務引繼

【東京十五日發電】山本前滿鐵總裁は十四日午後四時新總裁仙石貢氏を訪問し挨拶を交換したが、兩氏は十五日午前十時麻布の滿鐵社宅に於て事務引繼を行なつた尙ほ仙石總裁は本日午後濱口首相を訪問し新任の挨拶を行ひたる上副總裁の人選につき協議する筈

松本博士を起用か
仙石總裁、青木次官と協議

【東京十五日發電】滿鐵副總裁の後任に就ては仙石總裁は青木鐵道次官と協議の結果、青木次官は松本烝治博士と會見する事となつたが、右は松本博士に對し滿鐵副總裁就任を慫慂するために非ずやと觀られてゐる

小林、笹原兩氏辭職す

滿鐵東京支社庶務課長參事職員小林絹治、山本前總裁秘書職員笹原滿の兩氏は十三日附を以て依願職員を免ぜられたが、東京支社庶務課長は入江支社長兼任となり何れも十六日の社報を以て發表の模樣である

滿鐵總裁の名仙石氏に變る
けふから實施

仙石貢氏の滿鐵總裁就任は既報の通りであるが、滿鐵本社には十四日午後六時頃東京支社より正式に仙石總裁の就任を通報し來た、而して十五日より滿鐵の書類は全部仙石總裁の名に變更された

山梨總督けさ東上
官民約一千名見送る

〈離鮮東上の途に就いた京城驛頭には兒玉政務總監以下各局部長寺内獨立守備軍司令官、中村朝鮮軍參謀長、京畿、江原その他の道知事、朴泳孝侯らの官民約一千名の盛んなる見送りがあつた〉

【京城特電十五日發】連日、離別の宴を張つて各方面の人士に惜別を告げた山梨朝鮮總督は十五日午前十時二十分京城發列車にていよ

第三回太平洋會議と滿洲問題【1】

前太平洋問題調査會幹事マスター・オブ・アーツ　武田胤雄

◇

太平洋會議は第三回目の會議を今度は日本に開く事とした。會議地は京都、時は秋。十月廿八日から十一月九日まで二週間。二千年の歴史を有する山紫水明の古都で開く。鴨川の水は飽くまで清く澄み、嵐山の紅葉漸く燃え出でんとする絶好の季節である。第一回會議も第二回會議もハワイホノルルで開いた。ハイビスカスの赤き花椰子の葉風もいゝにはいゝが二回以上は鼻につく。今度は目先きを變へて東洋の新興國美術の邦、日本、而も典雅優美なる京都で開催せらると聞いて、さなきだに出席者の制限に困憊する各國當事者は押すな〳〵の自國他國の申込みに代表者の選定が汗タクものであつたと仄聞する。

◇

抑々太平洋會議とは何か？實は之は詳しく云へば太平洋問題調査會の大會を簡略に呼んだ名稱で太平洋に面し、又は太平洋上に重大なる利害關係を有する諸民族の非公式國際機關である。國際機關ではあるが、國際聯盟の樣な國家間の強制力を有する行政機關では無い、又汎太平洋倶樂部の如くお互に御馳走しあつて、御世辭の應酬をする社交團體とも譯が違ふ。簡明に云ふならば「本會は太平洋に臨む諸國間に横たはる重大なる諸般の事實を蒐集、研究し、其知識の普及に依つて輿論の摘發を計り以て關係諸國の進歩に對し、建設的援助を與ふる事を期する」學者實際家の團體である。但し本會のシスター、オーガニゼーションたる汎太平洋學術會議（一昨年日本に第二回會議を開き本年ジャバに第三回目を開いた團體）が自然科學の世界を管掌するに反し、本會は人文科學の方面を受け持ち、政治、經濟、教育、宗教、文學、美術等に稀力を注ぐ事となつて居る

本會は其目的貫徹の方法として（一）太平洋の諸問題に關する調査研究、及其發表（二）常に研究會及講演會等を開き（三）二ケ年毎に大會を開く。本會の特徴は何等の決議をせず、眞理の究明と、正義夫れ自身の徳性に依る勝利つまり眞理に基く輿論の制裁に満腔の期待と信頼とを懸くる點であろう。原則として本會の會員は國家や團體を代表せず、總て個人として本會の目的を贊するものとせられ、從つて何者の拘束をも受くる事なく、全く自由の立場に在つて研究と、討議とに從事し得る仕組になつてをる。日本、支那、米國、英國其他に「太平洋問題調査會」は設けられ、且つ太平洋上の中心點たる布哇に中央事務局が設けられ、數名の常任幹事を置いて常住其の任に當て居るのである。

◇

第一回太平洋會議は大正十四年七月一日より二週間に亘り布哇ホノルルに於て開催せられた。此會議に參加したのは九ケ國の國民團體で、出席者は百五十餘名、凡ゆる種類の人々が網羅せられた。九ケ國の代表團體とは、北米合衆國本土、加奈陀、朝鮮、支那、比律賓、濠洲、ニユージーランド、布哇及我が日本であつた。各國は夫々有數の人士を派遣したのであるが、別けて日米兩國は該會議の雙璧として重要なる地位を占むるに鑑み、最も有力なる代表者を送つた、日本が前文部次官、京都帝大總長、帝國教育會長等の經歴と、教育界第一人者たる聲望を有せし故澤柳政太郎博士を團長として、學者、實業家、宗教家、政治家、社會運動家等十八名の代表者を派遣した事は世人の猶記憶せらるゝ所であらう。

◇

今試みに此會議上審議されたる諸問題を簡單に採錄すれば

（イ）政治に關する諸問題　太平洋諸國の政治組織、就中國際關係の取扱に當る機關、例へば我國の外務省、米國の國務省の如きもの＼研究、太平洋に於ける政治的諸問題、例へば支那に於ける治外法權、税關管理、關税改正及び外債、在住外人の保護、居住權、歸化の問題、夫から轉じて太平洋に於ける列強の軍備の問題等が論究せられた。

（ロ）人種及人口に關する諸問題　先づ第一に人種的優越感の原因及び結果の研究移民問題、移民の權利不可侵論、延いては其人種的考察、法律的、政治的考察、夫から文化的、宗教的、經濟的考案、移民政策の基礎的理論、一國が其領土内に外國人を排斥する道徳上及び法律上の權利、此等の問題では日本代表は正義の大ダンビラを振りかざして米國及び濠洲に切り込み誠々の武勳を擧ぐる所があつた

（ハ）商業及び經濟に關する諸問題　此部門では支那の天然富源の開發産業の問題、國家經濟的通商政策の是非、太平洋諸國の生活標準等の論戰に花が咲いた。

（ニ）宗教、教育及び文化に關する諸問題　釋迦、孔子、キリストの教へは近代の人種間、及び國際間の接觸より生ずる諸問題に如何に適用せられつゝあるか、宗教の活動に貫徹すべき點如何、外國傳道の政治的關係如何等が興味の中心をなした

哈市赤系分子の暴動陰謀暴露す
哈市支那側の發表

【ハルビン十四日發特電】支那側の發表するところによると、當地赤系分子の一部は松花江鐵橋爆破ならびに造船所燒き打を計畫し松花江對岸鐵橋附近の避暑家屋を借入れ爆彈火藥などを準備し十八日の日曜の晩を期して暴擧を決行しハルビン、滿洲里間の交通々杜絶せしめ支那側の軍隊輸送を阻止せんとする陰謀あるを發見し危險を未然に防ぐことを得たと

着々工事中の朝鮮博の滿蒙館

何れかゞ讓歩せぬ限り局面の展開は絶望
露支兩國代表引揚ぐ

【滿洲里十五日發電】ロシア代表メリニコフ氏は支那の態度に痺れを切らし本國政府の命に依り歸國の途に就き又朱紹陽氏一行も引揚げたので兩國何れかゞ讓歩せざる限り局面の展開は絶望となつたが朱紹陽氏は交渉停頓の儘で取敢へずハルビンに引揚げ對策を講ずると語つたが、交渉決裂するものとして人心動搖してゐる、尙ほ國境エフスカヤ方面には目下散々として砲聲聞え國境の空氣緊張を示してゐる

支那代表引揚げ國境の空氣緊張
滿洲里の人心動搖す

【滿洲里十四日發電】國民政府代表朱紹陽氏一行九名は南京及び奉天當局より引揚の訓令に接し十四日午後五時三十分滿洲里を引揚げた

蔡李兩氏無事

【滿洲里十四日發電】逮捕說を傳へられた支那側交渉員蔡運升氏及

蔡、李兩氏今夕歸哈

【ハルビン十五日發電】一時監禁說を傳へられた蔡交渉員及び李紹庚東鐵理事は十四日滿洲里を引揚げ十五日十八時十五分着列車で歸哈の筈であるが、今尙監禁說を信ずる者は、右は單なる引揚でなく監禁狀態のまゝ護送されて來るのだらうといつてゐる

び東鐵理事李紹庚氏は無事である

天津市黨部山西派排斥
市民團體を教唆

【天津十五日發電】嚢に天津特別市執行委員が實權の壓迫に堪えざる理由で總辭職を中央に電請したが、爾來山西派に對する反感は漸次醞釀され最近に至り各區黨部員等は密かに各民衆團體の本部とも見る可き天津總工會の李靜山、婦女協會の王庸學生聯合會の王子起廢約促進會の邢憲生等と聯絡し市黨務整理委員に反對し側面より山西派の勢力を驅逐するため彼等一派の洋錢主義即ち守錢奴的事實を盛に宣傳し各機關長官や各職員の毎月山西に送金する額を詳細に調査し暴露戰術に據り市政府の醜態を摘發し民心を失望せしめんと活動して居る爲めに毎日數十通の市民衆訴の書狀や詰問書が市政府に舞ひ込み内容は何れも市政の失態を極端に攻撃したもので山西派に對する反感を燃めるに努めてゐる

東鐵問題は帝國主義の挑戰
日本に野心があると誣う
【浦鹽職業組合の聲明書】

【ハルビン特電十五日發】浦鹽における太平洋職業組合大會事務局は八月十五日の大會開會日を前にして左の如きステートメントを發表した

太平洋沿岸は世界列強が有する各種の利害が相錯綜し幾多の企圖が意圖され且つ野心が抱藏されてゐる一大市場である、就中日本はこの市場に對して最も多くの獲物を得やうとしてゐるが兎も角それ等強盜にひとしい帝國主義國家は最後においては武力をもつてしてもその欲するものを强奪するであらう、從つて戰爭は近き將來必ずや勃發すべく我等プロレタリアは之に對し死力を盡して守らねばならぬ、東支鐵道問題は既に帝國主義國家のソウエートに對する挑戰である、又來るべき大會には凡ゆる世界の代表が召集され人種問題は一大重要議題として論議されるであらうが、尙ほその他大會の重要課題は次の如くである

一、被壓迫亞細亞大衆の鬪爭手段を講ずること

一、總ての職業組合を合法的の機關となす準備を講ずること

賠償財政委員會再び休會となる
各代表個々に交渉のため

【ヘーグ十四日發電】休會中であつた賠償會議財政委員會は十四日朝開會し、佛國代表ルーシュール氏は起つて過日英國代表グラハム氏の演說に對して長々と答辯したる後直に會議は再び土曜日（十七日）迄休會された、本日の會議時間は僅かに一時間半であつた、再休會の理由は各代表個々の間に於て交渉することを更に繼續させんが爲めである

佛國讓歩
賠償會議

【パリー十四日發電】休會中の賠償會議財政委員會は本日を以て再開されるが、フランス側に於ては英國代表スノーデン氏の要求に對して其三十パーセント位の讓歩をなさんとする準備が整つてゐるらしい、然し英國側が果して其程度の妥協に應ずるかは勿論疑問である

蔣介石氏芳澤公使招待

【南京十四日發電】國民政府首席蔣介石氏は十四日正午別邸に芳澤公使を招待し午餐會を開くはずであつたが、豪雨襲來のため場所を總司令部に變更し主客の外に載天仇、王正廷、孔祥熙氏等陪席して之を開いた、蔣首席は芳澤公使の在支六ケ年間日支關係のために盡した功績を稱揚し公使の前途と健康のために乾盃した、之に對し芳澤公使は在任期間兩國のために何事もなし得なかつたことは慚愧に堪えずと挨拶し散會した、公使は總領事館に歸り少憩の上午後五時ランチで南京を出發、降雨中日支官民多數の見送を受けて渡江し午後六時浦口着特別列車で北平へ向つた

山東の邦人工場愈よ閉鎖を斷行
職工家族六萬人に退去命令

【天津特電十五日發】濟南よりの天津着電に山東接收以來共産黨や市黨部の使嗾により日本人經營の工場は間斷無く怠業罷業を繼續して來た爲め邦人經營の工場は八月四日より作業を中止、工場を閉鎖したるため一萬六千餘の職工は益々不穩の度を增し淄川炭礦にも波及し形勢は刻々險惡となりつゝあるが、邦人工場經營者も姑息なる手段は益々彼等に乘ぜらるゝ虞あるため此際斷乎たる處置に出づるに決し近く工場内宿舍より職工一萬六千及家族四萬に對し退去を命ずる筈

汎太平洋大會けふ開會

【ホノルル十四日發電】汎太平洋大會は本日より十日間當地に於て開會される事となつた

警察部長會議第一日

【東京十五日發電】道府縣警察部長會議第一日は十五日午前九時より内務省に開會、安達内相以下次官局長等出席内相の訓示あり直に指示事項の審議に入つた

青島工場罷業の善後交渉遂に決裂
工政會は職工の歸農を勸め工場側も態度强硬

【青島十四日發電】紡績姉寸製絲工場の罷業善後策を講ずるため中央の命に依り來青した崔士傑氏は各方面と折衝したが、工場側は工政會を中心とする煽動機關の不安が除かれぬ限り復業せずと頑張つてゐる、之がため崔氏は最近工場側に對し強硬な態度を執り此際復業せねば職工全部を歸農せしめ更に將來の職工募集を嚴禁すると威嚇策を行つてゐるため善後交渉は遂に決裂するに至つた、形勢次第では職工の歸農も實現するらしく支那側としては出來るだけ外交問題化するやう畫策し、解決はズル〳〵引張つて工場側を屁古垂れさせる作戰らしい、之に對し工場側も決意は相當强硬なるものあり目下のところ解決の見込は立たず事態は暫く複雜重大化して來た

電園附近の遊園地計畫不要
滿鐵當局は反對意見

滿鐵所管の電氣遊園地を柴田一郎田中宇一郎、小川鑛次郎、竹中照藏、今井行平氏等四十三名が發起人となつて無料貸下を受け資本金二百圓を以て民衆慰安の一大遊園地たらしむべく計畫されてゐる模樣だが、之に對し滿鐵當局では電園に對する「そんな計畫などは全然耳にしない」と冒頭して語る

民衆慰安の計畫が電氣遊園でなく電園下の廣場と間違つて傳へられてゐるのではなからうか

電氣遊園の貸下げは無料有料にした所到底困難である電園は將來大大連の中樞地であつて、今後益々高尙に淨化すべきもので之が所謂思想善導にはつて公衆衞生上から寧ろ憂慮すべき問題を招致する位に過ぎまい、斯る計畫は市街發展からいつても現在場末の遍鄙な土地を物色して純支那人向きの慰安施設を作つた方が餘程有意義で日支人向き施設を同一場所に合同して來るなどは決して日本人のためでない、殊に電園に對して該計畫をなすなどは全然問題にならぬ滿鐵の反對よりも先づ在連日本人の大部分が大反對であらうと思ふ

最も有意義であらうと思ふ、假りに日本人支那人に對する施設計畫を樹てゝも俗惡なものは寧ろ日本人に迷惑で結局中流以下層支那人に占有される位なものである、大連居住支那人の大部分は有産階級の資本家でなく日支人に使用される店員乃至使用で萬全の施設として見たところが落ち金は至極少く結局

苦力階級の集合所となつて

米國へ輸出の日本生糸
八割五分を占む

【ワシントン十三日發電】本日發表された貿易統計によればアメリカに輸入せらる、織物及び織物原料中生糸が價格に於て其の首位を占め其の入額の八割五分は日本生糸なること明かとなつた、支那は一割四分で之についでゐる生糸上半期輸入高は二億九千八百七十五萬弗である

西公園改良決定事項

西公園改良委員會は十四日午後一時開會され左記事項を議決して三時散會した

一、春日池大蓮寺裏の整地の件（風致を害する虞れがあるので否決）

一、無線塔附近に休憩所設置に付き借地の件（必要あれば市自ら建設するとの理由で否決）

一、谷信近氏の壽碑建設の件（氏は支那人に對し功勞あるも直接市に功勞あるや考慮の餘地ありとし否決）

一、羽衣女學院、滿洲鄕土協會、春日小學校よりの園藝茶園實習地貸下の件（羽衣女學院のみ試驗的に一年間貸與を可決し他は資力あり公園内借地を許す要なしとの理由で否決）

朝鮮博の事務所

開期切迫と共に朝博特設館の事務所が京城府内に開設されはじめた十三日までに事務を開始したのは左記三ケ所である

△滿蒙館事務所義州通二丁目十三番地
△咸北協贊會事務所永樂町二丁目六十番地
△臺灣館事務所並木町二百四十七番地

長山警視赴任

新撫順警察署長となつて赴任する長山警視は十五日九時九分沙河口驛より官民約百名の盛大な見送りを受けて出發した

大觀小觀

支那側は滿洲里の朱代表ら一行を引揚げしめた。

◇

强腰でか、弱腰でか、支那側の肚裡、決意如何。露支交渉はともかく停頓から停頓へ、容易に打開の望みもなさ相だ。

◇

これで奉天と、南京とが褌を締め直して出やうといふのか。

◇

いづれにしても、織力不統一の現實を、勞農側の面前に暴露するやうでは、對露交渉の打開、解決覺束なしと知るべし。

◇

暴露戰術は南京政府のお手のもの、だがそれにかけては勞農側は先生株。

◇

その戰術の材料を、支那側から提供したのでは、さすがの南京政府、手も足も出ぬといふものか。

◇

水も入らず先づ引分けの村角力

天氣豫報

十六日　晴れ　一時曇り北西の風
日出　五時七分　日沒六時四十九分
滿潮　前八時　後八時二十分
干潮　前零時三十分　後二時三十分

各地の温度

	十一時	昨日最高
大連	二七、二	二六、九
旅順	二七、九	二六、五
營口	二七、三	二七、三
奉天	二七、九	二九、二
長春	二六、三	二七、四

新聞の不配達其他の故障は電話四七六七番へ

愈よけふツエ伯號 世界一周の壯途へ
午後零時卅五分ドイツを船出
一路東京へ向ふ

【フリードリツヒスハーフエン十四日發電】ツエツペリン伯號は世界一周の途に十五日午前四時卅五分(日本時間十五日午後零時卅五分)當地出發一路東京に向つた

東京着は二十日正午過ぎ
エツケナー總司令 航程、コースを發表

【フリードリツヒスハーフエン特電十四日發】ツエ伯號乘組幹部會議の結果十四日午後九時總司令エツケナー博士は嚴肅な態度を以て左の如く發表した

我等は 愈々十五日午前四時半を以てフリードリヒスハーフエンを出發する、コースは今のところ先づベルリンの上空を、北方に殆ど眞直に翔ぶが、ベルリンの上空には五時間乃至五時間半にして到着、其後航路を東にダンチヒ及びケーニヒスベルヒに執るべくケーニヒスベルに着くまでには更に五時間半を要する積りである、それよりロシアのミンスクを目標に進み、而して若し天候が許せば同地より

船首を 轉じてモスコーに向ふ筈である、モスコー通過後は航路を北東に執りウラル山脈の中央地點を縮ゆる積りである、初め同山脈の北端を迂廻しいはゆる大圏コースを執らんと希望してゐたが、目下白海には低氣壓が蟠ふてゐるので斯く北方に據ることは出來ないのである、而して白海方面の低氣壓の範圍如何によつてウラル山脈のいづれの地點を越えるかゞ決定されるであらう、目下余の希望としてはオムスクの北方約六百キロの地點を飛行しこゝでその後の

コース を決定する積りであるが、最も確實性ある航路はヤクーツクに出でそれより南下してオホーツク海に出てサガレン等を越へ更に南下、東京に達することゝならう、東京までの所要日數としては最も早くて四日、遲くて五日の豫定である、しかしそれには

理想的な天候振り

最も飛行に向きの天候を條件とする確實なところは百二十時間といふところであらう、若し百二十時間を要するとせば東京着は二十日正午過ぎの豫定である

今回の 積載燃料その他をもつてすればその航走時間は百十五時間乃至百二十時間であるが、今度のコースにおいては四個のモーターより動かさぬ筈であるから百五十時間は航續することが出來ると

なほエツケナー博士の説明によればツエ伯號はモーター全部を動かすとすれば

【フリードリヒスハーフエン十四日發電】ツエツペリン伯號總指揮者エツケナー博士は愈々明十五日午前四時半(日本時間午後一時半)出發の積りであると述べた、本日の氣象報告に依れば北方コース全體に亙つて殆ど理想的な天候振りで、スユーデン地方に低氣壓あり東北に向つて進行中なれど右は寧ろツエツペリン伯號の進路と反對の方に向ひつゝあるもので心配なし、また中部ヨーロツパには厚氣壓の地域があるが、これとて邪魔になりさうでない

Z伯號積荷
故エルド男の胸像と 郵便物五萬通

【フリードリツヒスハーフエン十四日發電】東京行ツエツペリン伯號の積荷としては曾に日本に飛來し歸國後逝去したフユーネフエルド男の胸像が唯一のものであるが郵便物は米國より持つて來たもの三萬通歐洲より托されたもの約二萬通で總計五萬通に達してゐる

Z伯號への電信取扱ひ
一般希望者の

ツエツペリン伯號には強力な無線電信裝置があるので遞信省では本邦陸上無線局と同船との間に航空の安全に關する電報を無料で交換せしむるほか一般公衆局でも同船宛電報の託信を希望する向に對しては管内各外國電信取扱局に於て受付けることになつたが、着信局名には無線電信の呼出符號DENNEを使用せしめ一語の料金は七十錢とし發着電報は特に迅速に取扱はしめると

相澤(帝大)四百米へ 滿洲は短距離で
南部、今井兩選手活躍
決定の京滿對抗陸上競技組合

來る十七、八の兩日擧行される京大對全滿陸上競技對抗のメンバーは左の如く決定した、特別眼に立つものは帝大の相澤が四百米突へ出場し滿洲が京大の豫想を裏切り短距離の仲田を退け南部、今井を起用してゐる點で尚競技開始は十七日午後三時半、十八日は午後二時からである。

八百米 京大(鈴木清、高柳、補缺栗山、鈴木茂)滿洲(濱田、畑、補缺木田、永谷)

砲丸投 京大(福島、桐田、補缺龜山、西村)滿洲(上倉、白石、補缺三好、横井)

百米 京大(相澤、李、補缺鍋島、長島)滿洲(南部、岡、補缺今井、仲田)

棒高跳 京大(渡部、本莊、補缺桐田、鈴木武)滿洲(伊藤、淺坂、補缺田島)

走幅跳 京大(長島、桐田補缺高柳、野間)滿洲(南部、柴田補缺田中)

高障碍 京大(上田、藤井、補缺長島、桐田)滿洲(鶴岡、田島補缺柏木)

三千二百米リレー 京大(鈴木清、高柳、栗山、杉野補缺鈴木茂、鍋島、本莊)滿洲(濱田、畑、木田、永谷、補缺金光)

四百米 京大(鍋島、鈴木清補缺相澤、松野)滿洲(濱田、柏木、補缺岡、畑)

走高跳 京大(長島、上田、補缺藤井、桐田)滿洲(南部、鶴岡、補缺柴田)

圓盤投 京大(横山、龜山、補缺桐田、福島)滿洲(白石、三好、補缺上倉、横井)

千五百米 京大(鈴木茂、本莊、補缺栗山、松野)滿洲(永谷山下、補缺濱田、畑)

四百米障碍 京大(高柳、鈴木武、補缺吉田、中村)滿洲(鶴岡、柏木、補缺浦野)

三段跳 京大(長島、高柳、補缺桐田、福島)滿洲(南部、柴田補缺田中)

二百米 京大(相澤、李、補缺鍋島、野間)滿洲(岡、今井補缺南部、仲田)

槍投 京大(西村、横山、補缺本莊、福島)滿洲(伊藤、小林、補缺岡田、峰尾)

五千米 京大(鈴木茂、武島補缺松野、栗山)滿洲(山下、仲本、補缺永谷、八重樫)

千米メドレー 京大(相澤、李、長島、鍋島、鈴木清、

市長水害狀況視察

石本大連市長は十四日午後榮町方面の水害狀況を視察したが、市としてはこの際特に衞生方面に留意し極力傳染病豫防につとむべく、尚該方面が非常に低地なるため今後もかゝる災害を受ける虞あるを以てこれが對策を講ずる必要があらうと

金州街道に三人組強盜
農夫の御難

十五日午前八時三十分ごろ金州南山拉樹房農業劉洪福(三〇)は所用のため夏家河子に赴くべく途中南關嶺夏成榮子附近に差し蒐つた時商人風體の三人組の支那人強盜に襲はれ逮捕の上小洋五元と印鑑一個を強奪された、屆け出により目下大連署では星司法主任以下現場に急行し各方面へ手配の上犯人捜査中

コレラに祟られ木材水下し中止
また埠頭は材木山を築かう
けさ七時から出門券發行

大連埠頭における北洋木材の滯貨緩和の策として水下し法によつてロシア町海岸の特定區域に引揚げる方法をとつた事は既報の如くであるが、折柄コレラの侵入で大連港の海水使用を禁止された爲め右水下し策も自然沙汰止みとなり、從つて埠頭野積場は木材の山を築き十四番區繫留の入御影丸、十八區繫留入乾坤丸、三十番區繫留神光丸の如き揚荷場所に不便を感じてゐる、なほ北海道、樺太方面よりは菊籬丸、遼海丸、大越丸等が多量の米材を積み込んで來る豫定であるから更に埠頭は太丸木材の輻輳を極めるであらうと云はれてゐるが、右に就き埠頭側でも善後策を講ずる事となり差し當り從來市内引取貨物に對して午前八時より出門券を發給して居たのを木材滯貨の引取を便利ならしむるため十五日より當分午前七時より出門券を發行する事となつた

丸髷の女が拳銃密輸
荷受けに來て 水上署で御用

去る十一日入港のはるぴん丸乘客の手荷物中モーゼル一號拳銃八挺入りの怪しい柳行李が二個あるのを發見、水上署司法係りで看視中のところ、元看護婦と稱する丸髷の四十女が受取りに來たので有無を云はさず引捕へ嚴重取調べの結果、同人は宮崎縣生れ市内霧島町六十四番地清キク(四一)といひ全く同人の仕業であることを白状したので取敢ず十五日檢察局に送つたなほ連累者ある見込で搜査中

コレラ船大連丸
けふ乘組員の健康診斷
異狀なき場合は解放する

コレラ患者の發生せる大汽上海、青島定期船大連丸はその後寺兒溝檢疫所前の沖合に五日間の停船を命ぜられてゐたが、漸く十五日一廳海務局の手によつて乘組員一同の健康診斷が行はれ異狀なき場合は解放される事となつた

南部大連斷水 大連民政署では櫻花臺、向陽臺以南靜ケ浦に至る一圓にわたり水道鐵管連絡工事のため十七日午後八時から翌朝七時まで斷水すると

支那書畫展 市内奧町衞中華基督教青年會では十四日から三日間にわたり第一回書畫展覽會を開催中だが出品者は書家を以て聞える陳雋勤氏のほか山水畫家の厄雲旋氏、玉秋泉氏、孫勝二氏を初め王石泉の書畫冊、闞亭房の百壽圖をも出品され一般の來觀を歡迎してゐる

獵天狗連の活舞臺ひらく
けふから禁獵解かる
緣起の初獵は州内のシギ

滿洲の獵界は愈々今十五日から解禁された、大連、小崗子、沙河口の各警察には一週間ほど前から狩獵免狀下附願者が殺到してゐたが免狀も一齊十五日午前中に下附された ◇ 獵天狗の緣起ともいふかこの初獵には大部分が自慢の銃を擔いで獵場へ出懸けるこのごろの獲物は殆んど田鴫に限られてゐるが、獵天狗の話では州外が大洪水であつた關係上田鴫もそのつき場を失ひ州内の方へ休養地を求め殊に三十里堡、愛川村、大房身、金州、小鹽島、南關嶺、周水子、營城子、三澗堡といつた州内著名な獵場に翼を休め初めたとのこと ◇ これで州内に於ける初獵の獲物は鴫に豐獵だらうとあるから十八日の日曜日には手ぐすね引いて待ちあぐんでゐた大小天狗連の出獵で各獵場は賑はは

水害に襲はれ妻子は赤痢に
『身の置きどころもない』と 沙河口署へ保護願

十四日の水害のため家を奪はれ身の置き處にも窮して居る沙河口元町百九十七番地十一戸のうちにこれはまた憐れな話がある、福田彌吉は九歲、六歲、四歲と三人の子供を抱へて居るが本月八日に妻チヨ(三〇)は赤痢に罹つて目下慈惠病院に入院中であり、自分は毎日漬物行商をして歩いて細々と暮しを立てゝゐた折りもをり水害に遭ひ剩さへ十四日四歲になる末子ミヨもまた赤痢に罹りその爲め傳染病の家として避難先でも嫌がられ十四日夜は慈惠病院に於て一夜を明かしたほどで身の置きどころもないから世話してくれと十五日沙河口署に泣きついて來た

女給にお灸
主人も側杖

カフエーの風紀問題八釜しくなり大連署の取締嚴重なるにも拘らず信濃町九五カフエーギンネコの女給君子こと野崎ミサ子(一七)は十一日午前二時四十五分ごろ開放せる二階で他客の迷惑は勿論、公衆の安眠妨害をも顧みず高聲で淫猥な歌を唄つてゐるを警邏中の松巡査に發見され告發されて十五日ミサ子は科料二圓カフエー主驚海は同三圓に處せられた

演藝館の樂士一齊に退館す
裏面的原因はトーキー出現で
對館主との感情爆發

發聲映畫及びエレクトラ伴奏の流行と共に陰慘な樂士の失業問題は東京邦樂座を第一に全日本より朝鮮にまでも及ぶ有樣であつたが、突如大連にも其の火の手をあげ、高等演藝館樂士のストライキ的行爲を見るに至つた。表面的原因は去る七日松岡滿鐵副總裁の離連に際して

音樂入りて 氏を送つたとから演藝館の開館が約一時半遲れる爲め館が非常な損害を被つたとて小田秀澄支配人は樂長中村玉次郎を呼寄せその責任をせめたところ、中村は一言の詫をも云はず傭ふ人間と傭はれる人間は相對づくだと、部下の樂士六名をさそつて即日退館してしまつた、當時演藝館はマキノのトーキー上映中であり又他の館員中にも樂器を奏で得るものがあるので二名の臨時傭を入れて興行を續けたのであつたしかし其の

裏面的原因 はエレクトラ及びトーキーの出現により樂士對館主の間に面白からぬ感情のあつた事によるのは否めない、この一演藝館の紛糾は大連全映畫館に及び尚引續きゴタついてゐる、コに滑稽なのは中村と共に退館した六名の樂士が次々に館主に泣を入れて演藝館に歸つてしまつたことである

旅順戰跡憑弔會團體募集 若草山西本願寺では恒例により旅順戰跡憑弔會を來る十八日旅順に於て擧行するが、參加希望者は左記事項により至急西本願寺宛申込まれたいと ▲時日八月十八日(日曜日)午前七時半集合▲集合場所大連驛▲會費四圓(バス持參のものは二圓五十錢)▲中食持參の事

第三富久丸進水 大連甘井子間に就航する連灣輪船公司の第三富久丸は此程竣工したので十八日朝九時北大山通突堤海岸にて進水式を行ふと

困つた寺守
檀家が旅費を添へ説諭願ひ

市外馬欄河口大德寺附屬觀音寺々守山本戸市(五〇)は以前漁師であつた當時結氷期に到つて衣食に窮して居た處を大德寺住職高比良光儞師に扶けられ觀音寺の寺守となつたのであるが、同人は元來酒癖惡く曾て旅芝居の群に居た事あり、性來粗暴なため信者連からも嫌はれ一ケ月前同寺を出てくれと言はれて日本刀を振り廻す等手もつけられぬ有樣に此程檀家連相談して本人が郷里宮崎縣へ歸る樣説諭してくれと旅費を添へて十五日沙河口署へ願出た

海草中學大捷
一〇A—一で 對應應商工戰

【大阪十五日發電】慶應商工對海草中學野球試合は慶應先攻にて十五日午前九時開戰十A對一にて海草中學の大勝に歸した、閉戰十一時七分、バツテリー慶應商工新妻黑崎、海草中學西山、山脇

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
慶應	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
海草	3	2	0	1	4	0	0	0	A	10A

平壤中學敗る
三A對零で平安中學に

【大阪十五日發電】平壤中學對平安中學野球試合は平壤先攻にて正午より開始され三A對零にて平安中學の勝利に歸した閉戰二時十五分バツテリー平壤內田兒玉、平安伊藤兒中川

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
平壤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平安	0	0	2	1	0	0	0	0	A	3A

◇……新義州附近の部落で仲の惡い鮮人夫婦が友人の法要に行き飲酒して喧嘩を始め家に歸つて棍棒で妻を毆り殺したまゝ姿を晦ました【安東】

◇……東北大學工廠裡の御花園といふ支那部落に最近頭が眞四角で長さ八尺餘の大蛇が現はれたといふので、同村の支那人一同は何かの瑞祥であると三拜九拜大蛇が現はれたのは事實かどうか判らぬがその噂でも三拜九拜の禮を行ふのは迷信の強い支那人にありそうなこと【奉天發】

けふドイツ出發のZ伯號

夕涼み 探偵綺譚【九】
毒刃に仆れた邦人夫婦に 三の數字が附纏ふ
滿鐵本社裏の兇行

支那人の毒手に慘殺されたものに當時滿鐵本社裏手にあつた雜貨商西口酒保の主人西口喜一郎(三〇)夫婦の遭難がある。四十三年十二月十三日の宵、主人は內縁の妻小野タケヲ(二〇)と晩食の最中突然入口の戸を押し開け侵入した三名の支那人兇漢が、切庖丁や手斧を振つて西口夫婦に斬り付けた

氣丈のタケヲは頭部數個所の重傷に全身鮮血を浴びながら、それでも夫の身の上を氣遣ふの餘り兇漢の振り下す兇刃の下をかい潜つて戸外へ駈出し、一丁程距つた滿鐵貯炭主任滲川雅光方に駈付け、夫の危急を訴へて救助を乞ふと同時に其場に打倒れ人事不省となつた ◇ ◇ 滲川氏が驚愕し急報に接して西口方へ駈付けた時は既に遲し賊は金品を掠奪して逃亡した後で、西口は全身に無數の重傷を負ひ、戸外の畑中に血潮に浮いて既に全く絶命してゐた。タケヲは直に近藤病院に擔ぎ込まれ、辛うじて漸く一命丈けは取留めた。加害者等は暫時を經て大連と復州で三名共逮捕された ◇ ◇ この事件には不思議な因縁ばなしが附纏してゐた。夫婦が遭難の二日前、西口は過つて飯碗を三個まで取落して割り、赤妻のタケヲは同じ夜同じく茶碗三個を割つたといふ妙な夢を見た。而も其翌夜は店の品物價格四十餘圓を何者かに窃取された。 ◇ ◇ だが、夫婦は未だ恐るべき死神のかぐろき手が已れらの頭上に低く垂れてゐるとは氣付かず、夢にも事實にも「三の數字」が附纏ふから、今度の彩票は三か六かの番號を買つて見たいなど他に話してゐたさうであるが、同じ數字の「十三日」の夜右の兇變に遭つた。因縁事の前兆だつたのだらう、と當時の大連市人に囁き交はされたものであつた。

不當貸付暴露して滿銀行員七名解雇さる

更に某不祥事件近く暴露せん　成行きを重大視さる

五品錢鈔合併問題の餘波として最近滿洲銀行々員の不當貸付事件が暴露し數名の馘首者を出した、事件の內容を探聞するに株式仲買人高山某は五品錢鈔合併問題を材料に五品株を買占めたが、今後合併不成立と共に相場は暴落し少なからぬ損害を蒙つたが、某株店では損害の補塡をなすべく、滿銀監理係湯川某、預金係山下、押原某等を待合その他に招じて饗應なしこれを買收したもの〻如く、その爲め預金帳尻にカブリがあるに拘らず、他人の口座を巧に利用して約一萬圓近くの不當貸付を行つたことが最近に至つて發覺、直に前記湯川、山下、押原外二名の行員は馘首されるに至つたものである、なほ右事件と相前後し、宗吉商店に絡まる數萬圓の不當貸付事件も發覺し須藤、濱田兩監理係も馘首された事實あり、この外故兵頭支配人時代に起つた某重大事件に絡んで大株主中にはこれを表面化さんとして意氣捲いてゐるものもあり、某事件が世上に暴露せば當然某氏の身邊にも及ぶ模樣で成行きは非常に重大視されてゐる

行員の馘首は事實である

銀行の損害は三千圓程度　高橋滿銀常務語る

某株式店に對する行員の不當貸付事件に就き滿銀高橋常務は語る目下整理中のものであるから事件の內容は御話出來ないがこの事件に關して行員を馘首したことは事實だ、何分只今先方と交涉中にて當行としては出來得る限り損害を輕からしめるやう努めてゐるから實損は三千圓程度で濟むであらう、なほ先方に誠意がなければ相當問題にする考へである

不況を脱せぬ滿洲經濟界

十五日の鮮銀總會　加藤總裁の演說

【東京特電十五日發】朝鮮銀行定時株主總會は十五日午後一時から東京本部で開會し今期配當四分据置きを承認、同一時二十分無事終了した、その席上に於ける加藤鮮銀總裁の演說中支那滿洲、露領關係の分は左の如し

滿洲に於ける特產界は昨年の豐作を受けしに拘らず東三省官銀號の買占めの影響を蒙り一般に高値を呼び殊に大連に於ける**油房界は**之が爲めに絕えず原料高に惱まされ極度の不振を告げ從つて當季中大連港に於ける特產物の輸出高は百九十三萬噸となり前年同季に比し十萬噸以上の減退を示すに至れり。次に輸入方面に於ては季初新關稅實施見越しにて取引稍殷賑の狀を呈したるも見越輸入一段落と共に閑散に赴き殊に奉票の大暴落、輸出入稅の增徵等により邦商對華商の取引不圓滑なりしに加へ、一般の購買力自然減退せしより輸入品市場は概して不振なるを免れざりしが如くなるも**北滿地方**に於ける支那移民の激增により綿絲布、雜貨、農具、金物類等の賣需相當の額に上れり。斯くて大連港に於ける本年一月より五月迄の主要貿易品は輸出一億一千六百十六萬兩輸入五千三百八十五萬兩に達し之を前年同期間に比すれば輸出に於て六分、輸入に於て五割四分各增加を示し居れり。されど滿洲の一般斯界は相變らず沈滯不振の裡に終始し、事業界の如きは當季中の新設增資會社五十三、此の資本一千九百七萬圓を計上し稍好轉の兆を示すが如くなるも右の內特別の使命を以て設立せられたる大連農事株式會社外二三を除けば他は何れも合資合名組織による小會社のみにて殆ど擧示するに足らず。斯くて**一般金融**は引續き緩慢の狀勢を辿り二月中內地各銀行の預金利下に順應して邦人側主要銀行は夫々利下を決行せしも其後依然として預金增の傾向を持續し當季を經過せり、要するに滿洲の經濟界は今尙ほ不況の域を脱せざるのみならず邦人側の萎靡沈滯甚だしきものあるは遺憾に堪へざる所なり。而も滿洲は支那南方政府と諸外國との關係倍々複雜となり殊に最近北滿に於ける支那側の積極的行動により遂に露支國交斷絕の狀態に陷り其の推移如何は最も注意を要する次第となれるが此際我國としては愼重の態度を採ると共に倍々經濟的の勢力を扶植し以て彼我の向上發展に資すべきものと考ふ。支那に於ては國民政府の基礎漸く鞏固となり日支交涉上の難關たる濟南事件も解決せらる〻に至りしかと各地に不當課稅問題あり**排日貨は**尙終熄せざりし爲め引續き輸出入貿易を阻害し爲替金融市場亦此等の影響を蒙り甚だ不振の狀を呈したり。次に露領方面の狀況を觀るに漁業にありては漁區の競賣上に面白からざる問題を生じ又森林伐採事業は利權契約に不備の點あり一時停頓の狀にあるも北樺太に於ける石油及石炭兩會社の事業は益々良好の業績を收め他面日露貿易は近年著るしく進展しつ〻あると共に浦鹽港に於ける北滿雜穀の通過貿易は相變らず旺にして本年一月より五月迄の輸出高は七十三萬五千噸を算しつ〻あり。朝鮮滿洲其他に於ける經濟界の近狀は前述の如し。此間當行は內外の大勢に順應して業務の發展を企圖し一面極力**行內經費**の節約を圖ると共に着々整理の實を擧げたる結果所期の成績を收め得たるは幸慶とする所なり。仍つて當行は引續き業務の整理改善に努め尙鮮滿等の財界に處して適切なる施設を試み以て其の任務を完ふせんことを期すべし各位幸ひに之を諒せられんことを望む

產地相場爆發に麻袋は强調

ジユート工場罷業と旗賣り筋の煎上げ

大連麻袋市場は今春產地相場が兎角軟弱にてともすれば落調を辿る傾向あり、更に產地黃麻の作柄も案外良好に趨移せるため不冴への商狀にあつたが最近に至りカルカツタ地方即ちベンゴール州におけるジユート工場の從業員同盟罷業が惡化したため產地相場の昂騰をみつ〻あつたが、突如十四日產地情報はカルカツタ直積鐵筋麻袋四十一留比四分の一と一躍一留比半方の暴騰を報じ十五日朝更に青筋直積四十七留比八分の三鐵筋直積四十三留比四分の一と各二留比高と續騰を入れたので當市も現物氣配三十九錢十二月限三十五錢と强調を示した、今回の產地相場爆發は例のジユート工場職工の罷業にもよるが、その後特に大なる變化を來した模樣なく現在操業休止にあるものは約二百七千錘に過ぎず

混般の爆發相場は寧ろカルカツタ方面の東洋向旗賣筋が昨今の情勢非なりとみて俄かに崩れ出したので市況が頓に硬化し遂に斯る高値を現出したもので旗埋め一巡後は相場も再び平調に復すべしとみられ

殊に當市は買滿腹の折柄華商筋に買氣無く一方輸入筋にありては高値には尙賣あびせんとする向あり、產地相場に追隨し得ず僅に多期共二三厘方の漸騰步調に止まり觸合に落着を示してゐる

回收不能に陷た遼陽輸組の貸付

一萬數千圓に及ぶ　各地輸組にも發生

滿洲各地に輸入組合が設立されてから一ケ年半を經過し、各地組合では相當貸出に手を擴げてゐるが最近遼陽輸入組合における一萬數千圓の回收不能が現れ、過日來…

…査不備等が原因してゐる模樣である、尙ほ此外安東、撫順、營口等にも斯る事實があり各地輸入組合とも對策に腐心して居る

逆送貨物初めて到着

十四日廿八車

獨逸から生れた金融組合の發達

朝鮮を規範として設立した

◇……大連會屯金融組合（上）

（圖體めぐり）

◇ドイツのライン河に沿つたノイビードと云ふ所から、徒步で一時間程登ると、ウエスタンワルドの高原がある、その高原の上にアウバウゼンといふ小さい村がある、今から五六十年位前までは此の村の百姓は新しい農具の一つも家畜の一匹も持たずして之等のものは皆高利貸の擔保となつて居た、元來が貧農ばかりの村であるから十英町位の土地を持つて居るのが大農の方で、他の百姓は極めて少しばかりの土地を持つて居るに過ぎなかつた、そして村民は自暴自棄になつて酒と賭博とに耽つて亂暴となり、毎日喧嘩ばかりして暮し、將來に對して何等の希望も光明も無く暮して居つた。

◇所がその村が今日では田地は充分に耕され、百姓は皆富者となつて、納屋や倉には一杯の食料が貯藏せられて、村には立派な教會堂や會館が立ち、公園が出來、學校が出來、病院も出來、村民の住宅も驚く程美しくなつた、そして村民の暮しは樂になつて耕作には最新式の農具やい〻肥料が使はれるやうになつて來たのである、それで村民の人情は純朴となり、禮儀正しくなつて、愉快と平和の裡に暮してゐる。

◇これは實に一八六二年ライフアイゼン氏がこの村に金融組合を作つたからである、又これより少し前やはりドイツのハレル市近くの町にシユルツエ氏が一つの金融組合を創めたのであるが、この二の小さい金融組合が今日世界の隅々に迄行き渡つて居る金融組合の起源であつて、日本の產業組合法も此のラ式及びシ式の二つの金融組合の制度を基礎とつたものであつて、現在朝鮮に普及してゐる金融組合も亦、日本の此の法律に基いて設立されたもので…

安田銀行總會

森副頭取流言を否認す

滿洲銀行總會

天津大沽間艀船會社

着々準備進む

錢鈔重役會

支配人設置否決

手形交換高（十五日）

黃塵

市況

特產　買氣一服に三品軟調

錢鈔　材料區々に銀弱保合

株式　買氣擡頭し五品昂騰

商品　前場

市場電報

奧地市況（十五日）

上海爲替情報

爲替相場

平安異香(81)

葉多默太郎作　一彌畫

中

獄中記(四)

鑿の嘴で土を掘るといふのは手で掘るよりましだといふばかりで、容易に捗どりさうにもないのは當然だつた。

一日かゝつて漸く一寸ばかり深くなつたと思ふくらゐの日があると、次には石につきあたつて、それを剝りとるのに三四日もかゝることがある。さうかと思ふと、ふとやはらかな疎砂になつて、二尺三尺と面白いやうに掘抜ける日も稀にはあつた。そんな時の春光の歡喜は譬ふべくもない。はら〳〵と目に溢れて落つる涙を拭ひ拭ひ狂人のやうに掘續けるのだつた。

かうして掘とつた土砂は、一まづ寢臺の下に掻き出しておいて、夜になると穴牢の奧の方へ運んで床のやうに塗り固めた。

この滿盛の土牢といはれた牢獄は、鉢を並べたやうな屛風岩に圍まれた鉢の底のやうな幽谷で、一日の中わづか半時ばかりの間、一筋の陽光が火柱のやうに立つのが、こゝに住むものゝ見られる光の全てゞ、常に陰暗寂寞、地の底のやうな世界だつた。そして牢といふのが、奧深く横にのびた洞窟だから、番人が格子にしがみついて覗いても、一間ばかり奧の寢臺の藁が闇中の影のやうに漸白く見えるくらゐのもので、それより奧へは目が屆かない。

で、穴牢の奧の一間か一間半ばかりを埋盡すだけの土は掘出せるわけだが、それではなほ外部へ通ずることが出來ず、天來の救ひもないとすれば、春光の血の膏を沸すやうな努力も、遂には水泡になるわけだ。

だが、やつてみる他はない。

春光は掘續けた。一日二度の飯時に寢床にかへつて、藁人形と入れかはつて牢番を待つほかは一日中穴にもぐつて土鼠のやうな勞役を續けた。穴は既に二間ばかりになつてゐる——。

それは穴を掘り始めてたしか十四日目の日だつた。

その日春光は一つの石に行きついた。

が、前例もあるので、剝り出すつもりで大きさを調べにかゝつたのだが、その石は今までのやうなものでなく、屛風のやうに行手を塞いだ大岩らしいのだつた。

春光は失望した。岩をも徹す氣力はあるが、悲しいかな唯一つの頼みの得物は鐵ではない。

闇の中で、春光は磨り減らされて殘り少くなつた鑿の嘴を撫で悄然とした。そして、既に掘抜いた二間の穴を振返つた。

無駄な努力の跡を顧みるのは悲しいに違ひない。だが少時の時には、再び春光は勞役を始めてゐた。

岩の右の方を掘つてみた。

上の方、下の方——何處かに活路を見つけやうと一心不亂になつてゐた。

口は絶えず、佛者の名號を唱へるやうに、

「幸のために、幸のために——我が愛のために、愛のために」

呟き續けてゐるのだつた。

痛ましいといふよりもむしろ怖ろしい苦役だ。怖ろしい人間の一心だ。力だ——

と、不意に、狂人のやうになつてゐた春光が、ハッとなつたやうに手を止めた。

「をかしい……」

鑿の嘴を帶に挾んで、手に屛風のやうな岩の面を撫てみる。

「いや、そんな筈があるものか、この岩が動くなどと。だが、そんな氣がしたが——氣の迷ひといふものだらう」

こゝろみに、平手で岩の面を打つてみると、その響きに何か洞窟な音がある。

春光はまた考へこんだ。

「をかしい……」

この岩の向ふが天然の洞窟にでもなつてゐるのかも知れない——

それだと油斷は出來ない。崩れ落ちでもすると生埋だ。

で、春光、足を踏んだ所へ體けて、いざとなれば體を喰ひ止めるだけの用意をしながら、ウムと力を籠めて押した。

と、グラッと搖るいだ大岩石——同時に、長くなつてゐた春光がダッと土砂をかぶつてしまつた。

映畫と演藝

國民の大讀本 國聖大日蓮 明日より上映

明十六日より三日間、大連劇場に於て報國會主催、大連日蓮宗各派後援の下に報國會作品の映畫「國聖大日蓮」が上映されるが、此の映畫には報國の一念に燃ゆる京都常寂光院住職權僧正長尾榮進師が特に大聖日蓮となつて出演し、監督は映畫界の巨頭古海卓二氏が當つて居る承文の下剋上をプロローグして軍馬の嘶き剣戟の閃き、殺陣又殺陣、化粧坂の舞姫、扇谷の闇夜に若人の戀き幽鬱の下に蠢く美女の影、斬奸狀の飛來、呪咀の聲、義膽火を吐く烈士の兄弟。百鬼夜行する鎌倉時代、國光墜ちて國難來の時突如立つて茲に新思想の叫びを上げた人間日蓮の物語で思想國難に處する日本國民の大讀本である

演藝茶話 俳優の墓

「世界の戀人」ルドルフ、ヴアレンチノ逝いて三年生前全世界の子女を惱殺しその死は幾萬の美女の紅涙を絞らしめた彼も今はホリーウッドの墓地に冷たく永遠に眠つてゐる。彼の遺骨は他のものと同じやうに何の變哲もない地下の納骨所に納められてあつてたゞ「ルドルフ、ガグリエリミ、ヴアレンチノ一八九五—一九二六」の文字も悲しく刻まれた眞鍮の板のみが彼の在りし日を忍ぶよすがゝとなるだけである。ところがこの何の奇もない納骨所を訪れるものは今日に至るも跡を絶たない。無論彼の崇拜者だけでなく大部分は好奇心からの參拜者であらうが、兎に角今日迄既に二十萬人からの人が此の納骨所を訪れてゐる。

此の墓の管理者ジエー、エフ、フイリップス氏の談によると此の同じ納骨堂には有名な女優バーバラ、ラ、マール孃の納骨所もあつてヴアレンチノの墓に劣らず多數の人が毎日訪れて來るさうである

因に此の同じ墓地には現存してゐる米國映畫界の明星マリオン、デヴイス孃の素晴らしい白大理石の納骨堂も既に竣工されてゐる。此の納骨堂は經費十六萬圓を要し十二の納骨所が設けられてあつてその重い眞鍮の扉にはデヴイス孃の本名ダウラスの文字が手際よく刻まれてゐるさうだ。

河部五郎が又映畫に出演

日活を退社して木内興行部專屬となつた河部は、目下横濱喜樂座で開演中で、この暑熱にも拘らず連日大入の好成績を擧げてゐるが、來る廿日を打上げに愈々映畫製作に着手する事になつたが相手女優には既に某スターとの間に契約成立し、目下シナリオの整理中だが第一回作品は新進大衆作家金子洋文氏の作品から選び第二回作品は俠客物を撮影する事になつてゐるといふ

牧水全集

わが日本のみが生み得る、眞に日本的な文學の精華として先づ第一に擧ぐべきは牧水の作品だ。その自然を歌ふや全くこれと融合して自然そのものゝ聲となり、人事を歌へば人間性そのものゝ流露となり、常に自由にして淸新、萬人に愛誦されつゝあるまことに氏の短歌こそは人麿、西行、芭蕉等の作と共にわが純粹の民族詩の最高峰として讃仰さるべきだ。而してその飄々乎として旅に出づるや常に比類なき紀行文を物し脱俗の風格行文の妙、神品とさへ稱せられた。氏はまた傑れたる童謠作家であり、詩人であり、小說家としての手腕も侮るべからざるものがあつた。殊に氏の書簡の輕妙洒脱にしてしかも眞情溢るゝところは眞に天下一品、たれの追隨をも許さない。その全作品を網羅して餘すところなき本全集を手にする者は必ずや、日本語を語る國民の一人として生れたことを謳歌するであらう。牧水はたゞ單に傑れたる藝術家であつたのみならず、また稀に見る高風の人格者であつた。本全集には到るところに其風格の豐けさが漂ひ輝いてをる。騷然たる現代に本全集を送り得ることは本社の欣快とするところだ。

第一回配本（第三巻）堂々六百八拾頁
歌集（三）
目下配本中

牧水全集をすゝむ　島崎藤村

最早詩歌の世界に於ける堅い障壁がとりのぞかれてもいゝ頃ではなからうか。近代に於る日本詩歌の精神がいかに樹立されたかといふ見地からは、歌人としての若山牧水が遺した仕事も、新しい俳人としての正岡子規が遺した仕事も、新しい詩人としての蒲原有明君等の今日までの仕事でさへも、同じ高さの標準のもとに探求されてもいゝ頃ではなからうか。その意味から言つて、私の牧水全集十二巻の出版を祝し、この全集が吾國の文學史上にかなり重要な位置を占めることを言つて置きたい。

編輯顧問　北原白秋　平賀春郊　窪田空穗　佐藤緑葉　土岐善麿
編輯校訂　若山喜志子　大悟法利雄

全十二巻
1 歌集（一）二〇二六首　2 歌集（二）二二二九首　3 歌集（三）二七三九首　4 紀行文　5 紀行文・小説　6 隨筆・小品
7 隨筆・長詩・童謠　8 歌論・歌話　9 雜篇　10 書簡（夫人喜志子宛）　11 書簡　12 書簡・日記・年譜

一冊 壹圓五拾錢　內容見本進呈　締切 八月三十一日　四六判 六百頁度

新選名作集（好評嘖々）

各冊定價壹圓　送料各二十錢

新選 里見弴集

友達の見舞、河岸のかへり、勝負、箱根行、題のない小說、女校長、妻を買ふ經驗、失はれた原稿、三人の弟子、恐ろしき結婚、ひえもんとり、或る年の初夏に、不良少年、幸福人、不幸な偶然、朴の咲く頃、多札、大火、叱る、一日の出來事、刑事の家、病床記、子ごろし、最後の一つ手前のもの、けむり、慾、雪の夜話、彼と小猿、蜜蜂、夜桜、潮風、甘酒、尾行、短紙刀、鵜、暗い夜空、ムスタ武道閑、襟り達磨、百年の戀、雨に咲く花、大臣の實家、不貞、夢みたいな話、流浪、鮒やり、小蒸君、川はまり。（七二〇頁）

新選島崎藤村集 五二三頁　新選西條八十集 五三四頁

新選室生犀星集　新選久米正雄集　新選吉田絃二郎集　新選北原白秋集（詩歌篇）　新選北原白秋集（散文篇）
新選前田河廣一郎集　新選前田河廣一郎集（續篇）　新選山本有三集　新選横光利一集　新選菊池寛集
新選谷崎潤一郎集　新選永井荷風集　新選藤森成吉集　新選長田幹彦集　新選武者小路實篤集
新選小山内薫集　新選久保田万太郎集　新選宇野浩二集　新選近松秋江集　新選岡本綺堂集
新選葉山嘉樹集　新選森鷗外集　新選夏目漱石集　新選豐島與志雄集　新選相馬泰三集

奇談全集

田中貢太郎著　現代篇　歴史篇（各冊價壹圓五十錢　送料廿錢）

發行所　東京芝區愛宕下町　振替東京八四〇二　電話芝(43)二二二二　改造社

少女畫報

一流画家作家競作号　9月号

少女詩畫集

素晴らしいオフセット色刷り！一流畫家作家競作の大饗宴！新秋に異彩を放つ大特輯！

○おどる小鬼……○揺るゝ月影……○風によりて……○僧院の月……

明月畫譜・高畠華宵

水の女王 秀子さん物語

見よ日本の生んだ世界的女流水泳選手、高畑秀子さんの生ひ立ち物語 驚歎すべき天才少女！今やハワイにおける彼女の活躍は世界注視の的

回 六大連載長篇　大衆自熱！一粒選りの名篇力作揃ひ！　畫
回 五大特別讀物　興味津々！新秋の大特輯讀物揃ひ！　報

トテモ美しい先生の口繪、鮮明無比のグラビア版十數頁、その他趣向多數 眞に充實無比。

定價五十錢・送料二錢　全國各地の書店にあり　東京社

唐詩選詳解講義

池田蘆洲講述（第七版）　三五判洋布裝　紙數八七〇頁　●正價貳圓五拾錢　●送料十八錢

綠陰に甘泉を汲むが如き境地に陶醉し得るのは唐詩に親む者の悅びである。御學者にて、この詩境を玩味し字義曲故にも通曉し得らるゝやう懇切に講述し篇々斬新なる評釋を加へ列傳體作家索引を附せる等讀者の鑑賞を覗ふべきもの多く、また唐代地圖を添へて參照に便してゐる。

菜根譚詳解講義

文學博士 久保天隨講述（第九版）　三五判洋布製　紙數五六〇頁　●正價壹圓八拾錢　●送料十八錢

菜根譚は幾度讀んでも倦む所を知らない。講讀すべき簡潔なる文章を以て辛辣に諷刺する所あり懇切に警醒する所あつて處世の妙諦を說き宇宙の玄理を述べてゐる。この原文を文義、字解和譯、餘論の各項に分けて平易に解釋したるものなれば何人にも興味深く味ふことが出來る。

東京神田小川町　金刺芳流堂

小兒科 內科　入院應需
大連市吉野町三番地
桐原医院
電話四二一九一

一、資本金 二百萬圓（拂込濟）
大連市西通
株式會社 大連商業銀行
電話
一般銀行業務確實に御取扱可申候

トリスソース

一とロに申せば どつしりとコクのあるところが このソースのウマ味の出どころ

濃い うまい

よく振つてから かけますと眞のウマ味がしんみりと舌ににじんでひろごります

代理店　株式會社祭原商店

キリンビール

最古の歴史　最新の設備　最上の品質

淸涼飲料
キリンレモン
シトロン　サイダー

麒麟麥酒株式會社

御客様本位　十ヶ月月賦

エレクトラ装置 ジユラツシア蓄音器

（絶對御申込と同時に現品先渡致します 第一回金御拂）

連鎖申込所

大連浪速町角　榮商會　電話八三九〇番

茶代廢止大勉強

部屋代の部（一圓以上）
二食付宿泊料の部（三圓以上）
普通學生團體の部（二食付二圓）
御食事は至極淸鮮の物を特に選び差上ます

大連信濃町
東旅館　電話四六四六番
富士屋旅館　電話五二八六番

廣告部電話番號變更

今回左の通り變更致しました
三六九五番
四四九一番
滿洲日報社廣告部

型錄贈呈

賞牌、勳章　優勝メダル　記念メダル　表彰メダル　記章、襟章　七寶徽章　像旗マーク　ネームプレート　琺瑯標札　金銀細工　御大典記念品　特價謹製

大連市山縣通六十三番地
金華號本店
電話七九四〇六番・振替大連一五九八番

大連市大山通　滿書堂書籍部

最新刊

- 笠井誠三郎著 花療寶典 實價三圓六十錢送料四錢
- 曲亭馬琴作 和田萬吉校訂 胡蝶物語 實價四十二錢送料四錢
- ハウプトマン作 城田皓一譯 希臘の春 實價二十一錢送料四錢
- エンゲルス著 佐野文夫譯 フオイエルバツハ論 實價二十一錢送料四錢
- アルツイバーシエフ作 中村白葉譯 サーニン 上卷 實價六十三錢送料四錢
- スチルネル著 草間平作譯 唯一者とその所有 實價四十二錢送料四錢
- 室井きく子著 母性愛日記 實價一圓六十九錢送料十錢
- 産業勞働調査所著 支那に於ける最近の農民運動と農業問題 實價八十四錢送料六錢
- 金教煥著 朝鮮民謠集 實價二圓六十二錢送料十錢
- 濱田ひろすけ著 廣介童話讀本 實價一圓八十九錢送料十錢
- 吉本俊二著 法制要論 實價五圓四錢送料二十錢
- 笹原正志著 銀行通釋 實價四圓五十一錢送料十八錢
- 東佐與子著 料理篇（嫁入叢書） 實價一圓五十七錢送料十錢
- 牛山充譯 ピアノ演奏法 實價三圓十五錢送料十二錢
- 大谷光瑞著 帝國之前途 實價六十三錢送料四錢
- 東一條省一著 文檢物理化學研究の爲めに 實價二圓六十二錢送料十二錢
- 今成覺禪著 神の宣言 實價一圓二十六錢送料八錢
- 原田三夫著 子供の科學 月・太陽・地球 實價一圓九錢送料八錢

大連市浪速町　大阪屋號書店

最新刊

- 上田恭輔著 支那陶磁の時代的研究 實價三圓六十七錢送料十二錢
- 永木精著 日本數學史 實價五圓四錢送料二十錢
- 早大出版 稻田教授講演集 實價四圓七十二錢送料十四錢
- 山名壽雄著 有機化學概論 實價二圓九十四錢送料十四錢
- 久保虎賀壽著 判斷論 實價二圓七十三錢送料十四錢
- 岡本瓊二著 明治大正思想史 實價二圓九十四錢送料十八錢
- 水野正治著 栽培花卉と葉花 實價四圓七十二錢送料二十錢
- 谷野久吉著 分析化學表彙 實價三圓五十七錢送料十四錢
- 佐藤利恭著 無軌道式電車 實價三圓九十九錢送料十二錢
- 支那學社著 支那學 第四卷 實價三圓七十七錢送料二十錢
- 山田正二著 民事訴訟法 第三冊 實價一圓五十七錢送料十錢
- 永井潛著 性の生理 實價一圓五十七錢送料八錢
- 伊藤政治著 高等數學入門 實價三圓三十六錢送料十錢
- 村島歸之著 善き隣人 實價一圓五十七錢送料十錢
- 佐々木美津三著 右門捕物帖 實價一圓六十九錢送料十錢
- 栗田茂五郎著 國民道德眞義 實價二圓四十二錢送料八錢
- 佐々木荒能著 玉突百にまでなる 實價一圓二十六錢送料四錢
- 楠山正雄著 ジヤングル物語 實價一圓五十七錢送料六錢
- 松山敏著 自然と人生の曲 實價一圓五錢送料四錢

満洲里の露支兩軍は遂に衝突し目下交戰中

(長春十五日發電)満洲里に於て露支兩軍衝突して目下交戰中である

支那側代表空しく満洲里を引揚ぐ

=十四日午後五時半=

ロシア側は依然主張を枉ず

【満洲里特電十四日發】ロシア側の態度強硬に支那側代表朱紹陽、蔡運升、李紹庚氏等一行は空しく十四日午後五時半満洲里を引揚げた、今後露支兩國の交渉は果して如何に進展せんとするか成行は大いに注目されてゐるが、ロシア側の主張は非常に強硬で支那側が譲歩せぬ限り依然として交渉は不調に終らうとみられてゐる

今後奉露間で折衝

朱代表は兩三日中歸寧

【奉天特電十五日發】朱、蔡兩代表對立の露支交渉は遂に物別れの形となり、兩氏ともハルビンに引揚げたが、勞農側は其後奉天派の温情的解決を希望し國民政府代表の朱紹陽氏との會見を避けてゐた模様で、今次の引揚の如きもロシア側が南京政府との交渉に應じ難しとの意を漏らしたことに原因するものゝ如く而して朱氏は兩三日中奉天經由歸寧する筈であるといふが、或は今後の折衝は露奉間において試されるものと觀られる

國民政府、朱代表に訓令

「誤解の生ぜぬやう努めよ」……と

【満洲里十四日發電】國民政府は朱紹陽氏に對し露支和平會議開催については南京、モスコー、東京、ベルリンの各地に於て協議進行しつゝあるを以て貴下はロシア代表と連絡を保ち露支兩軍間に誤解を生ぜしめぬよう努められ度しと訓令して來た由で支那代表は當分當地に滞在すると

和戰兩樣二段構へ

南京政府斷じて讓らず

【南京十五日發電】昨日總司令部で蔣介石主席以下南京政府最高幹部會議を開き對露問題を商議した結果、ロシアの要求する東鐵の原狀回復及び東鐵正副管理局長復活については飽くまで讓歩せず支那は既定方針に從つて外交部をして和平交渉せしむると共に軍備に遺憾なきを期し和戰兩樣二段構へで進むに決定した

南京の對露方針建直し

【南京十五日發電】十三日以來南京に謠言多く朱紹陽氏が監禁されたなど傳へられてゐるが、南京政府は過日の軍要會議にて今後の對露方針を建直すべく決心したるものゝ如く蔣介石氏は近く北平に赴き閻錫山、張學良等と會議をすることに決した、而して十四日午後露支抗爭問題に關する一切の新聞記事掲載を差止めた

奉寧關係微妙化す

【北平特電十四日發】勞農政府は南京政府が朱紹陽氏に代る代表を派遣しても依然これとの交渉を拒絶し奉天側との直接交渉を希望する態度が極めて明瞭になつた、奉天側も南京政府の干渉を忌避してゐるから、露奉交渉の可能性は充分あるが、たゞ南京側が折角の東支問題割込みの機會を甘んじて逸するか否かゞ疑問で、南京、奉天の關係は益々デリケートになるであらう

三巨頭の對露問題協議

【北平十五日發電】支那側消息に依れば蔣介石氏は露支問題紛糾し和平解決困難となれるため之が對策を協議すべく閻錫山、張學良氏に電報して共に北平に會し露支問題を商議したしと提議した

東鐵へ應援員

北寧鐵道から

【哈爾賓】東支鐵道のソウエート籍從業員が續々辭職するのでその補充として東北交通委員會は北寧鐵道の韓局長に命じ同鐵道從業員のうちから事務員、現業員、電信方及び鐵道技術員等約百名を東鐵へ派遣することにしたと

松、黒合流地點で勞農軍砲撃

支那側敵せず傍観

【吉林十四日發電】十三日朝多數の勞農軍は軍艦掩護のもとに黒龍江省中興鎭、兆興鎭、三間房(共に松、黒合流點附近)を砲撃之を占領して民家の掠奪をなし同日夕刻引揚げた、支那側は守備兵少く彼等のなすが儘に委したらしい

中國共産黨員が暴動隊組織

浙江系財閥を襲撃

【上海十三日發電】財政問題の行詰りと紛糾から蔣介石、宋子文兩氏の辭職說傳はるや、陳公博氏等を領袖とする中國共産黨は俄に暗中飛躍を開始し、ストライキの煽動位では生温いとなし、今後民衆煽動の外に直接行動を定めたと云はれ[illegible]その手始めとして約[illegible]動隊を組織し浙江[illegible]に闖入機械を破壊[illegible]隊を尻目にかけて[illegible]四散逃走した、國民政府と關係ある浙江省財閥系銀行會社は戰々兢々として厳重なる警戒を始め日本紡績其他の工場も警戒中である

治外法權撤廢を一方的に宣告か

第二次照會を拒否されれば明年一月から完全に

【北平十四日發電】有力なる方面の消息によれば支那政府は各國の治外法權撤廢反對の回答に接し直に反駁的第二次照會を發し、更に拒否されゝば最後の手段として來年一月より完全に治外法權を撤廢する旨一方的に宣告するに至らんと見られてゐる

首相の放送

廿八日決定

【東京十四日發電】濱口首相の政綱政策放送は首相の都合に依り延びくとなつてゐたが、二十八日午後七時二十五分より三十分間之を行ふことに決した

米國の反對理由

【北平十四日發電】治外法權撤廢反對の對支回答に於てアメリカは英米佛三國に比し一層強き反對の意を含ませて居る、支那が最も期待せるアメリカがかゝる態度に出でた直接原因は、最近のニユーヨークタイムス北平特派員アバンド驅逐事件、東鐵回收の非合法的手段にあること明瞭であるが、今時の回答に列記された反對理由は左の如くで各國ほゞ共通である

一、勸告中の諸法典未だ完備せぬ
二、司法官の地位薄弱で依然軍閥の勢力に左右されること
三、司法官の財政的獨立なきこと
四、近代式裁判所の施設未だ整はず又監獄の改善されざること

外人關係事件を支人同等に處理

南京行政院の命令

【南京十四日發電】國民政府は今回午後行政院に對し突如左の如き命令を發した

一、各地方外交事件は政府で處理す、地方政府直接の對外機關を設けるを禁ず
二、外人に對する事件は法令の制限あるものを除き支那人民と同等に處理すること
三、通商、貿易、土地契約、住居保護等外交に關せぬ外人事務は各地方政府に於て處理せしむ

佛國東洋艦隊

十九日大連入港

當地海務局への通報によれば佛國東洋艦隊砲艦ヤアーン號は十九日午前塘沽より重油積載のため來連すると、なほ繋留地は寺兒溝棧橋になるらしい

ポ氏經過良好

【パリー十四日發電】フランス前國務總理ポアンカレー氏は本日退院した、其後の經過頗る良好である、第二回目の手術は九月十七日に行ふと

満鐵理事に

十河氏有力

【東京十四日發電】満鐵の新理事として最近に復興局疑獄事件に連座して無罪となつた十河信二氏の就任が相當有力視されてゐる

外交後援會

哈爾賓に生る

【哈爾賓】奉天國民外交後援會主席關玉衡氏は十二日來哈十三日濱江商會に當地各法團代表を召集して當地における國民外交後援會組織に關し種々協議した

樞府、貴院方面に頗る好感を與ふ

朝鮮總督の後任こ濱口首相の肚の底

【東京十四日發電】植民地首腦者に對する濱口首相の黨籍離脱要求は樞府及び貴族院方面に非常な好感を與へた模様で、これは軈て行はるべき朝鮮總督後任銓衡に對し首相が如何なる意肚を有するやも窺ひ知らしむるものである、乃ち朝鮮總督には伊澤多喜男氏說が高かつたのであるが伊澤氏の如き黨臭強き人物は漸次其の實現性を失ひつゝあるものと見られ宇垣陸相の轉任說、齋藤顧問官の復活說、山本權兵衛若槻說、上原元帥說等の盛んに傳はりつゝあるは首相の總督後任銓衡方針の片鱗を反映するものと云はれてゐる

侍從御差遣

【東京十四日發電】天皇陛下には墜落慘死した小川少將以下乗組員八名の遭難を聞し召され十四日午後一時今村侍從武官を現場に御差遣現場を視察御慰問遊ばされた

勅使遺族を弔問す

【立川十四日發電】勅使今村侍從武官は十四日午後三時十三分立川飛行學校に到着將校集會所に於て殉職者の遺族に對し長き邊りの有難き御言葉を傳達し、御菓子料として金一封づゝを賜り直に別室に入り遺骸に向つて恭々しく弔問次で墜落飛行機の殘骸を視察し午後三時四十五分退去した

御菓子料下賜

【東京十四日發電】長き邊りでは殉職者に御菓子料御下賜の恩命があつた

飛機殉職者

進級叙勲

【東京十五日發電】十四日飛行機墜落慘死した小川少將以下に對し十四日附を以て十五日午前左の如く進級叙位の御沙汰を賜つた

任陸軍中將、叙從四位 陸軍少將正五位勲三等功五級 小川恒三郎
任陸軍少將、叙從四位 陸軍歩兵大佐正五位勲三等 藤岡萬藏
任陸軍航空兵中佐、叙從五位 陸軍航空兵少佐正六位勲四等 阿部菊一
同 陸軍航空兵中尉正七位 山本雄
同 長喜穗
任航空兵大尉、叙從六位(各通) 陸軍航空兵軍曹 青木達滅
任航空兵曹長 陸軍技手 齋藤伊次
賜三級俸

尚ほ十五日附を以て左の如く御沙汰があつた

任陸軍砲兵中佐、叙正六位 陸軍砲兵少佐從六位勲六等 深山龜三郎

鈴木參謀總長

僚機の慘事に急遽歸京す

【岐阜十四日發電】立川、各務ヶ原間の野外飛行に同乗の參謀總長鈴木壯六大將は十四日午前七時五十分軍爆撃機第七號にて出發、午前十時十五分各務ヶ原飛行第一聯隊に安着第三師團の山田大佐等の出迎へを受け將校集會所に入つたが、僚機百二號の慘事につき鈴木參謀總長は元氣の面持にて語る空中の氣流は非常に良かつた、僚機墜落の事は今聞いたばかりで詳細判明せず、目下電報で問合せ中である

なほ鈴木大將はこの慘事のため空中飛行を一時中止し十四日午後零時三十四分岐阜發特急にて歸京した

殉難者の光榮

【東京十四日發電】十四日立川に於て遭難せる小川少將以下に對しては同日附を以て特旨に依り各一級づゝ進級せしめられ又叙勲の御沙汰あるべき模様である

關係者通夜

【東京十四日發電】立川に於ける飛行殉難者の遺骸は十四日夕病院より飛行第五聯隊將校集會所に移され各關係者は同日通夜をなした

警務局長の後任

木下信氏を起用任命か

【東京十四日發電】關東廳警務局長藤岡兵一氏は満洲事件に關する責任上留任を許さぬ事情あるので太田長官は目下歐米より歸國の途にある元臺灣總督府交通局總長木下信氏を起用するに決し無電を以て交渉中なるが多分受諾するものと見られ拓相歸京後正式任命を見るはずである

・人事

▲工藤滝三氏(奉天醫大教授)十四日二十時半着列車にて來連ヤマトホテル投宿

安樂椅子

前黒龍江督軍故呉俊陞氏の遺骸は今まで奉天の小河沿に安置してあつたが▲同氏の遺族は今回本葬を營むため満鐵線により昌圖驛から故郷の興隆溝に移送せんとしたところ▲張學良氏は何故か呉氏の遺骸を満鐵線で輸送するのを好まず折角満鐵の手筈を極めてゐた遺族に對し費用は自辨するから遺骸の移送は京奉線から打通及び四洮線を經る順序で全部支那鐵道によるやうに要求したので遺族等はその徑路が餘りに迂廻し過ぎ満鐵線經由と比較して非常な日子を要するので勘からず迷惑を感じてゐるといふ。

社員が協力せねば何事も出來ない

今は總裁專制時代てはない

仙石満鐵新總裁訓示

【東京十五日發電】仙石總裁は事務引繼終了後社員一同に對し左の如く訓示をなした

私は曾て三十年間鐵道事務に關係したのであるが、元來自分の性質は何事に對しても之を離したる後、なほそれに氣を取られるのはせいぜい一週間位のもので二週間もたつとさらりと忘れる性分なので今は鐵道の事も殆んど忘れてしまつた、昔は總裁專制が何處でも行はれたものであるが、今はコーポレーションの時代で社員各自の力が一致しなければ何事も出來ないのであつて先に云つた如く自分は鐵道の事は忘れたけれども幸ひに諸君の力を綜合する役目は勤まるものと信じてゐるから此氣持をよく諒解して協力して其責任を果されんことを望む

大藏公望男なら異論はあるまい

【満鐵副總裁の後任銓衡】青木鐵道次官曰く

【東京十五日發電】青木鐵道次官は語る

松本烝治博士の副總裁は結構であるが、氏は收入の點から云ふも又民事訴訟法改正委員たる點より云ふも満鐵に迎へる事は少し無理であらうと思はれる、松本氏の外に適任者はあるが一寸それは云へない、大藏公望男あたりなら誰も非難はすまい

惜しき人々

小川少將は戰術戰略の權威で安部少佐は東洋趣味の快男子

【東京特電十四日發】殉職した小川少將は頭腦明晰、性沈厚、部下を遇するに極めて厚く、かつては參謀本部の作戰課長や庶務課長として令名あり戰略戰術の戰史において夙に名をなしてをり今回の移動に際し戰術戰略に最も關係深い第四部長に補せられ最も適任として期待されてゐた

將官級 の飛行機にする殉職は同少將を以て我國の嚆矢とする藤岡大佐は如才ない才物で小川少將直系の部下、小川少將の重厚に配するに同大佐の才氣煥發は好個の配合であると第四部の黄金時代を期待されてゐた、安部少佐は陸軍切つての交際家で大使館附武官としてアメリカにあつたときは自ら自動車を運轉し社交界に乗り込みダンスよし、義太夫もよし

長唄も 出來あつぱれ東洋出の花形としてヤンキーモボを啞然たらしめた快男子である、三山少佐は安部少佐と反對に硬派で對手が大臣だらうが次官だらうが論戰では少しも讓らず怪漢三山の綽名を冠せられ未來の砲兵監又は航空本部長と目されてゐた

深山少佐遂に絶命

きのふ午後二時

【東京十四日發電】重傷を負ふた深山少佐は立川衛戍病院で治療を受けて居たが頭蓋骨折の程度甚だしく午後二時遂に絶命した

佛國はラインの即時撤兵に反對

ア代表委員會で質問せん

【パリー十四日發電】賠償會議佛國代表ブリアン氏はライン撤兵に關する計畫案を十六日の專門委員會にて質問する目的を以て目下案を練りつゝあるが其の內容を仄聞するにブリアン氏はコブレンツ地域に關しては直に撤兵に同意すべきもマイエンツ地域に對しては來春早々まで撤兵を差し控へる事を要求するらしい之に對しドイツ代表は來る十月を以て撤兵を開始し來年一月を以て之を完了すべき事を主張する模様である

山本、松岡正副總裁在任中の業績(満鐵發表)

二、既存事業の擴充改廢

(イ)撫順炭の増産 比年增加する需要に應じ又擴張及新設せらるべき満鐵諸事業の需要を満すべく山本總裁は就任間もなく撫順炭の増産計畫を確定せられた、本増産計畫は近く其出炭年產額を一千萬噸に達せしめんとするのである、其計畫の內容は主力を露天掘の開發に注がむとするにあつて現に掘行中の古城子露天掘を擴張するの外四年度より出炭を始むる計畫の下に大山南坑及楊柏堡露天掘は既に昭和三年度より表土剝離に着手し既に一部の出炭を見つゝある、撫順炭の增產に就いては總裁は尚[illegible]經營の計畫を立案せられつゝあつた樣であるが未だ具體化[illegible]なかつた。

(ロ)鞍山製鐵所經營の改善と分離計畫 鞍山製鐵所は創業以來幾多困難なる事情に遭遇して其經營の前途には屢々暗影を投ぜられ居たが、從事員の異常なる研究と努力とにより貧礦の處理に成功し漸く一縷の光明を認むるの域に達した、此時に方り我國製鐵事業に深甚の關心と識見を有する山本總裁の來任を見るに至り種々研究の上更に經營方針の改善、組織の改正、內部の整理を斷行し極力原價の低減を圖りたる結果經濟的經營を爲し得るの見込確立するに至り累年多額の缺損を重ねて來た本製鐵所も三年度に於て竟に百廿一萬圓の利益を計上する迄になつた、蓋し山本總裁の殘した大なる業績の一である。之より先總裁は鞍山の經濟的經營の確信を得るや益々經營の基礎を確立すると共に母國に於ける銑鐵不足を満す目的の爲に新に豫算約五百五十萬圓を投じ五〇〇噸高爐一基及び附屬設備を完成し現在の製銑能力二十萬噸を廿八萬噸に增加することゝし目下建設工事中に屬し本年九月完成の豫定である、此工事完成操業開始の上は極めて內輪に見積るも投資額に對し普通の利廻りを得ること確實にして營利事業としても十分に獨立し得る程度の自信を得るに至つた、茲に於て事業の合理的經營に便宜なること並に廣く中外の資本家をして満蒙の諸事業に直接參加せしむる爲に此際満鐵より之を分離獨立せしむることに決し既に政府の許可を得目下獨立の準備中にある。

(ハ)鐵道事業の改善 逐年增加する貨客の輸送に應ずる爲客貨車の新造、及木造貨車を鋼製貨車に改造し又長大列車の運轉を開始して輸送能率の增大を圖り尚大連埠頭荷役設備の改善及輸入品倉庫の新築等を實施し海陸連絡の圓滑を圖り別項海陸連絡施設新事業と共に輸送原價の低減に努力せることは特筆すべきものである、內部組織の改善、諸負擔制度の實施に依り收入は著しく增加したるに拘らず其經費は三年度に於て豫算に比し約四百九十萬圓の節約額を示した、之れ全く總裁の實務化、經濟化による效果と見るべきである。

(ニ)諸事業の分離 山本總裁就任以來會社事業中分離獨立したるものに南満洲旅館會社、大連醫院、東亞經濟調査局がある南満洲旅館會社は安廣社長在任中分離を政府に申請し山本總裁就任の年十二月政府の認可あり昭和三年一月一日より獨立營業を開始した、大連醫院及び東亞經濟調査局の分離は共に山本總裁の發意に拠るもので大連醫院の分離は同院が最早規模設備略完成し又其の經營狀態に就いても大體の見當を付け得るに至つたので満鐵の劃一的統制を脱し自由に其の職能に精進せしむるを自他共に得策とした爲であつて昭和四年度より分離した、又東亞經濟調査局は明治四十一年創設以來汎く東亞の經濟交通及商工業に關して必要なる資料を蒐集整備し且つ諸般の調査研究に從事して來たが此際之を分離獨立せしめ更に資金を豐にして一層施設を完備し十分に其の機能を發揮せしめ廣く一般の利用に供する意味を以て昭和四年七月分離獨立した。

(ホ)満洲醫科大學の特別會計制度樹立 多種多樣の事業を包括經營する満鐵としては其事業統制上各種の事業に對し勞ひ之を畫一的制度の下に支配するの已むを得ざるものがある、爲に満洲醫科大學の經營に於ても動もすれば他の一般事業と混淆せられ十分に自由に大學本來の使命を果すに遺憾の點があつたことは又已むを得ないことであつた、茲に於て山本總裁は満洲醫科大學特別會計制度を設け一般會計より一定の補助金を支給しその範圍內に於て可及的自由に大學本來の目的使命を達成せしむることゝし昭和四年度より之を實施せられた。

(ヘ)社宅制度改正案と住宅會社新設計畫 満鐵が其社員に社宅の現物給與をなせるは會社創業當時は満洲に於ては社員の適當なる住宅がなかつた爲會社自ら建築配給するの已むなきに出でたものであるが最近の實情は大連奉天の如き最早自ら社宅の建築をなさずとも市中に於て社員が任意適當の住宅を求むるに困難を感ぜざる程度となつて來た、茲に於て満鐵の社宅制度に一大變革を加へ一方會社は益々增加せむとする多額の資金の固定を避くると共に他方從來階級に依る強制配給の爲に實際上兎角の不満を買ひつゝあるの實情に鑑み之を金錢給與に改め社員の自由なる選擇に委すの策を採らんとするに至つたのである、而して現に會社が保有する社宅建物は四千萬圓の巨額に達するが此際之を分離し一住宅會社を創設する事とし案を具し政府に認可を申請した。

(ト)傍系事業の擴充、整理 傍系事業の擴充、整理の主なるものに大連汽船の擴充及東亞勸業會社の整理經營並に大連窯業會社の硝子事業の分離獨立がある。大連汽船の擴充は鐵道營業の延長として又石炭增掘に伴ふ運炭業務充實のため積極的に經營せしむることゝし先づ從來一千萬圓なりし資本金を二千五百萬圓に增資し満鐵所有の運炭船十隻を移管し外に客船一隻運炭船六隻(內四隻はデーゼル船)を新造し更に中古船九隻を購入して船腹の充實を計りたる結果所有船舶客船七隻一四、八一七噸貨物船及運炭船其他二十隻五九、四一三噸合計七四、二三〇噸外に傭船十九隻六二、九〇九噸に達するの現況にして尚增船の計畫中として內地船舶業者の張目する盛況を呈するに至つた、又東亞勸業會社は東拓、満鐵の出資により設立せられたるものであるが種々の原因で業績不振に陷り遂に根本的整理を要する狀況にあつたが満鐵東拓協議の上整理案を確定し東拓の持分全部を満鐵に讓り受け減資整理を斷行し積極的經營に轉ずるに至つた、又大連窯業會社は從來耐火煉瓦及窯洞硝子の製造をなして來たが業績不振の爲窯洞硝子事業は之を同社より分離することゝし從來の同社從事員及販賣人を中心とし満鐵亦一部の株式を所有し南満硝子會社を創立するに至つたが之に依り本事業は經營上合理化せらるゝことゝなり業績著るしく好轉を見るに至つた其他の傍系諸事業に就ても總裁は常に多大の注意を拂ひ之が改善發達に關して種々意見を有し當務者に調査研究を命じて居られたが遂に具體化するに至らず退任せらるゝことゝなつてしまつた。

南鮮地方の水稲旱害甚し

今年度の鮮米は相當の減收

【京城十四日發電】約四旬に亙る旱天のため朝鮮全土に亙り水稲の旱害を訴へつゝあるが、殊に米作の心臟部と稱せられる南鮮方面の旱害は近來稀有の激甚さで、全羅南道、慶尚南道の如き未曾有の旱魃に惱まされ今後降雨を見るも大減收は免れまいと觀測されつゝある、十三日總督府に達した前記兩道からの報告によると

全羅南道 總植付面積二十萬四千四百十九町歩の內涸渇せるもの四割六分、萎凋四千町歩に達せるも目下の處枯死龜裂はない

慶尚南道 總植付面積十七萬十二町歩の內既に枯死せるもの三百四町歩、涸渇して恢復の見込なきもの約二割九分六厘、尚ほ十萬町歩は當用水は不充分であるが生育には差閊ない

西北鮮方面は過般の豪雨で旱害は免れたが浮塵子の發生せる個所もある等本年度は相當の減收を免れ難い模様であると

上半期中麻袋輸入

前年より減少

大連港の本年度上半期中麻袋輸入高は新麻袋八千八百二十九噸、舊麻袋九千四百四十三噸であるが之を枚數に換算すれば新麻袋一噸八百枚であるから七百六萬三千二百枚、古麻袋は一噸一千枚であるから九百四十四萬三千枚である、これを昨年同期に比較すれば新麻袋五千八百四十七噸、古麻袋七百七十二噸の共に減少を示してゐる、更に一昨年同期に比すれば新麻袋三千三百九十二噸の減であるが舊麻袋は四千二十五噸の增加である月別に本年度の輸入高を示すと左の通り(單位噸)

月別	新麻袋	古麻袋
一月	一、九四七	二、七五二
二月	一、九二〇	一、四七七
三月	一、〇六九	二、二四〇
四月	八一八	一、四五四
五月	二、三八四	一、〇二七
六月	六九一	四九三
合計	八、八二九	九、四四三

商品

後場

麻袋(保合)

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	延十月末	三五、〇	一〇〇
同	延十一月末	三五、一	一〇〇
同	延十一月末	三五、二	二〇〇
同	延十二月末	三五、一	一〇〇
出來高	七萬枚		

綿絲布、麥粉(出來不申)

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近 百五十六萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	—	[illegible]
二時半	—	—	[illegible]
三時半	[illegible]	—	[illegible]
出來高	銀對金 二萬圓		銀對洋 一千圓

神戸特産(十五日)

銘柄	値段
大豆現物	[illegible]
大豆先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
豆粕先物	[illegible]
満洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東新	[illegible]	[illegible]
新株	[illegible]	[illegible]
品中	[illegible]	不申
中先	[illegible]	不申
五信、中、先	(不申)	不申

東京株式(短期)

銘柄	後場寄	後場引
東新	[illegible]	[illegible]
中新	[illegible]	不申
豆信	不申	[illegible]

東京期米

	五品	東新
寄値	一二五〇	[illegible]
引値	不申	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限	後場寄	後場引
八月	二八六八	二八七〇
九月	二八〇八	二八〇七
十月	二六七九	二六七九

神戸期米

限	後場寄	後場引
八月	二九二五	二九二五
九月	二八四三	二八四三
十月	二七二二	二六九九

横濱生糸

限	後場一節	後場二節
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]

滿洲日報

南京政權は手を引け
朱の召還以上に

朱紹陽は蔡運升、李紹庚らといよいよ滿洲里を引揚げたといふ。このまゝでは打開の方途がつかぬのか。さすがの支那も、ロシア側の鼻息に當られたといふものか、とにかく慘々の有樣である。その上、蔡や李がロシア側と特殊の關係があつたとかなかつたとかの噂を生み、支那側の步調は全く支離滅裂。この情勢を以てしては、駈引の上手なロシアに對し、支那側に勝算のないことは歷然たるものである。

◇

支那側は、何といふても二重外交である。王外交部長が、國民政府の全權代表として朱紹陽を派遣したところで、蔡運升その他が、一心同體となつて働くか否かは疑問である。よし蔡は朱と共に支那のため働くにしても、結局は、勞骨を削られるものなることを、先刻承知してゐる。すなはち、南北統一、中央集權といふものゝ、それは理窟である。現實は如何。奉天は奉天、南京は南京ではないか。奉天が遼寧と改名されたからとて何程のことがあらんである。張作相や張學良は、依然として東北四省の頭目で威張つてゐたいに相違ない。それに對し、外交權を奪ひその上に、權力の內容を充實する收入の財源たる交通權までをも捲き上げんとするのであるから、奉天側としては今のところ力およばず、已むを得ずして南京側に屈服するものゝ、それは面從腹背といふものだ。

◇

このいきさつの下に、蔡運升、李紹庚、呂榮寰、張景惠（張はクーデターの下手人だけに發言の權利はないが）らが右顧左眄の板ばさみとなつてゐるのである。そこで、いろいろの噂も生まれるが、蔡や李、さては呂などにしてももともとロシア側と特別の關係にあつたことは想像に難くなく、今さら逮捕說などを流布するは、何らかの宣傳作用であらんが、とにかく支那側の脚なみの揃はぬのは想像以上である。ロシア側はその弱點を睨んでゐるから、いよいよ鼻息が荒くなる。されば、よし蔣介石が再び北上し、また張繼が日本を訪問したところで、南京と奉天との調子を合せぬ限り、對露外交の局面を光明に打開することは、まづ不可能ではあるまいか。恐らく、記者が前に論評した如く、東支鐵道をクーデターの原狀に還元し、同時に對露外交が南京政權の手を引くことが、最も肝要ではあるまいか。否、何よりも先決問題として、最も緊急を要するところのことは、南京政權が、朱紹陽の如きものを直ちに召還し、對露外交の一切を、ともかくも奉天政權に一任し、奉天側の自由裁量によつて、原狀還元を行はしむることである。この拔本的な覺悟がなければ、この外交案件は容易に解決せらるべくもないのである。結局するところ、國際外交の歸着は實力にある。朱紹陽が國民政府を代表したといふだけにては、何らの實力をも伴はざることは明白ではないか。

◇

かくの如き難局を惹起した原因は、もともと奉天政權の一方的直接行動にあつたものであるが、その失敗の上塗りをしたのが南京政權の野心價値。而して遂に局面を向きの取れぬものとなしたのである。一方的の直接行動、南京政權など今なほ治外法權問題に對し、これを應用せんとするものあるらしい。その危險なること實に恐るべきものが存する。殷鑑遠からず北滿にありか。そは兎もかく、岩壁に乘り當てた露支交渉を、何と打開せんとするならば、方向轉換より外に途なく、奉天政權の東支鐵道回收野望は雲散霧消したものともいひ得べく、クーデター以前の原狀に還元するとに異議はなかるべく、今日の問題は、ただ南京政權が、その野心、支那の實情に相應せぬ中央集權の野心を、今しばらくの間、これを引き込め、奉天政權をして對露外交の自由裁量を行はしむること存する。蔣介石や王正廷、孫科などは[illegible]近代國家の理念が明瞭に[illegible]られてゐるかも知れぬが、[illegible]張作相の頭には、いはゆる天下的國家の意識ぐらゐしかないかも知れぬ。五千年來の歷史的意識は一朝一夕にして掃拭し得るものでない。孫科は孫文の子であるに相違ないが、張學良は張作霖の子であるのだ。

◇

然るを一片の理窟で押し通さんとする。國內問題の場合は、ある程度まで押し切ることが出來やうが、國際外交になると、一方的の直接行動のみにては相濟まぬ。相手方があることだから、弱いと思つたロシアが、案外に强くあつたり、治外法權撤廢に贊成して具れると思つた米國が、どうやら樣子が變であつたりするのは、相手のある場合、當然に起り得ることだ。實情に立脚せねば、折角の平等も不平等に陷り、ただ形式に滿足せねばならぬことになる。形式は內容の充實によつて、初めて意義あり、價値を生ずる。何は兎もあれ露支の直接交渉を光明に打開せんとならば、朱紹陽を南京に召還するばかりではなく、北滿に對する南京政權の野望を撤回し、こゝ暫く、奉天政權をして獨自の立場に立たしめ、その自由裁量を揮はしむることが肝要緊切である。若し然らずんば直接交渉の解決は不可能、列國の居中調停、否、干涉といふことを誘起せずと限らぬ。」

懸賞論文

滿蒙の地より
母國の友へ送るの書
（十四） 當選作 金丸精哉

第三信（四）

近頃こと新しく論議されてゐる日本の滿蒙に於ける特殊利益なるものは、條約上の規定ではなく既定の事實に基くものである。

つまり、日本が國力を擧げて滿蒙を保全したといふことは、日本にとつて、絕體絕命の要求であつて、支那主權の爲に戰つたのでないことは勿論である、而も支那は當時既に滿蒙を拋棄して顧みなかつたことは日露戰爭中彼等がとつた冷淡な態度から見ても首肯されるところで、今日彼等が滿蒙に於て領主權を行ふことが出來るのは一に日本の庇護によるものであつて、日本の特殊利益なるものは當然彼等の主權の上になければならないのである。

◇

ところが事實はこれと反對で、日本の特殊利益は支那主權の風下に立ち、枝葉末節に過ぎない商租權や鐵道利權まで拘泥しなくてはならない狀態である。

關東州の租借權も、滿鐵の經營權も、今後七十年內外で條約上の權利は消滅するものであり、今日明確な條約さへ支那の不信行爲によつて廢棄される折柄、滿蒙の將來に一體どんな權益が殘るであらうか。

こゝに於てか、僕達は滿蒙の特殊利益の健實性と絕對性を痛感せざるを得ないのであつて、これが徹底なくしては滿蒙に於て日本は永久に支那の後塵を拜するほかなく、かくては日本の將來を破滅に導くものであり、眞の國防國家總動員はこの特殊利益强調に向つて集中されるべきものであらねばならない。

◇

過去二十年に於て、日本の滿蒙經營がほゞ成功してゐるに反し、移住地としての滿蒙は失敗であつた。そしてその原因について、日本當局は支那の背信を鳴らし、國民は政府の軟弱外交を責め、在滿邦人は內地人の無氣力に憤慨した。

然し、過去の失敗は、日本民族共同の責任であつて、何等詮索する必要はないのである。

現下の日本人にとつて緊急な問題は過去二十年の民族的試練によつて得た貴重な失敗を土臺として今後如何なる進路を選ぶべきかと云ふことであらう。

滿蒙の二十年は、日本にとつて決して短いものではなかつた。その間、日本民族の缺陷も、對手の弱點も如實に見せつけられたのだつた。

この點、支那は確かに偉かつた。彼等は早くも對日交渉の呼吸を飲み込んで、日本側の鄭重なる抗議も、斷乎たる處置も一片の外交辭令として單に遺憾の意を以て報ることを知つてゐた。

◇

而るに日本は今日に於てすら未だに對滿蒙策について無定見であるがあり來りの害提心を捨てゝ一撃の下に政敵を斃す支那人の氣心も知つてゐるのだと僕は思つてゐる。

漢人が擦力で民族的地位を築いて行くに反し、日本人は何時も國家の背景に頼り、國家の助力なくしては何事もなし得ない惡むべき弱點をまざまざと知ることが出來た。

然し、僕達はこれを以て日本民族の滿蒙に於ける將來を律し、日本國民性の無能を侮辱しやうとは思はない。

◇

僕達は日本が持つ、輝かしい傳統と、偉大な反撥力とを固く信ずる、そして必ずや近き將來に於て八千萬同胞の總てが滿蒙の上に精熱を喚起し、百二十萬の在滿同胞は第一線にある便衣隊の衿持を以て活躍する日があるに相違ない。

◇

僕は君に、滿蒙で死ぬことを再び公言してこの筆を擱くことにしやう、サヨナラ（完）

次回豫告 當選作第一席金丸精哉氏の應募に係るものは本日をもつて完結したるを以つて明日の紙上より同じく第二席高野運太郎氏の當選作「滿洲初等教育の現在と將來」を連載す

過激露人の抑留所新設
嫌疑濃厚なものは交渉の解決迄收容

【哈爾賓】ソウエート籍東支從業員で罷業の目的で辭職し或は最近各所で起つた鐵道破壞並に東支鐵道建物に放火した嫌疑で拘禁中のもの多數あるため當地支那當局では今回これ等を收容するため、當地香坊にある砲兵營舍附近に蘇聯赤化臨時抑留所を新設し嫌疑濃厚なものは露支交渉解決まで抑留して置くことにしたと

東支退職社員の拂戻金請求殺到
會計課で大に弱る

【哈爾賓】時局のため辭職した東支ソウエート籍從業員に支拂つた社員積立金、退職手當及びその他各種の支拂は今日まで約四十萬金貨留に達し今尚ほ退職者は每日陸續とあり辭表を提出して拂戻し金を請求してゐる有樣であるが、東支會計課ではこれ等一時に殺到する書類の調査及び呂督辦の許可を得て右請求書の受附を一時中止した

不穩分子の首魁十二名
罷免して抑留

【哈爾賓】當地赤系分子の恐怖手段に驅動されて東支鐵道印刷局並に中央圖書館などの露國側從業員は宣傳ビラを秘密に出版配布し且つ機械を故意に破壞し怠業を企てるなど不穩の風潮があるので、支那警察當局は十二日右不穩分子の首魁と目指されるもの十二名を罷免し赤化臨時抑留所へ收容した

清津無電
十六日から事務を開始

【京城】先般來準備中であつた清津無線電信局はいよいよ十六日から事務を開始する、同局は朝鮮東海岸に於ける唯一の無線局で日本海方面航行中の船舶及び京城無線局と交信するもので、呼出符號はJBT、通信距離五百キロメートル、空中線電力二キロワットである

二百名投げ込まる

【哈爾賓】十二日午後五時四十分齊列車で東支東部沿線各地で辭職したソウエート籍東支從業員が三等車四輛で約二百名が送られて來たが直に赤化抑留所へ收容された

八相

投書歡迎 中傷を目的とするのは採らず 新聞行數五十行以內のこと

大連商人のサービス
竹樂山

十三日の貴紙に「卽賣會に現はれた商品界の種々相」と題した面白い記事を拜見しました、就中大連の商人はサービスが極めて拙劣であると云ふ事は誰でもが云はんと欲する處だらうと思ひます、百分は近頃內地から移住して來たものですが先づどんな安いものでも電話一つで直ぐ配達して具れるのは誠に便利だと感じました。にも拘らず三越などの大商店が店員の訓練が足りないせいか數が足りないせいか買物をしやうと思ひ店員を呼んでも急速には取り合つて具れず、出て來ても不頂面で口をきいては損をすると云ふ風なのが多いにはアキれた、電話で物を注文してもいゝ加減な返事許りして餘り配達が遲いから度々催促すると品切れだなんて云ふ事も珍らしくない、茲に於てか、僅かなものでも配達するのは店が勉强するのではなく支那人の給料が安いからだと云ふ事を知りました、之に反して洪來盛と云ふ支那店へ行き買物をして屆けて貰ひましたところ二度目に行つたらチヤンと住所と、電話番號が帳面に控へてあつて此方から再び名乘る必要がなかつたり、何も煙草を出したりお茶を出したりする物質的の接待に感心するのではなく其心持ちに於てお客を如何に大事にするかが現はれてゐるではありませんか。次には物をこそ賣らないがサービスの最も大切な商買であるべき大和ホテルに電話で物を尋ねて見ると取次ぎにしろ問合せにしろ快く要領を得たためしがありません、先づ女が出るのは電話の交換臺であらう、料理の事だのルーフガーデンの事だのだと御存知ないからであらうが默つて事務の人?に切替へるらしい、するとイキナリ男の聲でどんな御用ですかと來る、馬鹿々々しいが質問を繰返すと自分の云ふ事だけ一と通り云つてしまふとスッと切つてしまふ、それでお客が要領を得やうが得まいが構つたものでない、更に[illegible]の材料は其洗濯部にもある、此間麻のワイシヤツを洗濯にやつたらインキのシミを拔くのにアナをあけてしまつたとて「アナをあけましたが屆けしませうか」と問合せがあつた、之には全く御挨拶のしやうもありません、こんな事はどうか新參者が偶々經驗したに過ぎぬレーアチヤンスであつて、大連はこれからは到る處快いサービスを受けられる文化都市であらん事を祈つて居ります

松岡副總裁の吉敦線視察（十）

終端港を得て始めて生きる
將來有望な吉敦線
◇…南里特派員

雜草の茂つてゐる夏時に於ても勿論危險を冒して通行する者は稀であらうが、強いて通行しようといふ者は草株から草株へ一步々々と踏み占めねばならず、若その一步を踏み過まれば沼の泥土中へ全身を沒して再び娑婆へ出られぬといふ所謂底なし沼といつた形のものであるから土民も非常に之を怖れてゐるといふ話だ、然るにもこの魔のようなハダンを水田化しようと現在既に敦化寄りの秋梨子附近から漸次開墾して相當廣漠な面積の水田を經營してゐる、大平嶺の高地は一面玄武岩及熔岩からなつて小さな野生杏樹が點在し恰も蒙古興安嶺を思はせられるが吉敦沿線中では農耕地として最も不適當なところであらう

◇

この大平嶺から敦化へは下り坂で車窓からは牡丹江平野を通し遙く哈爾巴嶺も煙霞の裡に一望される風光實に壯大で敦化に着した喜びと共に快哉を叫ばずにはゐられぬ、一行の列車は驛前に停車せしめて鑿臺車內に於ける敦化の一夜を明かさねばならぬこととなつたが、記者は一行と別れ河野公所長の好意で栗野吉林公所長と共にぬかるみの夜道を荷馬車に乘つて一里餘を惡戰苦鬪しながら城內の滿鐵公所へと急いだ

◇

翌二十九日は栗野吉林、河野敦化兩公所長と記者の三名は乘馬でぬかるみの敦化城內を牡丹江岸へと急ぎ午前六時江岸着、松岡副總裁一行が江岸引込線の列車を利用して到着するのを待つた、雨期で增水した牡丹江の流れは渦を卷いて物凄く、餘興の鮒釣も副總裁がハヤ二尾、穗積參事が二尾、記者が三尾釣つただけで興が乘らず副總裁一行十餘名は乘馬、藤根理事一行數名は徒步で敦化城內觀察に向つた、記者は兩三名と共に引込線路を徒步で驛に歸つたが、江岸に積まれた夥だしい材木は何れも威虎嶺以東の牡丹嶺、長廣才嶺本支脈から伐採編筏して流し鄂多里城下流で陸揚げされたもので、こゝから貨車積とし吉長、滿鐵沿線へ輸送されることとなつてゐる、吉會線の延長豫定地はこの江岸で東方遙かに聳ゆる哈爾巴嶺を越えて會寧か清津の終端港に達するのも決して遠い將來ではあるまい、而してこの延長完成によつて初めて吉敦線も經濟的に最も有意義な鐵道とならう

◇

午前十一時吉敦全線に亘る十二分の視察を終へ在留敦化日本人の熱誠な見送りで歸途についたが、同列車で敦化第七團長陸軍少將王樹棠氏も吉林へ向つた、松岡副總裁は吉敦線が自分で作つた鐵道だけにこの旅行が頗る愉快であつたと見え

◇

こんな大森林が滿洲にあることを知らない者が大部分であらうが是非日本人、鮮人、漢人の三民族によつて開發したいものだ、これにはどうしても鐵道終端に一つの港を持たねばならぬ、それには敦化から會寧なり清津なりに延長すればいゝのだ、無論支那人に異論のあらう筈はないと語り續けながら再び雨の威虎嶺を超えて一路吉林に向つた、因に山の紅葉時が最もよからうと思はれた（寫眞は牡丹江の筏流し）（終）

滿日地方版

奉天

阪本の縊死は神經衰弱の爲か 今春も自殺を企てた

既報の如く奉天高等女學校事務室會計係阪本錬造(四二)が十三日午後隅田町二番地の自宅四疊半に於て突然謎の縊死を遂げた原因については種々噂されてゐるが、同人は豫て妻女はつ(三五)との間に三人の子女ありその中二人は既に失ひ殘る一人の男の子(小學二年生)も病身であるため一年前はつと共に郷里の妹の許に歸してゐた、しかしその後はつは何故か奉天に歸つて來やうともせず只一人で自宅で憂鬱な月日を過してゐた、阪本は生來内氣な人間で一方から云はねば三日でも云はぬ位で、しかも健康は勝れず菊池寛氏の小説を讀み耽つてゐたといふから全く神經衰弱のため精神に異狀を來した結果であると、猶阪本は今春も自殺を企てたことのある男で學校の方には何等不都合はなかつたと

無罪の判決

蘇家屯驛における列車衝突事件により業務上汽車過失破壞罪を以て起訴されてゐた當時の機關士土田駒藏(二八)の判決言渡しは十四日午前十時半總領事館法廷に於てあつたが證據不充分の理由の下に無罪が言渡された

支那仲買は泣寢入り 糶市場問題

市場會社仲買人の糶市問題は會社側で仲買人規則により支那人主謀者五名を夫々市場出入の有期處分を云ひ渡して解決したが、これで魚菜支那仲買人も第一回の決議に從ひ生産者からの魚菜は全部糶市にかけ九月一日から實施すること丶なつた譯である

聯合會の銀券發行 商議から建議

奉天商工會議所では十三日午後四時から議員會を開き左の聯合會提出議案を附議決定して六時解散した

一、奉天票暴落による對策として銀券發行方建議の件
二、滿洲聯合會規則改正の件

猶奉天からの出席者は三谷副會頭野添書記長の兩氏に決定したと

松山高商來奉 滿倶と野球戰

松山高商野球團一行は來る十九日安東から來奉し同日か廿日に奉天滿倶と野球戰を行ふ豫定であるが早大野球團の來奉も大連滿倶戰が十六日から開始されるので終了後直に奉天に乘り込むこと丶なつてゐる、丁度松山高商と同日なるやうであるが期日をさし繰つて一戰交へる筈である、猶今後の遠征軍は神戸高商、大連電氣、大連實業等で大連滿倶も朝鮮遠征の途上奉天に立寄ること丶なつてゐる、或は大連の實滿戰が當地に於て開始されるやも知れずと一般ファンを熱狂さしてゐる

町の便り

◇入江英一郎氏は今回青銅製の神馬を奉天神社に獻納したが、愈十五日竣工したので奉告祭を行ひそれよりヤマトホテルで知人を招宴すると

◇松尾中佐、田中大尉の兩氏は來る十七日九時發の安奉線列車で赴任の途に着く由

◇商店經營法指導者美川多三郎氏は十五、六の兩日店員講習會を開催する筈であつたが都合により十五日丈とした

◇十三日午後九時半頃大西關朝鮮料理店東興館に二名の支那人來り暴行を働いて行方を晦した事件あり城内派出所から直に現場に出張し取調べをなさんとしたが犯人は既に立ち去つてゐたと

◇河北省生れ滿鐵衛生係苦力王成福(三五)が十四日午前十時二十分頃奉天驛構内を糞便を擔いで通行中北平行第百六號列車が驀進し來りあわやと見る間に毛を轢き倒し兩足を切斷され間もなく絶命した奉天署で檢視の上關係者に引渡した

◇十三日午後一時四十分頃奉天驛一二等待合室に於て待合客の遼寧新報社長吳松山(四八)から雨かつぱを竊取せんとして果さず、更に待合客の靖元興(四六)の懷中から財布を掏り取らんとして逮捕された彼は住所不定無職王永周(一八)と稱し驛待合室専門の掏摸常習犯で引續き餘罪取調中

瀋陽漫談

去る八月一日奉天驛前瀋陽旅館分號から共産黨の宣傳ビラを撒布した犯人劉子善は十三日午後支那側に引渡された▲彼が大膽にも旅館の三階から不穩ビラを撒布するまでには共産黨に大々的計畫があり、多數連累者がありはしないかと奉天署でも附屬地の怪しい個所をしらみつぶしに大搜査をやつてゐたが▲案外獲物がなかつたので一同ガタリとした、そして容疑者として檢擧した七名もこれと全く關係がないことが判り全部釋放した▲一方ビラ犯人の劉について嚴重取調べをなしたが彼は肺結核を病み餘命も永くないものと覺悟してゐる故か共産黨の外のことについては一言も云はぬと死を賭して頑張つてゐた▲道の係官もこの取調べには頭を痛めてゐた模樣であるが、これで一段落

人事

▲清水滿鐵工務課長 十四日來奉
▲矢野博士 十四日來奉同日撫順へ
▲赤塚、鶴原兩代議士 十三日夜赴連
▲東郷參事官(駐露大使館附) 十三日長春より過奉大連へ
▲庵谷忱氏 十三日夜赴連
▲大場關東廳高等課長 十四日朝長春へ
▲中川哈爾賓領事 十四日朝大連より過奉長春へ
▲德野卅八聯隊長 十四日過奉長春へ
▲森岡新任奉天領事 十四日各方面歷訪し挨拶を述べた
▲日本大學々生一行十二名 十四日朝首山へ

安東

法權撤廢反對の請願書提出 商議から公使團に

天津日本人商工會議所では治外法權撤廢問題に關し汎く在支各國人署名の請願書を北平外交團主席公使に提出せしが八日附を以て安東商議に之が斡旋を求めて來たので安東商議に於ても此趣旨に贊同し在安邦人多數の署名を了し天津商議經由送附すること丶なり十三日より八方に人を派して之が署名方に奔走してゐる、因に天津商工會議所よりの通牒を要約すれば支那側は強いて即時且つ無條件の治外法權撤廢を宣傳する必要上反對は少數の在支外國人頑固者流に過ぎず與稱するのみならず治外法權撤廢は唯少數の往生際の惡き外國人により反對せらる丶に過ぎずとの暴言をさへも致居る實情にて即ち天津商工會議所は北平、天津タイムス社と呼應し上海、漢口、青島、濟南北平、奉天、營口、安東、ハルビンの各地商議の斡旋により可及的多數の署名を得て反對の實證を明かにせんとするものである

宇佐美領事の披露宴

新任安東領事宇佐美珍彦氏は十五日午後六時より在安新聞記者をスミレに招待したが尚十七日は午後六時より安義兩地の官民有志を官邸に招待し新任披露宴を催す筈

遣外艦隊來航期

第二遣外艦隊附二等巡洋艦木曾及二等驅逐艦隊は來る二十日海洋島を出發し廿一日巡洋艦木曾は鴨綠江口へ驅逐艦隊は同日正午新義州に入港する筈で、同艦には巡洋艦乘込みの第二遣外艦隊司令官伊知地少將、第九驅逐隊司令中佐横山德次郎氏、木曾艦長大佐大野功氏艦の艦長少佐篠田太郎八氏が乘艦の筈、而して驅逐艦の出發は廿四日の滿潮時で江口にて巡洋艦木曾と合し貔子窩へ向ふ豫定である

庭球大會カップ

安東時事新報主催春季庭球トーナメント大會に對する岡田總領事寄贈の優勝カップは豫て内地へ注文中であつたが數日前到着したので十三日午後一時商工會議所に於て授與式を行つた

優勝組たる安東櫓倶樂部では滿鐵庭球大會の優勝とスポンヂ大會の奮鬪とを合せて大々的に祝勝會並に慰勞會を催すべく計畫中であると

ポプラ勝つ

十二日午後四時よりポプラ對郵便局の庭球戰が行はれたが十四對十一でポプラの勝利に歸した

花卉盆栽拂下

滿鐵公園事務所では第二回溫室花卉盆栽拂下を十八日午前九時から正午迄山下町安東倶樂部階下ホールに於て行ふ事となつた、種類は約十七種二百鉢で價格は一鉢單位二三十錢から四五十錢で毎回各方面から歡迎されてゐる

圖書館 學生で盛況

安東圖書館の昨今の情況を觀るに暑中休暇中の事とて學生連が多く酷暑の折なるに拘らず相當の讀書子が出入してゐるが熊谷主事の話を聞くに

流石に暑い際ですから傾向から觀ると大衆文藝物とか隨筆紀行文等の書物が多いようです勿論入館者は學生等若い人達に多いようで割合に盛況を呈してゐます、安東圖書館創立の趣旨は矢張り滿鐵社員をして利用せしむることにあつたと思ひますが、然しながら社員の數の割合から見まして利用者が尠いのは甚だ遺憾だと思ひます、私共の立場としてはか丶る口吻は遠慮しなければならぬことですが事實は事實だからやむを得ません、新義州側からも可成りの利用者があるようですから新義州まで手を延ばしたいと思つてゐますが未だそれまでに至つて居りません

無緣佛の供養

無緣佛の施餓鬼供養は地方事務所主催にて十三日午前八時より七道溝鎭江山北山供養塔前に於て供養された出席者は安東各宗僧侶八名井上地方事務所長、中川憲義氏、福本順三郎氏外區長關係者約五十名同八時半終了

女給の駈落

原籍島根縣那賀郡井下春子(二二)は先月末頃迄五番通日之丸食堂に女給として働いて居たが面白くない處から本月初頃大和橋通七丁目カフエースターに寄寓し店の手傳へをなしてゐる内同カフエーに繁々と通ふ新義州王子製紙の某と懇ろになり夫と一子ある分別盛りにありながら性來の多情の爲め夫を捨て四歳になる一子を連れ情夫と共に十二日夜京城方面へ逃亡した

支人群衆鮮人を袋叩き

新義州府老松町六ノ一居住の鮮人張賛禍(三二)は友人二名と連立つて十二日午後十時半頃大和橋通九丁目の支那街を見物同附近の同昌樓近所に差掛りたる際支那料理店より四五名の支那人醉ひどれが現はれ彼等三名の顏を覗き込みたる爲め二三口論の末喧嘩となり附近に居合はせた支那人群衆は彼等三名を包圍したので事急と見た張は早速に現場より逃れ大和橋派出所に友人が支那人群衆の爲め半殺しになつて居ると報じたので派出所では電話を以て本署に應援を依頼し世良警部補は三名の巡査と共に馳せつけ張を案内にて現場に急行したが其時は群衆散じて喧嘩をした事は事實らしいが友人が半殺しに會つたとか拉去されたとかの形跡はないので一先づ張を新義州に歸へらしめた處右の二名は命から〲新義州に逃れ歸つて居たと通知して來た

鮮支人の喧嘩

十二日午後十一時五十分頃市内三番通六丁目南地陸海樓前に於て些細な事から鮮支人數名が口論をなして居たが其内双方共數百の彌次馬が加はり今にも血の雨を降らさんとする形勢を示したので陸海樓主人及び鮮人朴文旨が三番通り派出所に此事を告げたので派出所では急を本署に報じ本署より酒井、木原兩警部現場に急行之を取鎭め主謀者と見られる鮮人現在四番通八丁目二番地崔善永(二五)外二名支那人五番通六丁目三番地張魁田(二?)の四名を引致嚴重取調べをなして居るが取調べ續行につれ關係者が現はれるらしい

國境一閃

子供の喧嘩に親が出るのはみつともない▲だが民族が異る場合は單にみつともないではすませない▲十二日夜の支那人と朝鮮人との亂鬪がそれだ▲事の起りは子供の相撲に始まり遂に數百名の者が入り亂れてあはや大波瀾を生ぜんかに見えたもの▲而も其處には久しきに亘る鬱積したる感情の縺れありたるは疑ふの餘地なし▲首謀者を引致して處分したゞけでは解決は出來ぬ▲徹底的の解決を、相互の融和を關係當局の努力に期待する▲夏枯に入りて所謂新聞の三面を賑はす社會記事が尠くなつた▲刑事部屋等でも犯罪がなくなつたと腕を撫して長嘆息の樣子らしいが▲泥棒を捕へることだけが當局の任務ではない未然に防ぐことが先決問題である▲吾等は平和を喜ばなければならぬ▲そして更に一般の緊張を必要とする

長春

商工會議所の役員を選擧 十三日の議員會にて

改造後の長春商工會議所第一回議員會は既報の通り十三日午後一時から地事會議室で開催、出席者左の通り

栗原、五十嵐、吉田、出島、寺內、上野、前田、吉田、今井、猪野、島名、丸山、大浦、近江、日高、安岡、四戸、平塚、玉柏、山中、岡田

四戸友太郎氏年長の故を以つて議長席につき會頭、副會頭、常議員監事の選擧を爲し

▲會頭當選 山中繁雄 十五票 次點 彼末德雄 三票
▲副會頭當選 彼末德雄 十五票 岡田小太郎 十一票 次點 大浦力 四票
▲常議員當選 釘宮、古田、大浦、片山、四戸、栗原
▲監事(常議員互選) 片山、釘宮

三時半散會した

馬賊二名捕はる 支那料理屋の主人を人質にとる計畫中に

馬賊の一味黑龍江省泰里縣生れ劉殿臣(二五)及び同賓顏縣生れ魏子銀(二?)は、城內に潜伏し附屬地大和通二二料理店珍雲班主人劉金波及び吉野町四丁目二〇料理店、蓮香班主人欒成和を人質に拉去せんと企てゝゐること長春警察署の探知する所となり、十三日午後六時頃馬場刑事は岳巡捕外二名を引率して東三條通りと富士町四丁目角にて兩名の來るを待ち受け、矢庭に飛びか丶つて大格鬪の末捕縛したと

天然痘 市內に發生

市內室町二丁目十九番地田春千長男小丑(二歲)は一兩日前發病し症狀天然痘に類似してゐるので、三笠町五丁目十八百川醫院謝文山の診察を受けた所天然痘と診斷し滿鐵醫院に再診を受け愈々確定したので大消毒をしたが、同人は十三日午後十時半死亡した

北關夜話

十三日の議員會で會頭に當選した山中專信専務▲會社の都合で辭任すると申出た▲議員連やつきとなつてまア〱と押しつけたが結局考慮すること丶なつた▲自分の都合を言へばきりがないまア一任期はやつて貰ふことさ▲會頭副會頭が當選すると自腹で披露宴をやること丶なつてゐる▲前會頭の時丈はそれが無かつた▲議員會が又もめるやうなことが有つてはいかぬから今度は是非……とダメを押した議員がある▲さてこそ紛擾問題の眞因が讀めたわい

撫順

荒稼業に逆戻りした二人 惡運盡きて捕へらる

十三日午後十時大官橋と研究所中間路上を千金寨支那町方面より新市街方面に向ふ怪漢二名あるので武谷、光井刑事が誰何すると矢庭に懷中より拳銃を取り出し發砲するので、大格鬪の上漸く逮捕したが、右はかつて安東縣大孤山附近を根城として

猛威を振 ひし馬賊の大頭目通稱通天好こと採永山の部下たりし鳳凰縣沙里寨生れ現住所不定曹化民(二三)及び同馬雲祥(二三)と言ふ馬賊と判明した

馬雲祥の父は安東に於て相當の雜貨商を營み何んら不自由なく暮してゐたが大正十四年の九月三日夜一團の馬賊襲來の爲家財悉くを掠奪され父親をも拉去されて了つた、當時十九歳の馬雲祥は父親を捜すべく單身大孤山の山寨に踏入りしも捜す親の姿はなく遂に馬賊仲間にひき入れられ爾來五ヶ年馬賊修業をつんだものである、曹は安東縣の

馬賊専門 の宿屋の息子であつたが昭和二年八月頃當時同地方でかくれなき大頭目通天好の部下となつた、その後兩名は馬賊稼業がいやになり、頭目に話し正業につくべく馬は六月金票六百圓、曹は八月頃金票百圓とモーゼル一號拳銃一挺とを貰ひ馬賊の足を洗つたが、馬雲祥はその後も行先不明の父の行先を探すべく貰つた金を旅費として北滿の奧から蒙古邊まで石童丸のそれの如く父を捜ねてさまよひしも捜ぬる父の影だになく失意の胸を抱いて最近安東の地に舞戻り、同地の支那人宿に浮世のあぢけなきを喞つてゐる折柄

偶然にも 曹化民と邂逅し色々話の末又もとの馬賊に逆戻り一旗あげようと相談一決、撫順へ行く旅費を働くべく四年七月二十九日午後五時安東縣七道溝第一區の阿片販賣や密淫賣窟たる韓蘭亭方に押込み金品を強奪

その足で撫順千金寨支那町焦玉臣方に落付き逮捕された當夜は撫順市內西三地町三五の有名なる兩替屋厚記棧に侵入、曹化民は金交換に來たる如く裝ひ仕事をする計畫で前記場所に差か丶りたる際運盡きて捕へられたものである

奇蹟的に助つた華工四名の生命 必死の努力が酬ゐらる

既電東郷南坑に八日間生埋になり奇蹟的に生命が助つた華工四名は山東省生れ王永寮、長福堂、張文鳳、楊山であるが彼等は直に撫順醫院中央分館に收容手厚い看護を受けてゐる、ベッドの上で王永寮は語る

七日の午前三時頃から凄まじい濁水侵入と共に坑內の土砂が崩れ、忽ち安全燈は消へる自分等四人は生埋めにされた、それからは晝か夜か何日であるかも知らず食物はなし四名は穴の內で舌を噛んで死なうと決心したが死ぬ位の努力をすれば何んとかなるだらうと各交替で這ひ出る穴を掘りかけたが、初めは方角を違へて反對の方向を掘つてゐた、何日目か知らぬが坑口の方向を探り得て苦鬪を續けた、皆で約半月もか丶つたやうな氣がして今朝五時私が一番さきに天道樣をおがめた時は全く夢のやうで、同六時三十分長福堂が這ひ出して來て相抱いて嬉泣きに知らず〱涙が出た

因に張文鳳、楊山の兩名は非常に衰弱して生命危篤である

噂の噂

堂々たる門戶を張り乍らも家の內は火の車であつたものか永安大街と東四條通とに親子して大きな暖簾を掲げてゐた某商店が最近遂に破産した、同店は撫順では廿三年來の老舗で數年前までは極めて順調に數萬の富を築いたさへ傳へられ堅實なる商店であつたが▲新市街に轉後は事悉くいすかの嘴と喰ひ違ひ現在の負債約七萬圓と稱せられ不動産組合でもものになればどうとか息もつげるであらうと樂觀して居た矢先▲債權者としては比較的小口である古城子採炭所勤務の某三千圓の債務不履行をかどに突如差押へを斷行した爲整理の道つかず破産して了つたもの丶如くである▲その他債權者の主なるものは東五條通の近江亭西田某が現金一萬圓、保證二萬圓、萩野洋行が一萬圓、大阪の仕入先が八千圓、滿銀が約一萬圓等▲破綻の原因は色々あらうが、探聞する處に依ると、老店主はなか〱のしまりやであるに反し、若主人は妻子あるにも拘らず數年前市內西六條通旭館にゐた藝妓玉太郎(現在開原三好樓に一若と名乘り稼業してゐる)に現を拔かし三年越に裏知れぬ穴に注ぎ込んだ金も少くなく、これが大原因と傳へられてゐる

馬賊の巢窟に文化の曙光 (四) 貔子窩を訪ねて

一記者

州境に出沒する馬賊は曲長好ほか百八十名の頭目で彼等は常に二十名乃至五十名の部下を有し多になれば吉林の蘆沙川方面に退散し夏高粱繁茂期になれば來襲して高粱畑に起居し各方面の連絡者より飲食物の供給を受けて生活してゐるとの事であるが一昨年はこれ等のために前後五回も襲撃を受け中には巡捕を拉去された事もあり、また殉職者を出した事もある。昨年は曲長江一團のために管內十二、三箇所に脅迫狀を送られ今年は二月十四日に塔寺屯で安住大連地方法院長の遭難事件あつた他五月二十五日に二十五圓に相當する反物の強奪被害があつたのみ昨今は比較的平穩であるが、管外莊河縣大孤山には四十名の馬賊團が現はれ[illegible]名の人質を拉去され、復縣蓋平でも奪還はしたもの丶矢張り人質を拉去された事件があつた由である。

◇

斯うした狀態で州境の警備は管內發展史上の一大癌であつたが、茲に滿鐵では見る處あり、目下支那側で計畫されつ丶ある貔子窩市街に接續せる市街地實現せばわが警備上更らに一段の困難を來たす將來を顧慮し、支那領との中間空地一萬坪を買收し之れを緩衝地帶とする一方關東廳では現在の市街に續く碧流河岸一萬坪を埋立て此處に船付場をも完成し現に設置されてゐる驛を中心として茲に[illegible]を移さんと計畫を[illegible]

而して農事會社は碧流河の中洲二百八十町步を買收し周圍に一丈餘の堤防を築き干潮時を利用して電氣モーターにより灌漑水を揚水し大農式の水田經營を行ふ可く工事を行つてゐるが、之れに依りて警備力は一層充實し、不安の貔子窩も一變して平和郷となり更らに發展を招來助長して軈ては土民も文化の惠福に陶醉するであらう。

◇

一應の説明を聞いた一行は米村警部補の案內により自動車で市中を一巡「こ丶から支那領の復縣です」と云ふ境界まで行き支那の市街計畫地を望見、更に現在の市街と市街計畫地の中間にある丘陵に登り、碧流河を隔て丶相對峙せる莊河復縣の氾濫たる沃野、並に農事會の經營にか丶る中洲の水田工事を俯瞰、遠く指手の間に見える塔寺廟の杜に感慨を新たにし丘を下りて派出所に引き返したが、當地の產物は鹽、海產物、大豆、雜穀、米、山繭、家畜、家禽、豚、花崗石、薪炭等で就中家畜市場は州內一と稱せられ月に四日宛二回開設され一日多い時は大連まで畜牛百二十頭から送り出されると云ふ、一行は視察目的の大部分を占めてゐた貔子窩に名殘を惜んで今度は東老灘に向ふ。

松山高商軍けふ滿倶と試合 滿鮮遠征の途立寄り

大阪朝日主催の專門學校優勝野球西部豫選の準優勝戰に長崎高商の爲め四對三にて惜敗した松山高商野球團一行は鮮滿遠征を試み朝鮮各地に於て連勝の意氣にて十五日夜來安十六日當地滿倶野球團と一戰を交へる事となつた、因に同軍のメンバーは次の通り

門安織松莊古中阪松
田川田正原味島本幸
1 2 3 4 5 6 7 8 9

敗退將棋 滿日名家 (其五)

【飯塚氏三回勝四回目】

香平交香落 七段 △宮松關三郎
六段 ▲飯塚勘一郎

持駒 飯塚氏 ナシ
持駒 宮松氏 銀步步

【圖は八七銀迄の局面】

【盤局以下指方】△六八飛▲八六角△六七飛▲五九角成△同金引▲七六銀成△三七飛▲六六成銀

【對局者の感想】宮松七段曰く六七飛は手拍子で指したがよろしくなかつた直ちに六五步と桂を取つて置く方が遙かに優つて居た。飯塚六段曰く敵の六七飛は意外でした。五九角成と☆換して銀桂の捌きが充分つく樣になつては面白い順が生じると思ひました。

【大崎八段講評】上手敵が八六角と捌きて飛に當てるを六七飛と避けしは手遲れとなりて敵の銀桂を充分に捌かして惡手なり。強く六五步と桂を取り六八角成四角七八銀成なれば五七角と避ける方遙かに面白し。

京城

朝博の工藝館に繪畫彫刻を出品

文部省が參考品に

朝博の美術工藝館に文部省から參考品として左記繪畫彫刻十三點を出品することゝなつた

種別	命題	作者
西洋畫	南風	和田三造
同	おもひで	中津弘光
同	曲浦	山本森之助
同	おうな	和田美作
東洋畫	供燈	菊池契月
同	雪松	山本春擧
同	溪四題	寺崎廣業
同	隅田川の舟遊	鏑木清方
同	島の女	土田麥僊
彫刻	タカオカミ	山崎朝雲
同	仙丹	米原雲海
同	潭	藤井浩祐
同	神社詣	池田勇八

ドンタク團人氣を呼ぶ

來月下旬到着

朝鮮博覽會視察の福岡ドンタク團一行は九月廿一日博多出發、廿二日夜京城驛着、廿三日は名物のドンタクに朝博の人氣を引ッ浚つて廿五日退城の豫定である、このドンタク團一行は福岡市の生產業者を中心に商工業者二百四十名を包擁するもので一行得意の松囃子といふのは等身大の博多人形を載せた曳臺に肥後囃子を乘込ませて一頭の牛を曳き先頭には惠比須大黑を配した傘鉾三本、これに廿人一團が得意の松囃子華やかに京城市街を縱橫に賑々しく練り廻つた後朝博に乘込んで演藝場で博多獨特の演藝を公開するといふ趣向である

金融組合全鮮大會

十月中旬開催

第一回全鮮金融組合大會は來る十月十四日から三日間龍山偕行社に於て開催に決定した、尙三日目の十六日は午前十時からパコダ公園に於て故目賀田男爵の銅像除幕式を行ふ豫定である

朝鮮博覽會の歌近く脫稿の豫定

總督府の學務課で

朝博の人氣を全鮮學童の可愛い口から煽らうといふ「朝鮮博覽會の歌」は目下學務局で考作されつゝあるが、今後二週間以內には脫稿の豫定で歌詞の校閱は城大豫科教授近藤時司、普成高普教師磯部百藏、南山小學校教師丹羽登喜、朝鮮教育會上原千馬太、東京葛原滋氏等が當り作曲は第一高女教諭大場勇三氏に依囑する、曲は最近流行の行進曲で、完成の上は軍隊で市內行進曲に用ゐるほかに、全鮮六十一萬人の小普學校生徒に高唱させて博覽會氣分を彌が上にも昂揚しようといふ趣向である

白米値上げ

產地の實物出盡しと問屋筋の品薄のため白米値上げ方を京城府と折衝中だつた京城精米組合では協議纏まりいよ／＼十三日から各等一キロに付五厘の値上げを決定發表した

土地會社落成

朝鮮土地經營會社では今回京城府長谷川町の新社屋落成を機として十五日午後五時より同所に於て創立三十周年記念を兼ね盛大なる落成式を擧行した

總督の送別宴

總督府局部長は十三日午後七時山梨總督を料店京喜久に招待して送別宴を張つた

民家燒拂事件眞相發表

咸鏡南道甲山郡普惠面大坪里灑々谷に於ける火田民家屋燒拂事件に關しては總督府でも事態容易ならずとして所轄營林署長、觀瀾指揮の森林主事より事實を聽取する一方山林部より新宅島山兩屬一行を派遣し實情調査の結果、全然捏造なることと判明し十二日調査結果を發表したそれによると、昨年九月頃より惠山鎭營林署管內の國有林に潛入する者增加し本年四月の調査に際し戸數千十戸に[illegible]いづれも國有林野の立木[illegible]して家屋を建築するのみな[illegible]に林野に放火して火田耕[illegible]をなしつゝあるので甲山郡普[illegible]家興里、保興里、住林里、[illegible]化里の舊面積約千六百町步と指定住屋及び耕作として許可し同時に最大限の特惠條件の下に移轉を命じたのであるが遲々として進捗しない爲め五月廿四日移轉督勵に着手したが二十日間を經過するも移轉しないので六月十四日森林主事二名、警部補以下警察官十一名巡視人夫四名合計十七名の一行が禮々谷に赴き十六日殘留家屋で燒却乃至破壞は本人の意志を尊重して協議の結果十三棟を殘して他の家屋を森林主事以下立會の上夫々本人の手で燒却したといふのがその眞相であり斯の如く紛糾するに到つたのは全く二三爲にするもの〻策謀に基づいたものである

酌婦絞殺犯人

本籍全羅北道長水郡長水面水閣生れ李在[illegible](三七)は去る六月二十二日大阪市西區新町南道一丁目六九貸座敷業菊水樓抱娼妓下村はるゑ(二三)を絞殺逃走中であるが朝鮮に渡り京城に入つた形跡あり大阪府警察部からの依賴により道警察部では府內各署に手配をなし嚴探中である

營口

橫竹商務官

上海駐在の橫竹商務官は當地方商況視察の爲十四日午後二時三十五分着にて來營即日離營北行した

關本氏出張　關本新任地方事務所長は事務打合せの爲約一週間の豫定を以て十三日二十三時五分發にて本社に出張した

開原

父子射殺され人質まで取らる

昌圖に現はれた馬賊

十日午後九時頃馬仲河附屬地を距る西北方約四十支里の地點昌圖縣入叅溝と稱する部落に系統不明なる五十餘名の匪賊團(全部拳銃所持)現はれ、同部落富豪關某(□□)方に闖入を計りたるに同家にては豫て警戒用として機關銃を備へ付け又他の銃器をも多數備へ付け居たるを以て、直ちに賊團と交戰し賊一名を射殺し一名に負傷せしめたるも同家に於ても主人關某及其子(八乙)を射殺され、遂に賊團の闖入する所となり主人の弟某を人質として拉去し賊は死體一個を放棄せる儘西方に向け逃走せりと云ふ

チブス豫防檢便開始

十三日から

滿鐵衛生係と警察署とは協力してチブス流行期前に於て之れが豫防を最も有効ならしめんと、當開原附屬地內居住日支人接客業者及び飮食物取扱業者並に昨年度のチブス患者に對し十三日より檢便を開始しチブス菌の有無を檢診し、菌保有者を隔離しチブスの發生を絕滅すべく積極的方法を講じつゝありと、而して前記檢便人員は約二千五百名の豫定にて着手されたるも或は三千名以上に達するやの模樣なりと

金融組合登記

十六日に總會

開原金融組合にては既報の通り去る十日發起人の持分に對する全部の拂込を終り十三日鐵嶺領事館にて登記を終つて茲に正式に設立したので、十六日午後三時より公會堂に於て臨時總會を開催し評議員を定めて愈々業務を開始の段取となつた

佐竹氏歸開　佐竹令信氏は出連中の處十四日十七時三十二分急行列車にて歸開

哈爾賓

裸體ダンスは罷りならぬ

八釜しい取締規則發布

淋れる夜の歡樂境

哈爾賓名物の一つである數多いダンス場は夜の歡樂境として露支關係がどんなにならうがそんな風はどこに吹くかと許り毎晚ジャズやワルツに浮氣な男女を集めてゐるが、今回特別警察管理處ではダンス場取締規則及びダンス練習所取締規則各十一條を設け風紀紊亂を取締ることになつたが、右によるとダンス場では裸體になつたりダンサーが客席に來たりするとは禁じられ時間は午後の九時から十二時までに限られ、それ以上は許可を要することになつてゐる外ダンスの種類又は演技種目は一々當局に屆出でをなし許可を得るなど種々むつかしい制限があるため、夜を通して朝の二時三時までも踊り拔いたり或は裸體の曲線美を禮讚し得たハルビン名物も全く寂寥なものになるだらうと惜まれてゐる

窮境に陷つた支那經濟界

總商會で救濟策協議

當地方支那側經濟界も時局の影響を受け貨物は停滯する金融は梗塞するやうで非常な沈衰狀況にあるに加へて、各銀行はこの先きの時局惡化を恐れ急に一般商民への貸付けを回收し出したので、さらぬだに疲弊してゐる各商店は全くその日の商賣も出來ぬ窮境に陷り生活の脅威を受け中には破產の止むなき向も多數ある有樣であるのに鑑み、當地支那總商會は十三日午後三時全體會議を開きこれが救濟策を講究するところあつた

簡閱點呼執行官

十四日午前八時から日本小學校で擧行される當地在鄉軍人簡閱點呼のため公主嶺から三浦嘉門中佐が執行官として十三日朝來哈した

長途電話不通

赤系の惡戯か

哈爾賓、浦鹽間の長途電話は去る八日九時半浦鹽と通話中突然不通となつたので原因取調べ中であつたが、その結果國境附近線路障碍あることを發見し修理を加へたため十二日午前から開通するに至つたが、右障碍の原因は赤系分子の惡戯だと見られてゐる

遼陽

簡閱點呼執行

遼陽に於ける本年度の簡閱點呼は十七日午前八時から小學校々庭に於て執行の筈點呼官は大石橋守備第三大隊長高木中佐である因に受檢者は約百名である

青訓講習會へ

旅順に於て開催の全滿青年訓練講習會に遼陽訓練所から西在鄉軍人分會長と警察署の諏訪主計の兩氏が十三日夜出旅した

神成氏歡迎會　滿洲輸入組合聯合會理事長神成季吉氏が十四日來遼したので遼陽輸組の役員有志は同夜同氏を正酒家に招待歡迎晚餐會を開催した、因に同組合田村某の事件も神成理事長來遼役員と懇談の結果一先づ落着することになつたと

くもの話（2）

水の中に巣を作る　面白い水ぐも

父。くもの仲間にはずゐぶんおもしろい生活をしてゐるのがたくさんあるが、その中でもおもしろいのは水の中にあみをつくる水ぐもだ。

一郎。え？水の中にもくもが居るのですか。

父。お父さんは見たことはないが朝鮮に居るさうだ。

一郎。水の中にあみをはつて、それでおさかなでもとるのですか

父。いや、そのあみはえものをとるためのものではなくて、じぶんの住家にするのだ。

一郎。ふしぎなくもですねえ。

父。實に妙なくもだ。陸の上にりつぱに住家をつくることができるのにもかゝはらず、なぜ水の中にわざ〱住家をつくるかについては、まだしらべた人がないやうだ。しかし、おそらくそれは、陸上では虫仲間の競爭がはげしいので水の中に住家をつくるやうになつたのだらう。

一郎。水ぐもはやつぱり陸のくもと同じやうなあみを張るのですか。

父。さうだ。陸のくもと同じやうに水草に糸をわたしてあみをはるのだ。しかし、そのあみは目のあるあみでなくてふくろのやうなもので、その中に空氣をいれると空氣まくらのやうに大きくふくれる。このふくろができると水ぐもはそれを住家としてその中にひそんでゐるのだが、このふくろの中に空氣をいれるのが中々おもしろい、まづふくろができあがると、水ぐもは水の表面にうかびあがる。そして後脚に生えてゐるこまかい毛の間に空氣をふくめて再び水の中にもぐりこみふくろの下に行つて空氣のふくんだ後脚でそのふくろをけり上げると、毛の間の空氣はぶく〱と小さなあわになつてそのふくろの中に入る。そんなことを何回もくりかへしてゐるうちに空氣がだん〱ふくろの中にたまりしまひにそのふくろが空氣でまんまるくふくれる。

一郎。それからどうするのですか

父。それで先づ自分の住家が出來たわけだ、それからあとは、じつとそのふくろの中にかくれてゐて時々水面に出て來ては小さな虫をつかまへ、それを水の中の自分の住家に運んで、ゆつくりとごちさうになる。そして夏の終りになると、そのふくろの中に卵をうみつけて、その中で子供をそだてる。

一郎。子供がだん〱大きくなつたらどうするのでせう。

父。又親と同じやうに水の中に巣をこしらへて生活をするのさ、實に面白いぢやないか（寫眞は水ぐもの生活）

短歌

大連第一中學校五年　佐々木順

潮干きしあとの水たまりにはぜの子二三泳ぎおるかな

×

あさりほる子等のさゞめきに磯の小がにはすがたを見せず

×

磯つたふわが足音におどろきてかくるゝ小がに二つ三つ四つ

夏の夜の物語　きみのわるい家（下）

武藤一枝

お父さんはきめうにあわてゝ、一時はかほいろさへ變つたのです、だがすぐに

「馬鹿だなあ。そんなものがでるものか、ゆめを見てたんだらう」

と笑ふのです、私は、そうだつたかしらと考へなほしても、たしかにあつた事ですから今度はお母さんに言ふと、

「此の子は、ものをこわがるといふことがないのですから、ほんとに、見たのではないでせうか？」

としんぱいさうに言ひましたが、お父さんはお母さんに「ねぼけん坊の仲間に入るのかい」と笑つて相手にしません。私はそのばんは頭から、ふとんをかぶつてねました。風はまだはげしく吹いて居ります。

そんなことがあつてから半月ほど後の日曜日の午後、その日はくもり日で大そう家の中がくらかつたときです。私がふと、べんじよの前を通つてゐると、又、いやな氣がして、天井から誰かぶら下つてゐるやうな氣がするのです。何も見たのではありませんが、たゞそんな氣がしたゞけですが、へんにこわくなつたので、又お父さんにいふと、こんどはいやな顏をして私をしかりました。

それから一ヶ月ほど後、町の方に好い家が有るといふので、そこへこすことになりました。しばらくして或日、お父さんか私たちにこんな事をいひました。

「前に住んでゐたあの家はね。むかし、四十位の男の人が住んでゐたが、何故か、首をくゝつて死んだのださうだ。場所はべんじよの前だといふ。お父さんは、そのことを、ひつこしてから三日目に人からきいたが他に家もないので、がまんしてゐたのだ、しかしお前たちに言ふとこわがつてべうきにでもなるとわるいから、だまつてかくしてたのだ。今はもう何もかくさずいふが、じつはお父さんも夜おそくかへる時なんか、あのべんじよの前を通る時、いやな氣がして、しやうがなかつたんだよ。それに、一枝ちやんが、あんな物を見たと言ふもんだから、さすがのお父さんもヒヤツとしたよ」

お父さんは話し終ると聲のおもにを下したやうに笑ふのでした。（をはり）

ニドメノ大チヤンノタンケン（87）

ハルミ作　ジラウ畫

コヤノソトニハ 三ニンノヒトクヒドジンガ テニテニヤリヲ モツテ タツテキマシタ。大チヤンハ ギヨツ トシマシタガ イマトナツテハ ドウスルコトモデキマセン。

「トニカク ニゲラレルダケニゲテミヤウ」大チヤンハ サウオモツタノデ クロンボノ スキヲミテ コヤノ ウラカラ ソツト ニゲダシマシタ。ブルモ ニゲマシタ

ドジンノヒトリガ コヤヲノゾイテミルト ソコハ モヌケノカラデス。ニゲラレタコトヲシツタ ドジンドモハ クチグチニ ナニカサケビナガラ 大チヤンノ アトヲ オヒマシタ

世界一周の大飛行船　十九日に日本に着く

大飛行船にのつてまんまるい地球をグルリとひとまわりする、何とすばらしい企てゞはありませんか。聞いただけでもからだぞく〱します。しかも、その

飛行船は長さが七百七十五尺、高さが百尺以上もあらうといふ恐ろしく大きなもの、名前はグラフ、ゼツペリン、これはドイツの飛行船です。此の大飛行船が八月四日ニユーヨークから四十五哩ばかり南の方にあるレークハーストといふところを出發して世界一周の旅に上りました。航路はレークハーストから大西洋を横ぎつてヨーロツパ大陸に出で、ドイツのフリードリツヒスハーフエンに一先づ到着、こゝで新たにお客さんをのせて

今度はシベリアの北の方を通つてカラフトの空を大きくまわり、日本の霞ケ浦に着くのは十九日の夜明けごろです。それから今度は太平洋の空を一時間八十哩といふすばらしい速さで横切り、今月の終りごろにもとの出發點のレークハーストにかへる豫定ださうです【寫眞はグラフゼツペリンの勇ましい姿】

共同炊事の御料理に舌つゞみをうつ　周水小學校の林間生活だより

原始の生活　天然の生活にあこがれてゐる私たちは、めぐまれてゐる環境を利用して、この夏はたのしい林間生活をいたしました。場所は學校の地つゞきのアカシヤ林です。灼けつくやうな眞ひるでも、青葉のしげつた林の中だけは涼しい風がふき通じてゐます。この天然の家の林の中で私たちは清らかな空氣を吸つて體操をしたり

ござの上に　書物やノートをひろげて學習をしたり、お手のもののゝセメントをこねて細工ものをこしらへたりして樂しく一日を送ります。おひるのごはんは共同で炊事をした天下一品のお料理こしらへかたはまづくとも、いゝかげん空いたおなかには、ほつぺたがちぎれるやうなおいしさです（寫眞＝上は共同炊事下は林間の讀書）